

令和6年度
「市民による市政評価」
結果報告書

令和6年10月

大仙市 企画部 総合政策課

目 次

1 はじめに

1.1 市政評価について	1
1.2 調査の種類	1
1.3 調査の手法	2
1.4 調査票	2
1.5 調査期間	2
1.6 集計・分析上の注意事項について	2

2 市民による市政評価

2.1 調査対象	4
2.2 回答率	4
2.3 回答者の属性	4
2.4 満足度及び重要度	7
2.4.1 満足の度合い	7
2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合	9
2.4.3 満足度における属性別比較	10
2.4.4 重要の度合い	14
2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合	16
2.4.6 重要度における属性別比較	17
2.4.7 項目別の要望度	21
2.4.8 満足度、重要度の総括	23
2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較	24
2.5 さらに推進すべき取組	26
2.5.1 産業分野に関する設問について	26
2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について	29

2.5.3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について	32
2.5.4 環境・安全分野に関する設問について	35
2.5.5 都市基盤分野に関する設問について	38
2.5.6 教育・交流分野に関する設問について	41
2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について	44
2.5.8 さらに推進すべき取組の総括	47
2.6 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について	50
2.6.1 市政情報の入手手段に関する設問について	50
2.6.2 市が行っている行政サービスに関する設問について	53
2.7 あなたが思う大仙市について	57
2.7.1 市内在住の経緯に関する設問について	57
2.7.2 「住みやすさ」に関する設問について	59
2.8 経年比較（5か年分）	63

3 市民による個別事業評価

3.1 個別事業評価	80
3.1.1 若者チャレンジ応援プロジェクトについて	80
3.1.2 市内道の駅（協和・かみおか・なかせん）について	90
3.1.3 市内スキー場（大曲ファミリー、協和、大台）について	102

4 自由意見

5 資料（調査票）

令和6年度「市民による市政評価」調査票

1 はじめに

1.1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さまの評価や意見を伺い、より市民目線に立った市政運営につなげ、市民の皆さまとの協働のまちづくりをより一層推進するため、平成 18 年度から「市民による市政評価」を継続的に実施している。

平成 28 年度からは、市政評価とあわせて個別の事務事業に関する評価や意見等を伺う「個別事業評価」を実施しており、より市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めている。

1.2 調査の種類

調査は、次の区分により実施した。

(1) 市民による市政評価

第 2 次大仙市総合計画基本構想の体系（「施策の柱」「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目について、次の事項を調査した。

- 満足度（本市の現状に対してどのくらい満足しているか。）
- 重要度（本市のまちづくりにとってどのくらい重要であると考えているか。）
- 今後、さらに推進すべき取組

また、「市の情報発信や行政サービスのデジタル化について」として、市政情報の入手手段や行政のデジタル化に期待することを伺ったほか、「あなたが思う大仙市について」として、大仙市の住みやすさなどに関する意識調査も行った。

(2) 個別事業評価

個別具体の施策や事業の認知度、利用度、意識等を把握し、市民のニーズをふまえた施策の推進や事業の見直しを進めるため、次の 3 つのテーマについて調査した。

No.	テーマ
1	若者チャレンジ応援プロジェクトについて
2	市内道の駅（協和・かみおか・なかせん）について
3	市内スキー場（大曲ファミリー、協和、大台）について

1.3 調査の手法

調査票を郵送したうえで、郵送かインターネットを選択していただく方式とした。

1.4 調査票

本調査は、次の調査票により実施した。

○令和6年度「市民による市政評価」（「個別事業評価」の3テーマを含む）

※「5 資料（調査票）」参照

1.5 調査期間

令和6年5月10日（金）～6月7日（金）（29日間）

1.6 集計・分析上の注意事項について

- 回答者の属性においては無回答を含めた回答者数を「n」とし、その他の設問においては、有効回答内での割合を求めるため、無回答者を除いた有効回答者数を「n」として表記しており、設問により母数となる回答者数「n」は異なる場合がある。
- 属性等とのクロス集計では、属性等が不明な回答を除いているため、属性等の項目ごとに集計した対象者の合計と、全体の集計対象者の合計は一致しない場合がある。
- 市政評価における満足度、重要度及び要望度の平均値については、小数点第3位以下を、その他の設問の構成比（％）については、小数点第2位以下を四捨五入して表記している。
- 単一回答の設問における構成比（％）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。
- 複数回答の設問における構成比（％）は、集計対象者数に対する回答者数の比率を示すものであり、その合計は100%を超える場合がある。

2 市民による市政評価

2 市民による市政評価

2.1 調査対象

16 歳以上※85 歳未満の市民の中から無作為に抽出した 1,000 人（性別、年齢、地域については考慮）

※令和 5 年度から対象年齢を「18 歳以上」から「16 歳以上」に引き下げ

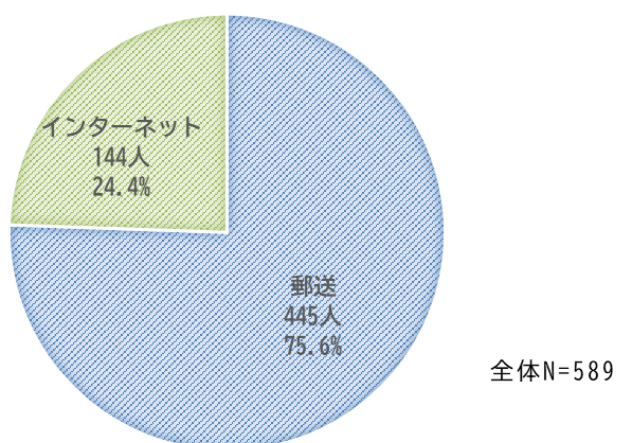
2.2 回答率

送付者数・・・1,000 人

回答者数・・・589 人

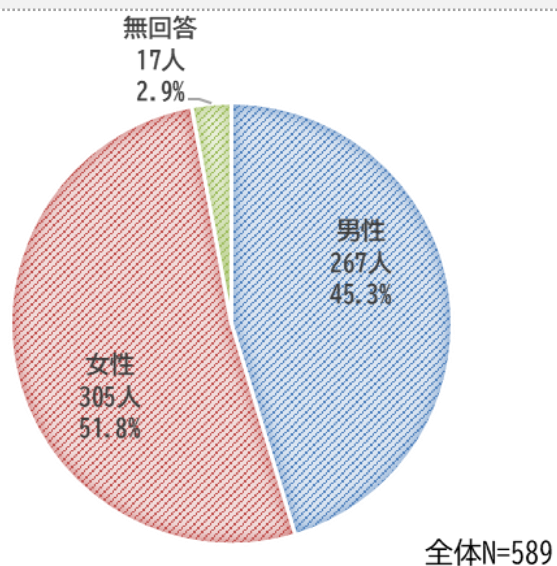
回答率・・・58.9%

図表 1 回答方法の内訳



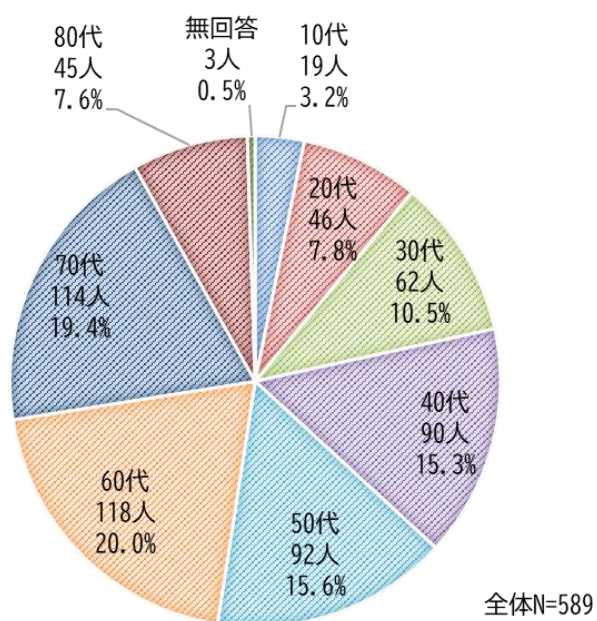
2.3 回答者の属性

図表 2 回答者の性別の内訳

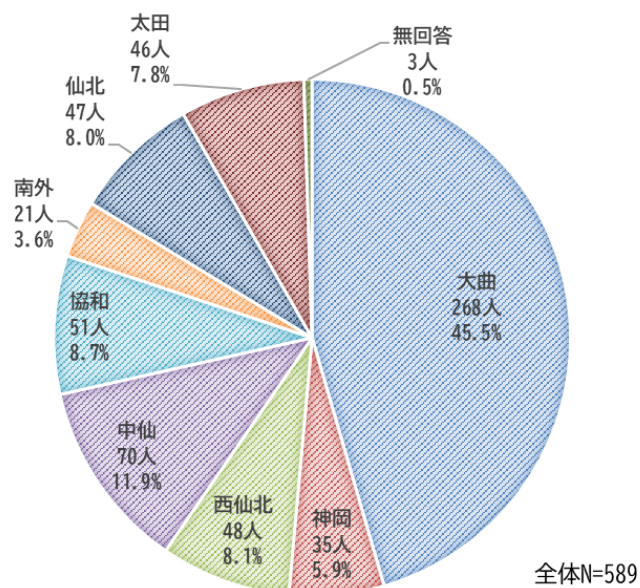


2.3 回答者の属性

図表3 回答者の年代の内訳

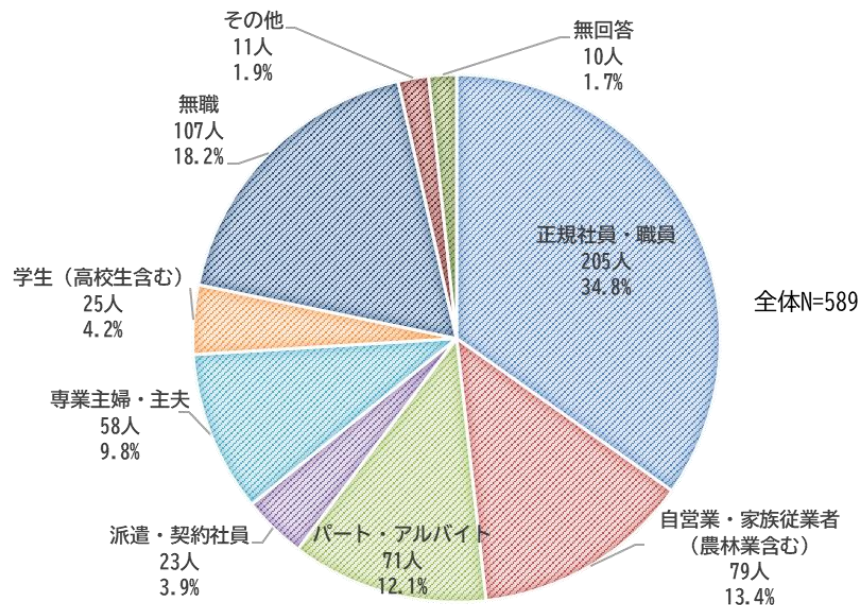


図表4 回答者の居住地域の内訳

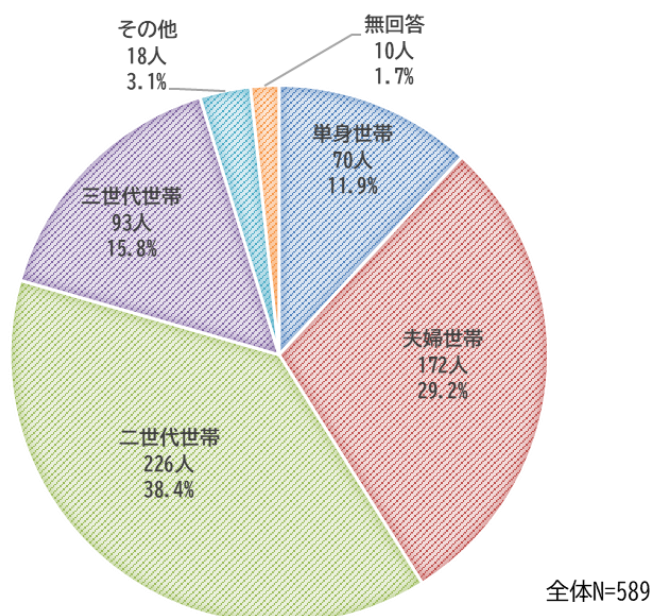


2.3 回答者の属性

図表5 回答者の就業状況の内訳



図表6 回答者の世帯構成の内訳



2.4 満足度及び重要度

2.4.1 満足の度合い

満足度の高い項目は、上位から「保健・医療」が3.66（昨年度3.70）、「自然・衛生環境」が3.52（昨年度3.47）、「安全・安心体制」が3.51（昨年度3.51）の順となっている。

一方、満足度の低い項目は、下位から「商工業」が2.80（昨年度2.77）、「雇用・就労」が2.81（昨年度2.78）、「空き家対策」が2.82（昨年度2.87）の順となっている。

上位項目では、「自然・衛生環境」が昨年度4位から2位に上昇しており、昨年度2位の「安全・安心体制」が3位に下降している。そのほか、「生涯学習」が昨年度13位から8位に上昇している。下位項目では、「公共交通」が昨年度19位から23位に下降しており、昨年度27位の「市街地」が26位に上昇している。そのほか、「農林水産業」が昨年度16位から21位に下降している。

昨年度と比較すると、全体的な順位に大きな変動は無いものの、29項目中、10項目で満足度が低下しているほか、変動が無かったのは5項目、上昇したのは14項目となっており、全体的に満足度が上昇している。中でも0.05ポイント以上上昇した項目は、3.32で8位の「生涯学習」（0.07増）、2.87で26位の「市街地」（0.06増）、3.29で11位の「芸術・文化」（0.06増）、3.29で11位の「地域間・国際交流」（0.05増）、3.52で2位の「自然・衛生環境」（0.05増）の5項目となっている。

一方で、0.05ポイント以上低下した項目は、3.10で21位の「農林水産業」（0.09減）、3.07で23位の「公共交通」（0.09減）、3.34で7位の「地域情報化」（0.08減）、3.40で6位の「上・下水道」（0.06減）、2.82で27位の「空き家対策」（0.05減）の5項目となっている。

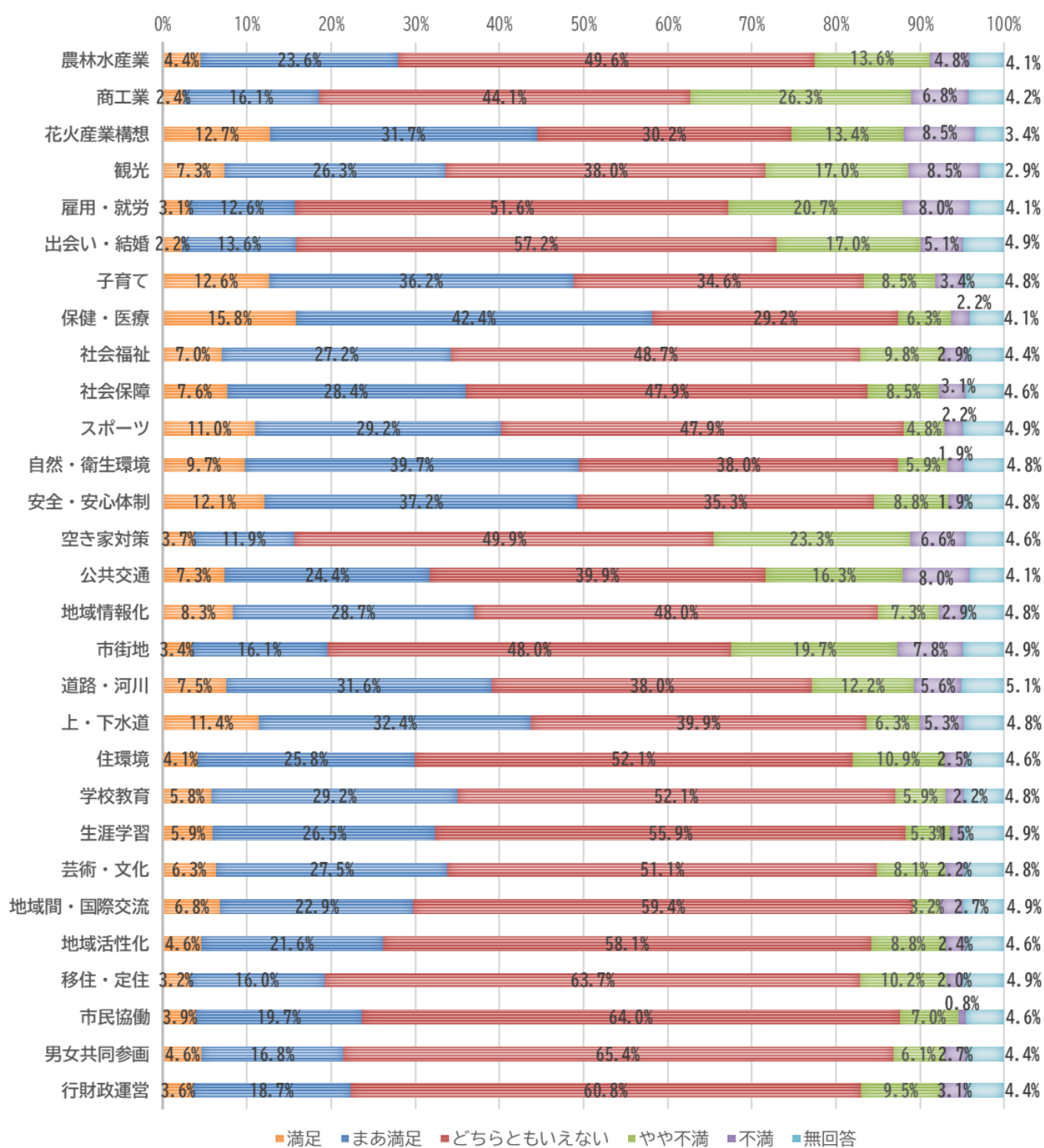
その他の19項目は昨年度から0.05ポイント未満の増減でほぼ横ばいとなっている。

図表 7 満足度（点数順）

順位		項 目	満足度		
R6	R5		R6	R5	増減 (R6-R5)
1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	3.66	3.70	▲ 0.04
2	4	【自然・衛生環境】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	3.52	3.47	0.05
3	2	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	3.51	3.51	0.00
4	3	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	3.48	3.48	0.00
5	4	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	3.44	3.47	▲ 0.03
6	6	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	3.40	3.46	▲ 0.06
7	7	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	3.34	3.42	▲ 0.08
8	8	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	3.32	3.32	0.00
8	13	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	3.32	3.25	0.07
10	10	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	3.30	3.29	0.01
11	14	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	3.29	3.24	0.05
11	15	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	3.29	3.23	0.06
13	11	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	3.28	3.28	0.00
14	9	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	3.27	3.31	▲ 0.04
15	11	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	3.24	3.28	▲ 0.04
16	16	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	3.20	3.19	0.01
17	18	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	3.19	3.17	0.02
18	21	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	3.18	3.14	0.04
19	20	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	3.15	3.15	0.00
20	22	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	3.11	3.09	0.02
21	16	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	3.10	3.19	▲ 0.09
22	24	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	3.09	3.07	0.02
23	22	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	3.07	3.09	▲ 0.02
23	19	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	3.07	3.16	▲ 0.09
25	25	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	2.90	2.88	0.02
26	27	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	2.87	2.81	0.06
27	26	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	2.82	2.87	▲ 0.05
28	28	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	2.81	2.78	0.03
29	29	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	2.80	2.77	0.03

2.4.2 満足度における選択肢別の回答割合

図表8 満足度における選択肢別の回答割合



2.4.3 満足度における属性別比較

性別で見ると、上位項目については、男女ともに全体の上位5項目と同じ項目が挙げられている。下位項目についても、順位の入れ替わりはあるが、男女ともに全体の項目と同じ項目が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、全ての年代で「保健・医療」が挙げられており、10代、40代以外の年代では1位となっている。また、全ての年代で「自然・衛生環境」、30代以上で「安全・安心体制」、20代、70代以外の年代で「子育て」が挙げられている。

下位項目については、全ての年代で「雇用・就労」「市街地」が挙げられており、20代以上で「空き家対策」「商工業」については20代を除く全ての世代で挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、南外地域以外で「保健・医療」が挙げられており、西仙北地域以外で「自然・衛生環境」、西仙北・協和・南外地域以外で「子育て」が挙げられている。

下位項目については、全ての地域で「空き家対策」が挙げられており、神岡地域以外で「市街地」、協和地域以外で「雇用・就労」、中仙・南外地域以外で「出会い・結婚」が挙げられている。

図表9 性別による満足度

■男性

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.54
2	自然・衛生環境	3.46
3	安全・安心体制	3.45
4	子育て	3.35
5	上・下水道	3.32
	スポーツ	3.32

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.77
26	市街地	2.75
27	雇用・就労	2.72
28	空き家対策	2.70
	商工業	2.70

■女性

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.78
2	子育て	3.60
3	自然・衛生環境	3.59
4	安全・安心体制	3.58
5	スポーツ	3.56

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.02
26	市街地	2.98
27	空き家対策	2.95
28	雇用・就労	2.90
29	商工業	2.89

図表 10 年代別による満足度

■10代

(上位)

順位	項目	満足度
1	自然・衛生環境	3.84
2	上・下水道	3.79
3	保健・医療	3.74
	花火産業構想	3.74
5	子育て	3.68

(下位)

順位	項目	満足度
25	行財政運営	3.16
26	商工業	3.11
	雇用・就労	3.11
28	出会い・結婚	3.00
29	市街地	2.89

■20代

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.70
2	上・下水道	3.54
3	自然・衛生環境	3.52
	スポーツ	3.52
5	花火産業構想	3.48

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.96
26	雇用・就労	2.85
	出会い・結婚	2.85
28	市街地	2.67
29	空き家対策	2.61

■30代

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.64
2	自然・衛生環境	3.56
3	子育て	3.54
4	花火産業構想	3.48
	安全・安心体制	3.48

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.93
26	市街地	2.84
27	雇用・就労	2.80
28	商工業	2.77
29	空き家対策	2.70

■40代

(上位)

順位	項目	満足度
1	子育て	3.67
2	保健・医療	3.63
3	安全・安心体制	3.58
4	自然・衛生環境	3.51
5	上・下水道	3.39

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.93
26	空き家対策	2.88
27	市街地	2.84
28	雇用・就労	2.78
	商工業	2.78

■50代

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.54
2	自然・衛生環境	3.47
3	安全・安心体制	3.43
4	スポーツ	3.36
5	子育て	3.35

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.84
26	市街地	2.82
27	空き家対策	2.79
28	商工業	2.73
29	雇用・就労	2.52

■60代

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.56
2	子育て	3.49
3	スポーツ	3.42
4	自然・衛生環境	3.41
5	安全・安心体制	3.40

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.89
26	出会い・結婚	2.87
27	雇用・就労	2.85
28	空き家対策	2.81
29	商工業	2.79

図表 10 年代別による満足度

■70代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.83
2	安全・安心体制	3.59
3	自然・衛生環境	3.56
4	上・下水道	3.49
	スポーツ	3.49

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	2.93
26	雇用・就労	2.92
27	出会い・結婚	2.86
28	空き家対策	2.84
29	商工業	2.76

■80代 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.87
2	安全・安心体制	3.77
3	子育て	3.67
4	スポーツ	3.66
5	自然・衛生環境	3.64

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	3.08
26	市街地	3.03
27	雇用・就労	2.95
28	空き家対策	2.90
29	商工業	2.85

図表 11 地域別による満足度

■大曲地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.71
2	子育て	3.59
3	自然・衛生環境	3.53
	安全・安心体制	3.53
5	スポーツ	3.48

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.97
26	空き家対策	2.90
	商工業	2.90
	市街地	2.90
29	雇用・就労	2.85

■神岡地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.82
2	自然・衛生環境	3.65
3	スポーツ	3.62
4	子育て	3.56
	上・下水道	3.56

(下位)

順位	項目	満足度
25	観光	2.94
26	出会い・結婚	2.88
27	雇用・就労	2.80
28	空き家対策	2.73
29	商工業	2.66

■西仙北地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.77
2	上・下水道	3.58
3	安全・安心体制	3.53
4	地域情報化	3.48
5	学校教育	3.43

(下位)

順位	項目	満足度
25	出会い・結婚	2.78
26	市街地	2.77
27	雇用・就労	2.74
	商工業	2.74
29	空き家対策	2.73

■中仙地域 (上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.71
2	安全・安心体制	3.65
3	自然・衛生環境	3.56
4	子育て	3.45
5	芸術・文化	3.38

(下位)

順位	項目	満足度
25	公共交通	2.80
26	市街地	2.75
27	空き家対策	2.72
28	商工業	2.70
29	雇用・就労	2.67

図表 11 地域別による満足度

■協和地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	上・下水道	3.67
2	自然・衛生環境	3.63
3	保健・医療	3.57
4	安全・安心体制	3.55
5	花火産業構想	3.50

(下位)

順位	項目	満足度
25	市街地	3.00
26	空き家対策	2.90
27	出会い・結婚	2.86
28	公共交通	2.73
29	商工業	2.65

■南外地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	安全・安心体制	3.48
2	地域情報化	3.38
3	上・下水道	3.33
	自然・衛生環境	3.33
5	生涯学習	3.24
	学校教育	3.24

(下位)

順位	項目	満足度
25	観光	2.81
	移住・定住	2.81
27	雇用・就労	2.76
	市街地	2.76
29	空き家対策	2.62

■仙北地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.76
2	自然・衛生環境	3.59
3	安全・安心体制	3.48
	子育て	3.48
5	地域間・国際交流	3.46

(下位)

順位	項目	満足度
24	出会い・結婚	2.85
	空き家対策	2.85
26	観光	2.78
27	雇用・就労	2.66
28	市街地	2.64
29	商工業	2.61

■太田地域

(上位)

順位	項目	満足度
1	保健・医療	3.40
2	スポーツ	3.37
3	上・下水道	3.34
4	自然・衛生環境	3.33
5	子育て	3.32

(下位)

順位	項目	満足度
24	行財政運営	2.93
	市街地	2.93
26	商工業	2.88
27	出会い・結婚	2.76
28	雇用・就労	2.74
29	空き家対策	2.59

2.4.4 重要の度合い

重要度の高い項目は、上位から「子育て」が4.35（昨年度4.42）、「保健・医療」が4.35（昨年度4.49）、「雇用・就労」が4.34（昨年度4.41）の順となっている。

一方、重要度の低い項目は、下位から「地域間・国際交流」が3.40（昨年度3.35）、「スポーツ」が3.45（昨年度3.47）、「芸術・文化」が3.53（昨年度3.54）の順となっている。

上位項目、下位項目は令和5年度から変動がない。

昨年度と比較すると、満足度同様、全体的な順位に大きな変動は無いものの、29項目中、25項目で重要度が低下しているほか、上昇したのは4項目となっており、全体的に重要度が低下している。中でも0.05ポイント以上低下した項目は、4.35で1位の「保健・医療」（0.14減）、4.17で9位の「社会保障」（0.12減）、4.04で13位の「自然・衛生環境」（0.11減）、3.78で19位の「移住・定住」（0.09減）、3.79で18位の「住環境」（0.09減）、4.35で1位の「子育て」（0.07減）、4.34で3位の「雇用・就労」（0.07減）、3.70で23位の「生涯学習」（0.06減）、4.13で10位の「上・下水道」（0.06減）、3.85で15位の「出会い・結婚」（0.06減）、4.24で5位の「社会福祉」（0.06減）、4.25で4位の「安全・安心体制」（0.06減）、3.65で24位の「男女共同参画」（0.05減）、3.76で20位「行財政運営」（0.05減）、3.74で21位「地域情報化」（0.05減）の15項目となっている。

一方、0.05ポイント以上上昇した項目は、3.40で29位の「地域間・国際交流」（0.05増）のみとなっている。

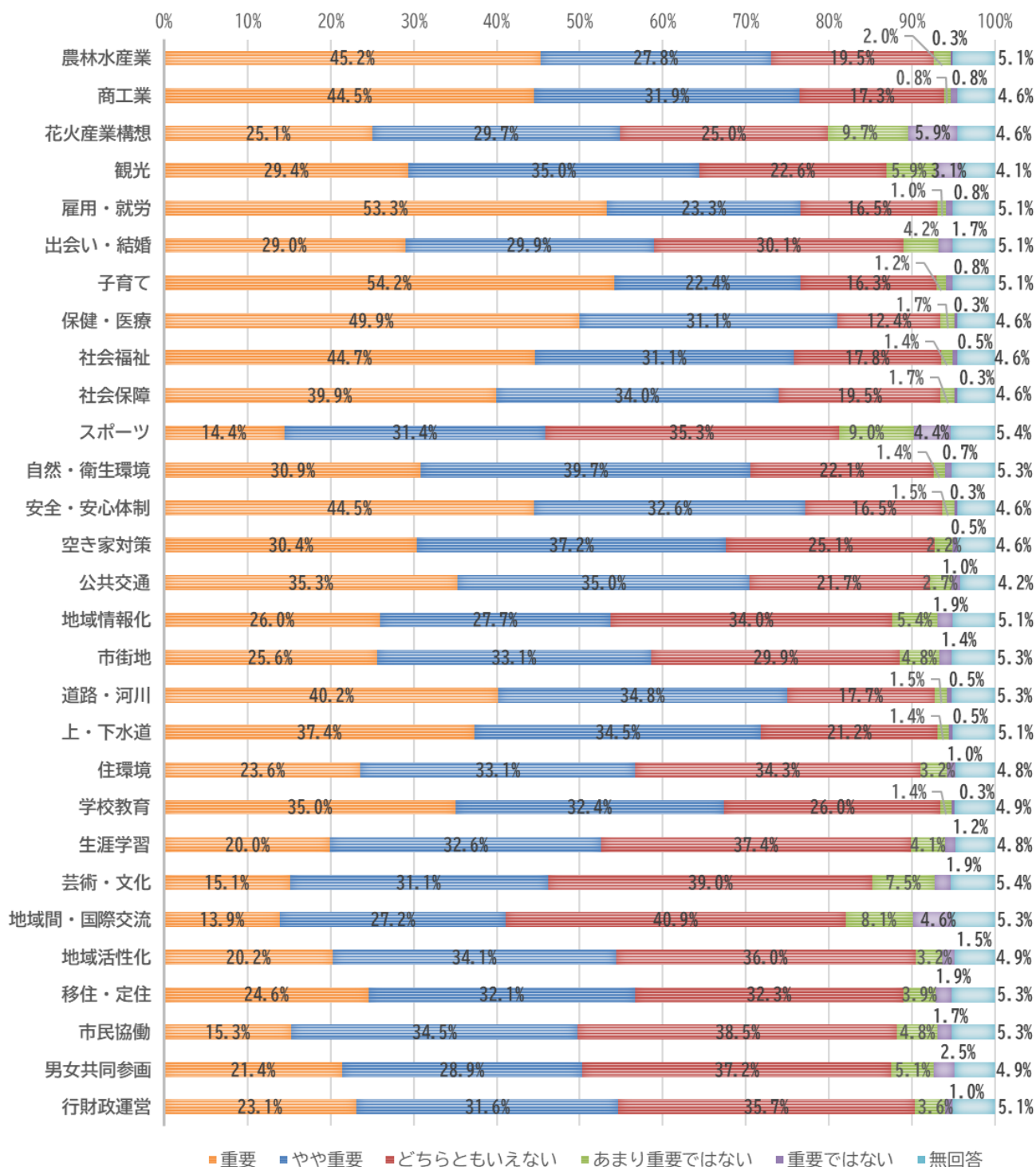
その他の13項目は昨年度から0.05ポイント未満の増減でほぼ横ばいとなっている。

図表 12 重要度（点数順）

順位		項 目	重要度		
R6	R5		R6	R5	増減 (R6-R5)
1	2	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	4.35	4.42	▲ 0.07
1	1	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	4.35	4.49	▲ 0.14
3	3	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	4.34	4.41	▲ 0.07
4	4	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	4.25	4.31	▲ 0.06
5	7	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	4.24	4.23	0.01
5	5	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	4.24	4.30	▲ 0.06
7	7	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	4.22	4.23	▲ 0.01
8	9	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	4.19	4.21	▲ 0.02
9	6	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	4.17	4.29	▲ 0.12
10	10	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	4.13	4.19	▲ 0.06
11	12	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	4.06	4.09	▲ 0.03
12	13	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	4.05	4.08	▲ 0.03
13	11	【自然・衛生環境】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	4.04	4.15	▲ 0.11
14	14	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	3.99	4.00	▲ 0.01
15	16	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	3.85	3.88	▲ 0.03
15	15	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	3.85	3.91	▲ 0.06
17	19	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	3.81	3.85	▲ 0.04
18	16	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	3.79	3.88	▲ 0.09
19	18	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	3.78	3.87	▲ 0.09
20	20	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	3.76	3.81	▲ 0.05
21	21	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMIはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	3.74	3.79	▲ 0.05
22	23	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域枠予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	3.72	3.75	▲ 0.03
23	22	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	3.70	3.76	▲ 0.06
24	24	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	3.65	3.70	▲ 0.05
25	25	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	3.61	3.59	0.02
26	25	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	3.60	3.59	0.01
27	27	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	3.53	3.54	▲ 0.01
28	28	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	3.45	3.47	▲ 0.02
29	29	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	3.40	3.35	0.05

2.4.5 重要度における選択肢別の回答割合

図表 13 重要度における選択肢別の回答割合



2.4.6 重要度における属性別比較

性別で見ると、多少の差異はあるものの、男女で概ね同様の傾向となっている。上位項目については、女性の4位に全体5位の「社会福祉」が挙げられており、男性の5位に全体7位の「農林水産業」が挙げられている。

下位項目については、男性と全体の下位5項目に挙げられている項目は同じだが、女性の24位に全体20位の「行財政運営」と22位の「地域活性化」が挙げられている。

年代別で見ると、上位項目については、50代以外で「子育て」、60代以外で「保健・医療」、80代以外の年代で「雇用・就労」が挙げられている。また、「保健・医療」は20代と70代で、「子育て」は10代、30代、40代と60代で1位となっている。そのほか、全体5位の「商工業」は20代及び40代から60代で上位となっている。

下位項目については、全ての年代で「芸術・文化」、「スポーツ」が挙げられている。また、10代以外で「地域間・国際交流」、20代と40代、60代、80代で「市民協働」が挙げられている。そのほか、10代、60代、70代では「花火産業構想」、10代と30代で「出会い・結婚」、「移住・定住」が挙げられている。

地域別で見ると、上位項目については、全ての地域で「保健・医療」が挙げられており、中仙・南外・太田地域では1位となっている。また、神岡地域以外で「雇用・就労」が挙げられており、西仙北・協和・仙北地域では1位となっている。そのほか、大曲・神岡・中仙・南外・仙北・太田地域で「子育て」、大曲・神岡・中仙・仙北地域で「商工業」、大曲・西仙北・南外地域で「安全・安心体制」、神岡・西仙北・中仙・協和地域で「農林水産業」がそれぞれ挙げられている。

下位項目については、全ての地域で「地域間・国際交流」「スポーツ」が挙げられている。また、中仙・太田地域以外で「芸術・文化」、大曲・西仙北地域以外で「花火産業構想」が挙げられている。

図表 14 性別による重要度

■男性

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.26
2	保健・医療	4.24
3	商工業	4.21
4	子育て	4.18
5	農林水産業	4.16

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.41
26	花火産業構想	3.35
27	スポーツ	3.28
28	芸術・文化	3.27
29	地域間・国際交流	3.15

■女性

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.50
2	保健・医療	4.45
3	安全・安心体制	4.44
4	社会福祉	4.42
5	雇用・就労	4.41

(下位)

順位	項目	重要度
24	行財政運営	3.84
	地域活性化	3.84
26	市民協働	3.78
	芸術・文化	3.78
28	地域間・国際交流	3.63
29	スポーツ	3.60

図表 15 年代別による重要度

■10代

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.63
2	雇用・就労	4.56
3	保健・医療	4.37
4	自然・衛生環境	4.32
	学校教育	4.32

(下位)

順位	項目	重要度
23	移住・定住	3.68
	地域活性化	3.68
	芸術・文化	3.68
26	出会い・結婚	3.63
	花火産業構想	3.63
	行財政運営	3.63
29	スポーツ	3.53

■20代

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.47
2	雇用・就労	4.41
3	商工業	4.39
4	子育て	4.29
	社会保障	4.29

(下位)

順位	項目	重要度
25	地域活性化	3.63
26	市民協働	3.57
27	芸術・文化	3.42
28	スポーツ	3.31
29	地域間・国際交流	3.16

■30代

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.47
2	保健・医療	4.37
3	雇用・就労	4.32
4	安全・安心体制	4.27
5	道路・河川	4.23

(下位)

順位	項目	重要度
24	移住・定住	3.66
	出会い・結婚	3.66
26	行財政運営	3.65
27	芸術・文化	3.48
28	スポーツ	3.35
29	地域間・国際交流	3.27

図表 15 年代別による重要度

■40代

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.54
2	雇用・就労	4.45
3	保健・医療	4.43
4	商工業	4.31
	道路・河川	4.31

(下位)

順位	項目	重要度
25	芸術・文化	3.59
26	男女共同参画	3.54
27	スポーツ	3.49
28	市民協働	3.44
29	地域間・国際交流	3.42

■50代

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.31
2	保健・医療	4.26
3	商工業	4.23
4	社会福祉	4.22
5	道路・河川	4.15

(下位)

順位	項目	重要度
25	生涯学習	3.47
26	芸術・文化	3.44
27	スポーツ	3.36
28	男女共同参画	3.35
29	地域間・国際交流	3.30

■60代

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.27
	子育て	4.27
3	農林水産業	4.26
	社会福祉	4.26
5	商工業	4.25

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.61
26	スポーツ	3.45
27	芸術・文化	3.42
28	地域間・国際交流	3.38
29	花火産業構想	3.33

■70代

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.42
2	子育て	4.36
3	農林水産業	4.34
4	安全・安心体制	4.33
5	雇用・就労	4.31

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.69
	芸術・文化	3.69
27	男女共同参画	3.66
28	スポーツ	3.57
29	地域間・国際交流	3.50

■80代

(上位)

順位	項目	重要度
1	安全・安心体制	4.50
2	保健・医療	4.45
3	子育て	4.40
4	道路・河川	4.26
5	上・下水道	4.25
	自然・衛生環境	4.25

(下位)

順位	項目	重要度
25	行財政運営	3.69
26	芸術・文化	3.64
27	地域間・国際交流	3.60
28	市民協働	3.56
29	スポーツ	3.54

図表 16 地域による重要度

■大曲地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.42
2	雇用・就労	4.36
3	保健・医療	4.35
4	商工業	4.32
5	安全・安心体制	4.29

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.66
26	市民協働	3.59
27	芸術・文化	3.58
28	地域間・国際交流	3.45
29	スポーツ	3.44

■神岡地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	子育て	4.59
2	農林水産業	4.47
3	保健・医療	4.44
4	社会福祉	4.38
5	商工業	4.37

(下位)

順位	項目	重要度
25	スポーツ	3.73
26	行財政運営	3.71
27	花火産業構想	3.67
28	芸術・文化	3.66
29	地域間・国際交流	3.54

■西仙北地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.49
2	安全・安心体制	4.40
	道路・河川	4.40
4	保健・医療	4.35
5	農林水産業	4.33

(下位)

順位	項目	重要度
25	行財政運営	3.58
26	男女共同参画	3.57
27	芸術・文化	3.50
28	スポーツ	3.40
29	地域間・国際交流	3.33

■中仙地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.36
2	子育て	4.26
3	雇用・就労	4.24
4	農林水産業	4.22
5	商工業	4.19
	社会保障	4.19

(下位)

順位	項目	重要度
25	住環境	3.48
26	市民協働	3.41
27	スポーツ	3.29
28	花火産業構想	3.25
29	地域間・国際交流	3.18

■協和地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.37
2	農林水産業	4.35
3	保健・医療	4.34
	道路・河川	4.34
5	上・下水道	4.30

(下位)

順位	項目	重要度
25	花火産業構想	3.67
26	生涯学習	3.60
27	スポーツ	3.54
28	地域間・国際交流	3.45
29	芸術・文化	3.40

■南外地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.29
2	社会福祉	4.14
	子育て	4.14
4	雇用・就労	4.10
	安全・安心体制	4.10
	自然・衛生環境	4.10

(下位)

順位	項目	重要度
23	男女共同参画	3.48
	地域活性化	3.48
	市民協働	3.48
26	花火産業構想	3.33
27	スポーツ	3.29
28	芸術・文化	3.24
29	地域間・国際交流	3.05

図表 16 地域による重要度

■仙北地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	雇用・就労	4.47
2	保健・医療	4.33
	子育て	4.33
4	社会保障	4.26
5	商工業	4.24

(下位)

順位	項目	重要度
25	男女共同参画	3.63
26	スポーツ	3.57
27	地域間・国際交流	3.52
28	芸術・文化	3.44
29	花火産業構想	3.41

■太田地域

(上位)

順位	項目	重要度
1	保健・医療	4.28
2	子育て	4.23
3	雇用・就労	4.19
	社会福祉	4.19
5	公共交通	4.16

(下位)

順位	項目	重要度
25	市民協働	3.56
	男女共同参画	3.56
27	花火産業構想	3.44
28	スポーツ	3.43
29	地域間・国際交流	3.37

2.4.7 項目別の要望度

要望度とは、重要度から満足度を引いた数値としている。

要望度の高い項目は、上位から「雇用・就労」が1.53（昨年度1.63）、「商工業」が1.44（昨年度1.46）、「空き家対策」が1.17（昨年度1.13）の順となっており、上位4項目までは昨年度と同じ順位となっている。そのほか、「公共交通」が11位から5位に上昇している。

一方、要望度が低い項目は、下位から「スポーツ」が0.01（昨年度0.00）、「地域間・国際交流」が0.11（昨年度0.11）、「芸術・文化」が0.24（昨年度0.31）、「花火産業構想」が0.33（昨年度0.31）の順となった。下位2項目は昨年度と同じ順位、昨年度26位の「花火産業構想」と「芸術・文化」がそれぞれ26位と27位となり、昨年度25位の「地域情報化」は23位に上昇している。

昨年度と比較すると、満足度が全体的に横ばいであり、重要度が全体的に低下したことから、要望度は全体的に低下している。

要望度が0.15ポイント以上上昇した項目はないものの、0.15ポイント以上低下した項目は、0.52で21位の「自然・衛生環境」のみで、昨年度の20位から順位を下げている。

図表 17 項目別の要望度（重要度－満足度）（点数順）

順位		項 目	要望度		
R6	R5		R6	R5	増減 (R6-R5)
1	1	【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	1.53	1.63	▲ 0.10
2	2	【商工業】 企業誘致や地元企業の規模拡大に対する支援、人材獲得支援、商店街等への支援、創業支援などに取り組んでいます。	1.44	1.46	▲ 0.02
3	3	【空き家対策】 所有者に対する助言や指導、空き家バンクを通じた移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用に取り組んでいます。	1.17	1.13	0.04
4	4	【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備等に取り組んでいます。	1.12	1.04	0.08
5	11	【公共交通】 地域の実情にあわせて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。	0.98	0.92	0.06
6	8	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	0.97	0.99	▲ 0.02
7	6	【出会い・結婚】 出会いイベントの開催など、男女の出会いの場づくりや、住居取得等への支援などにより地域全体で応援する取組を進めています。	0.95	1.03	▲ 0.08
7	10	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。	0.95	0.93	0.02
9	4	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。	0.94	1.04	▲ 0.10
10	7	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、皆さんの生活を守る社会保障の充実に努めています。	0.87	1.00	▲ 0.13
10	9	【子育て】 保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	0.87	0.94	▲ 0.07
12	14	【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	0.78	0.79	▲ 0.01
13	12	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。	0.74	0.80	▲ 0.06
13	16	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域住民との交流など、社会で活躍できる子どもの育成を進めています。	0.74	0.77	▲ 0.03
15	17	【上・下水道】 浄水場・水道施設の整備や公共下水道の整備など、生活の基盤となる上・下水道等の整備を進めています。	0.73	0.73	0.00
16	12	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、安心して移住できる環境づくりを進めています。	0.69	0.80	▲ 0.11
16	14	【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	0.69	0.79	▲ 0.10
18	18	【行財政運営】 市職員数の適正化、財政の健全化、組織機構改革、公共施設の見直しなど、効率的かつ効果的な行財政運営に努めています。	0.65	0.72	▲ 0.07
19	19	【住環境】 住宅リフォーム支援や市営住宅の維持管理、公園・緑地の維持管理など、良好な住環境づくりに取り組んでいます。	0.60	0.71	▲ 0.11
20	21	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域枠予算の充実、自治会活動の支援など、住民主体のまちづくりを進めています。	0.54	0.61	▲ 0.07
21	20	【自然・衛生環境】 緑豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境保全と衛生環境整備に努めています。	0.52	0.68	▲ 0.16
22	22	【男女共同参画】 男女共同参画に関する講座や女性活躍応援講座の開催など、男女の隔てなく誰もが活躍できる社会づくりを進めています。	0.50	0.55	▲ 0.05
23	25	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。	0.40	0.37	0.03
23	24	【市民協働】 ボランティアやNPOへの活動支援など、市民と行政による協働の取組を応援しています。	0.40	0.40	0.00
25	23	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動、生涯学習施設の整備など、生涯学習を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。	0.38	0.51	▲ 0.13
26	26	【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業等幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	0.33	0.31	0.02
27	26	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用した行事など、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。	0.24	0.31	▲ 0.07
28	28	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。	0.11	0.11	0.00
29	29	【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に努めています。	0.01	0.00	0.01

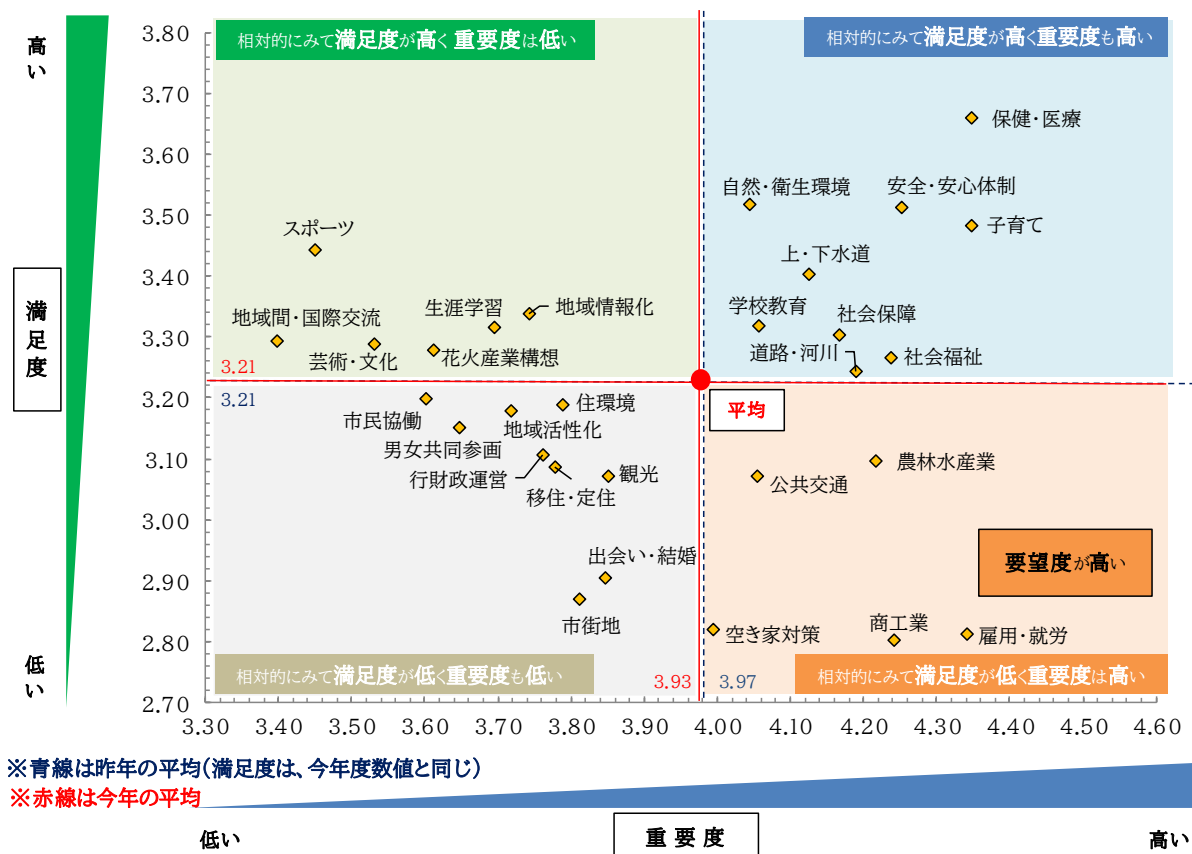
2.4.8 満足度、重要度の総括

満足度、重要度の総括として、満足度を縦軸、重要度を横軸として要望度の高さを示した散布図を作成した。図表 18 は、29 項目の満足度と重要度のそれぞれの位置を示したものである。

図の右上に位置するほど満足度と重要度が高い項目であり、逆に図の左下に位置するほど満足度と重要度が低い項目となっている。満足度が低く重要度が高い項目（図の右下にある項目）ほど相対的に要望度が高い項目となっている。

今回の満足度と重要度の結果から相対的に要望度が高い項目は、昨年度同様「雇用・就労」「商工業」となっている。

図表 18 満足度・重要度の項目別比較



2.4.9 満足度、重要度の年齢層別比較

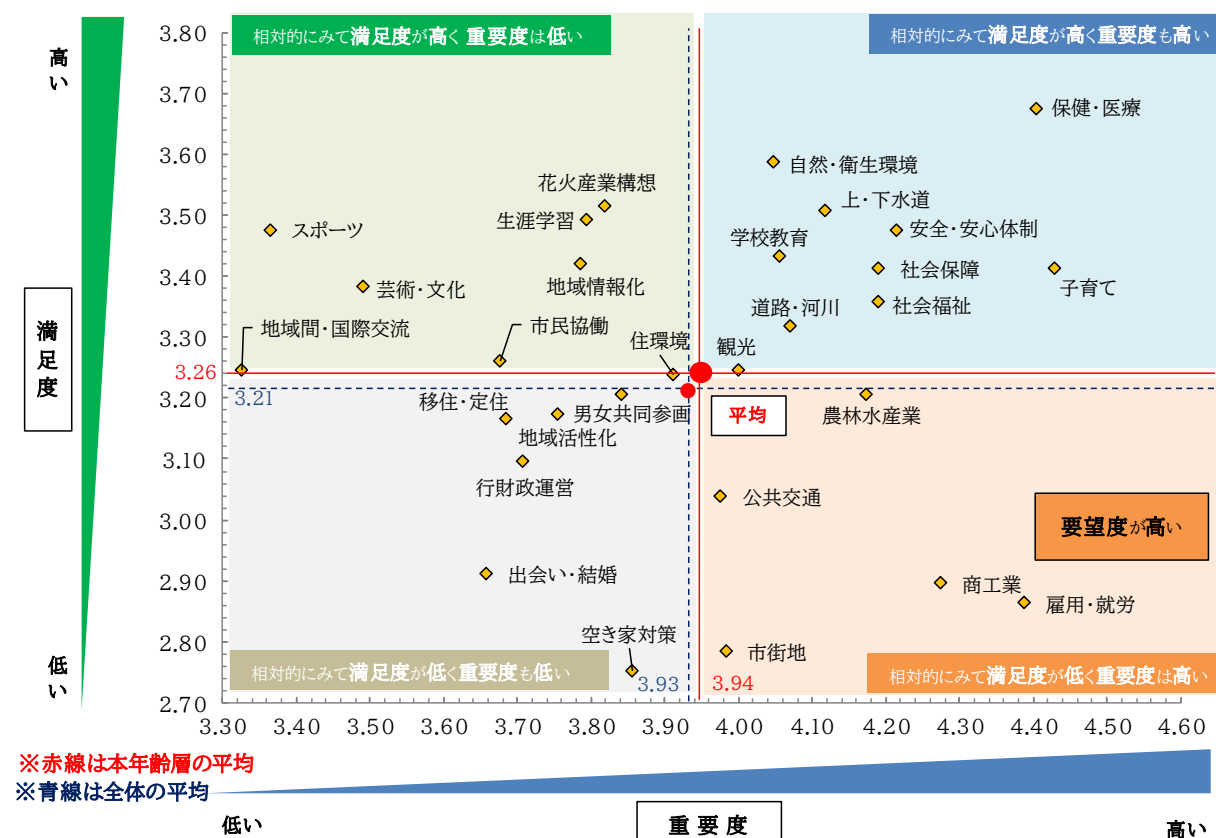
18 歳から 39 歳まで(図表 19)、40 歳から 64 歳まで(図表 20)、65 歳以上(図表 21) の 3 つの年齢層別に散布図を作成し比較した。

18 歳から 39 歳までの年齢層では、全体の平均と比べて満足度及び重要度が高くなっており、相対的に要望度が高い項目は「雇用・就労」「商工業」「市街地」となっている。また、満足度は「保健・医療」が最も高く、重要度は「子育て」が最も高くなっている。他の年齢層と比較した場合、40 歳から 64 歳までの満足度は「雇用・就労」、65 歳以上の満足度は「商工業」が最も低くなっているのに対し、本年齢層の満足度は「空き家対策」が最も低くなっている。

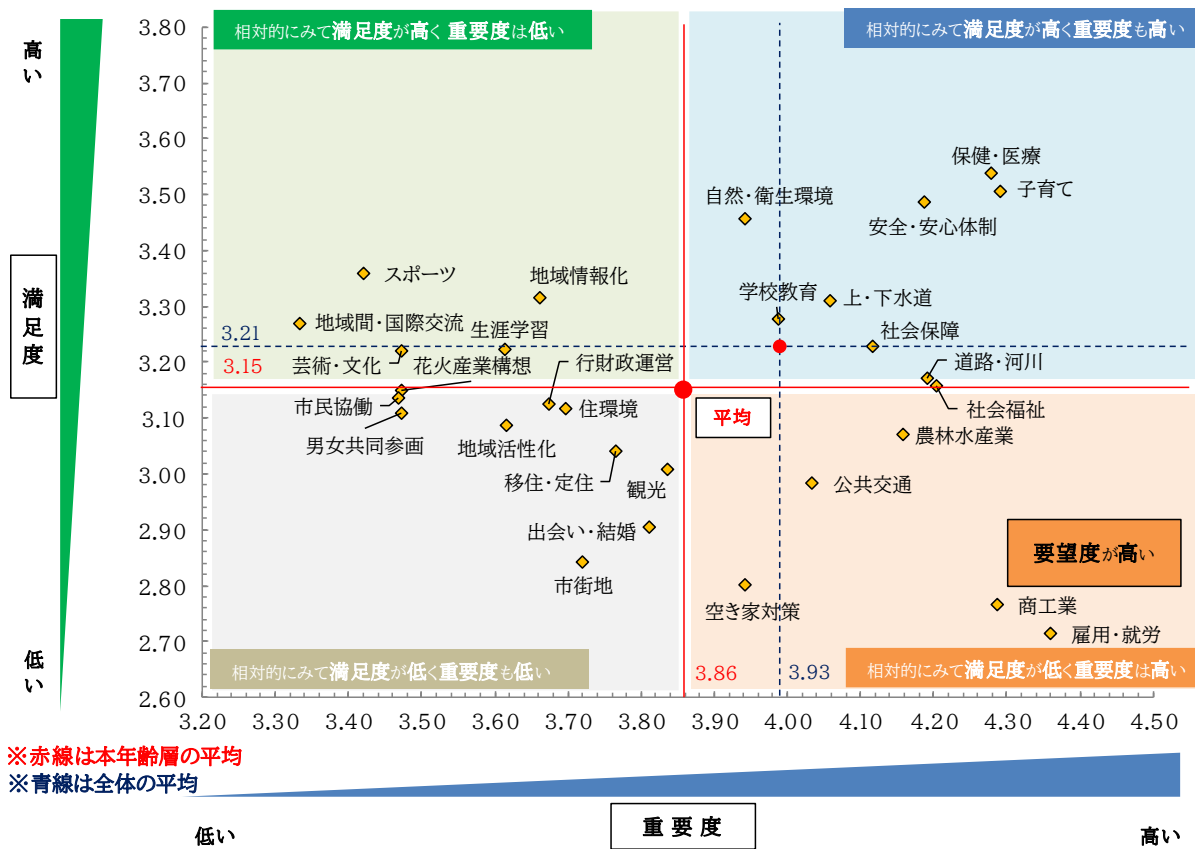
40 歳から 64 歳までの年齢層は、満足度及び重要度が全体の平均を大きく下回っており、相対的に要望度が高い項目は「雇用・就労」「商工業」「空き家対策」となっている。重要度は他の年齢層では「子育て」や「保健・医療」が最も高くなっているのに対し、「雇用・就労」が最も高くなっている。

65 歳以上の年齢層では、全般的に満足度及び重要度が高くなっており、相対的に要望度が高い項目は、他の年齢層同様「雇用・就労」となっている。

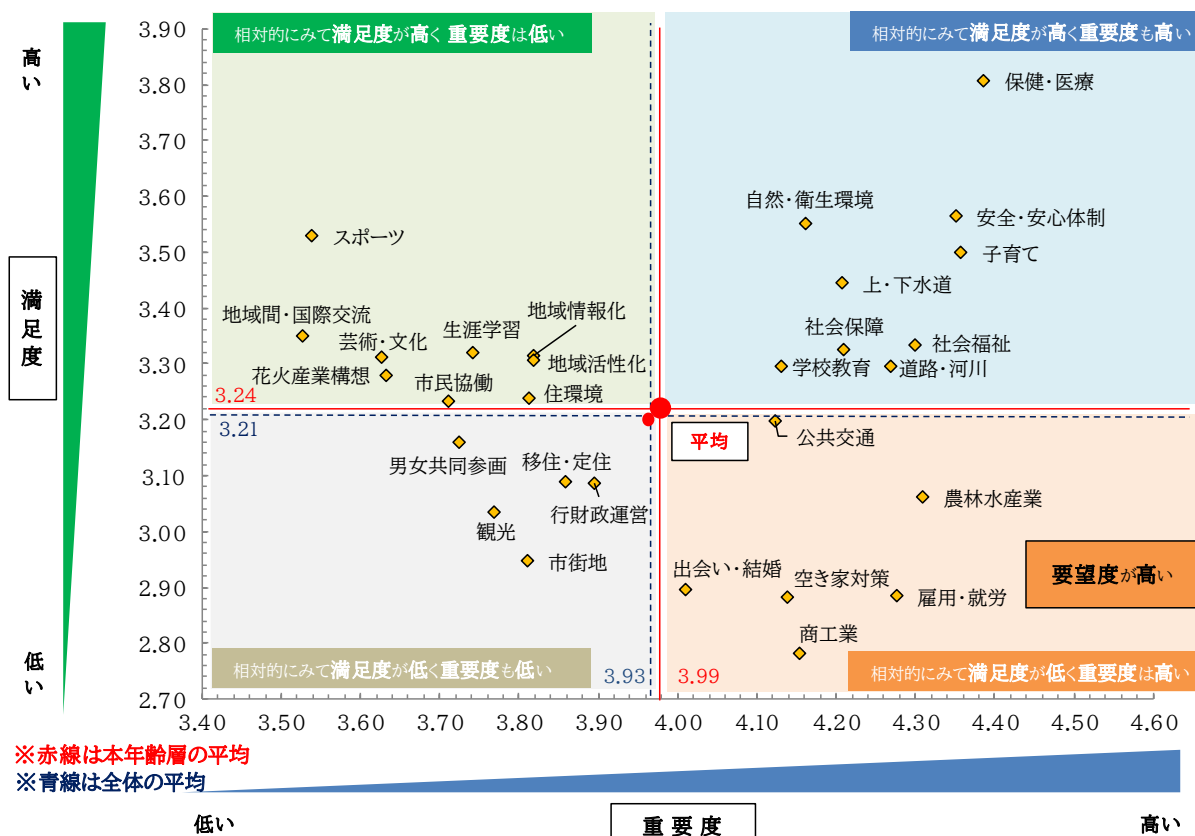
図表 19 満足度・重要度の項目別比較（18 歳から 39 歳）



図表 20 満足度・重要度の項目別比較（40 歳から 64 歳）



図表 21 満足度・重要度の項目別比較（65 歳以上）



2.5 さらに推進すべき取組

2.5.1 産業分野に関する設問について

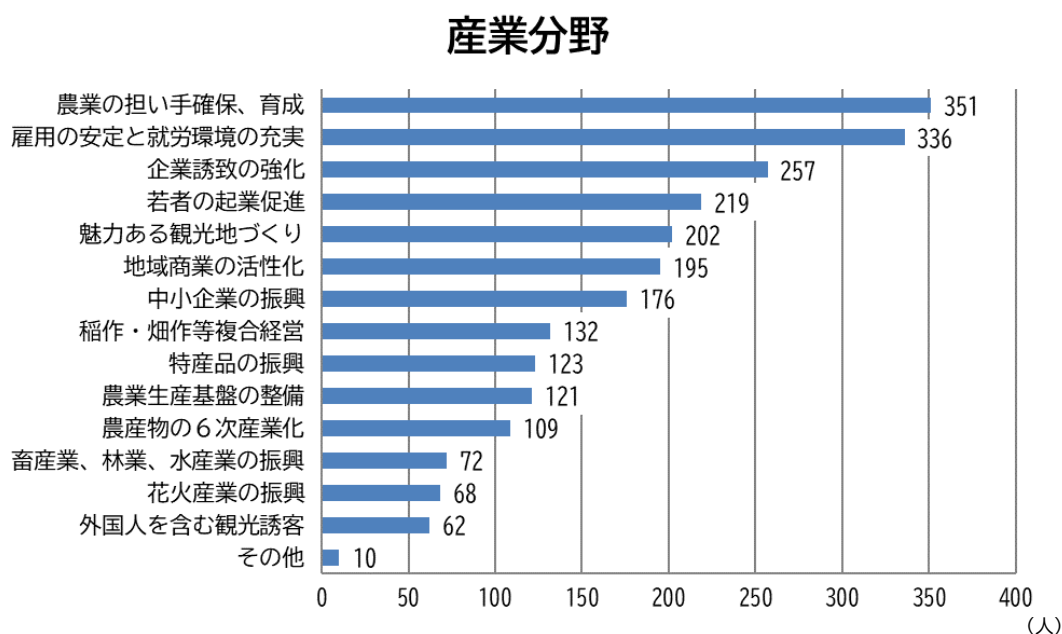
さらに推進すべき取組の上位は、「農業の担い手確保、育成」「雇用の安定と就労環境の充実」「企業誘致の強化」の順となっている。

一方、下位は、「外国人を含む観光誘客」「花火産業の振興」「畜産業、林業、水産業の振興」の順となっている。

年代別で見ると、10代・20代・50代・60代で「雇用の安定と就労環境の充実」、30代・40代・70代・80代で「農業の担い手確保、育成」が最も多くなっている。そのほか、10代から40代で「魅力ある観光地づくり」、30代以外で「若者の起業促進」が上位に入っている。

地域別で見ると、協和・南外地域以外の上位3項目は「雇用の安定と就労環境の充実」「農業の担い手確保、育成」「企業誘致の強化」となっており、協和地域では「農業生産基盤の整備」、南外地域では「稲作・畑作等複合経営」が3番目になっている。協和・太田地域以外で「若者の起業促進」、大曲・協和地域で「魅力ある観光地づくり」が上位に入っている。

図表 22 さらに推進すべき取組（回答数順）
産業分野



図表 23 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）
産業分野

■10代

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	12
2	農業の担い手確保、育成	11
	魅力ある観光地づくり	11
4	若者の起業促進	10
5	特産品の振興	6
	外国人を含む観光誘客	6

■20代

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	26
	魅力ある観光地づくり	26
3	農業の担い手確保、育成	18
	若者の起業促進	18
	企業誘致の強化	18

■30代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	36
2	雇用の安定と就労環境の充実	35
3	魅力ある観光地づくり	27
4	地域商業の活性化	25
5	中小企業の振興	21

■40代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	54
2	雇用の安定と就労環境の充実	51
3	若者の起業促進	41
4	企業誘致の強化	40
5	魅力ある観光地づくり	36

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	57
2	農業の担い手確保、育成	52
3	企業誘致の強化	48
4	中小企業の振興	38
5	若者の起業促進	33

■60代

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	70
	農業の担い手確保、育成	70
3	企業誘致の強化	55
4	若者の起業促進	44
5	地域商業の活性化	41

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	80
2	雇用の安定と就労環境の充実	58
3	企業誘致の強化	56
4	若者の起業促進	38
5	地域商業の活性化	35

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
2	雇用の安定と就労環境の充実	25
3	若者の起業促進	17
	地域商業の活性化	17
5	企業誘致の強化	16

図表 24 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

産業分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	155
2	農業の担い手確保、育成	143
3	企業誘致の強化	124
4	魅力ある観光地づくり	108
5	若者の起業促進	107

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	25
2	雇用の安定と就労環境の充実	23
3	企業誘致の強化	15
4	若者の起業促進	14
	地域商業の活性化	14

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
	雇用の安定と就労環境の充実	29
3	企業誘致の強化	19
4	若者の起業促進	17
5	地域商業の活性化	16

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	46
2	雇用の安定と就労環境の充実	36
3	企業誘致の強化	34
4	若者の起業促進	31
5	中小企業の振興	28

■協和地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	37
2	雇用の安定と就労環境の充実	30
3	農業生産基盤の整備	18
4	企業誘致の強化	17
	魅力ある観光地づくり	17

■南外地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	11
	雇用の安定と就労環境の充実	11
3	稲作・畑作等複合経営	8
4	企業誘致の強化	7
5	若者の起業促進	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	34
2	雇用の安定と就労環境の充実	26
3	企業誘致の強化	24
4	若者の起業促進	18
5	中小企業の振興	17

■太田地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	25
2	雇用の安定と就労環境の充実	23
3	企業誘致の強化	16
4	中小企業の振興	14
	地域商業の活性化	14

2.5.2 出会い・結婚・子育て分野に関する設問について

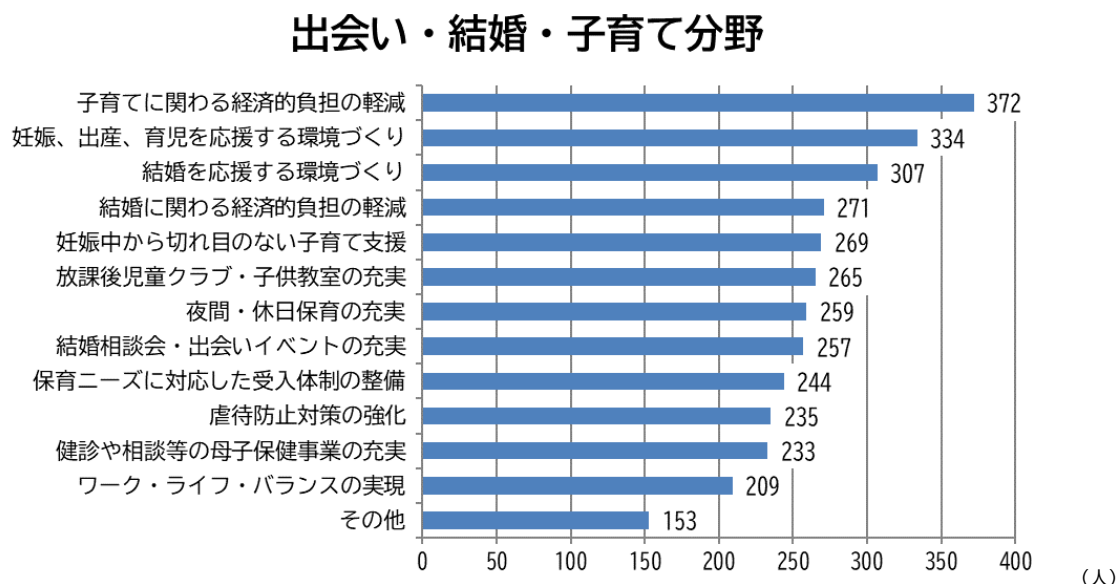
さらに推進すべき取組の上位は、昨年度と同順で「子育てに関わる経済的負担の軽減」「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」「結婚を応援する環境づくり」となっている。

一方、下位においても昨年度と同順で「ワーク・ライフ・バランスの実現」「健診や相談等の母子保健事業の充実」「虐待防止対策の強化」となっている。

年代別で見ると、80代以外では「子育てに関わる経済的負担の軽減」が最も多くなっており、80代は「結婚を応援する環境づくり」が最も多くなっている。また、20代・70代以外の年代には全体の上位5項目に入っていない「夜間・休日保育の充実」が上位に入っている。そのほか、10代・20代で「ワーク・ライフ・バランスの実現」、30代で「健診や相談等の母子保健事業の充実」が上位となっている。

地域別で見ると、南外、太田地域以外は、「子育てに関わる経済的負担の軽減」「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」が上位2項目になっており、南外、太田地域では、「子育てに関わる経済的負担の軽減」「結婚を応援する環境づくり」が上位2項目となっている。

図表 25 さらに推進すべき取組（回答数順）
出会い・結婚・子育て分野



図表 26 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

出会い・結婚・子育て分野

■10代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	12
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	10
3	結婚に関わる経済的負担の軽減	8
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	7
	夜間・休日保育の充実	7
	ワーク・ライフ・バランスの実現	7

■20代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	32
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	31
3	妊娠中から切れ目のない子育て支援	25
4	結婚に関わる経済的負担の軽減	22
5	ワーク・ライフ・バランスの実現	21

■30代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	45
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	43
3	妊娠中から切れ目のない子育て支援	30
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	27
5	健診や相談等の母子保健事業の充実	25
	夜間・休日保育の充実	25

■40代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	58
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	46
3	妊娠中から切れ目のない子育て支援	38
4	結婚に関わる経済的負担の軽減	29
5	夜間・休日保育の充実	27

■50代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	39
2	結婚に関わる経済的負担の軽減	32
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	28
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	28
5	夜間・休日保育の充実	27

■60代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	56
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	56
3	結婚を応援する環境づくり	49
4	結婚相談会・出会いイベントの充実	35
5	夜間・休日保育の充実	31
	保育ニーズに対応した受入体制の整備	31

■70代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	61
2	結婚を応援する環境づくり	50
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	45
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	37
5	結婚に関わる経済的負担の軽減	35

■80代

順位	項目	回答数
1	結婚を応援する環境づくり	22
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	18
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	15
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	14
5	夜間・休日保育の充実	12

図表 27 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

出会い・結婚・子育て分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	148
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	130
3	妊娠中から切れ目のない子育て支援	100
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	87
	結婚に関わる経済的負担の軽減	87

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	21
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	16
	夜間・休日保育の充実	16
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	14
5	結婚を応援する環境づくり	12
	虐待防止対策の強化	12

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	24
2	子育てに関わる経済的負担の軽減	23
3	結婚を応援する環境づくり	17
4	放課後児童クラブ・子供教室の充実	15
	結婚相談会・出会いイベントの充実	15

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	42
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	35
3	結婚を応援する環境づくり	28
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	26
5	結婚に関わる経済的負担の軽減	24

■協和地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	25
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
3	虐待防止対策の強化	17
4	妊娠中から切れ目のない子育て支援	16
	結婚に関わる経済的負担の軽減	16
	放課後児童クラブ・子供教室の充実	16

■南外地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	11
2	結婚を応援する環境づくり	10
3	夜間・休日保育の充実	8
4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	7
	結婚相談会・出会いイベントの充実	7

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	29
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
3	結婚を応援する環境づくり	18
4	結婚に関わる経済的負担の軽減	15
	妊娠中から切れ目のない子育て支援	15

■太田地域

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	22
2	結婚を応援する環境づくり	20
3	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	16
4	結婚に関わる経済的負担の軽減	14
	結婚相談会・出会いイベントの充実	14

2.5.3 健康福祉・スポーツ分野に関する設問について

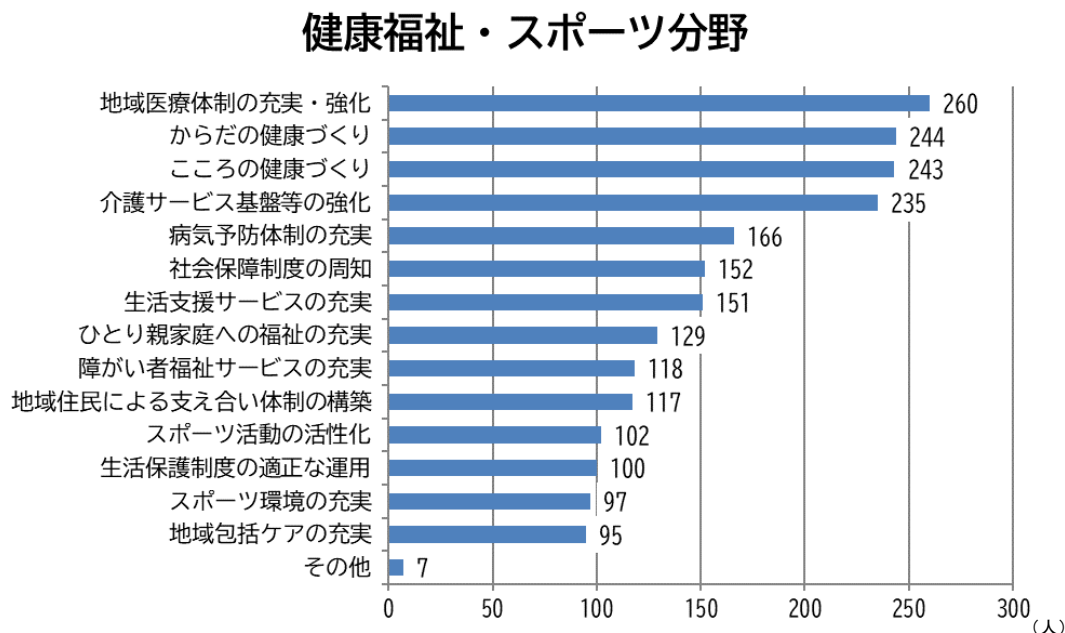
さらに推進すべき取組の上位は、「地域医療体制の充実・強化」「からだの健康づくり」「こころの健康づくり」の順となっている。

一方、下位は、「地域包括ケアの充実」「スポーツ環境の充実」「生活保護制度の適正な運用」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「地域医療体制の充実・強化」「こころの健康づくり」「からだの健康づくり」、20代以外で「介護サービス基盤等の強化」、20代・50代・70代・80代で「病気予防体制の充実」が上位に入っている。そのほか、20代・30代・60代では「社会保障制度の周知」、10代・30代では全体の下位5項目に入っている「スポーツ環境の充実」が上位に入っている。

地域別で見ると、太田地域以外では、全体の上位5項目が上位に入っている。一方で、大曲・西仙北・中仙地域では「社会保障制度の周知」、神岡・西仙北地域では「生活支援サービスの充実」などが、全体の上位5項目に入っていない項目として上位に入っている。

図表 28 さらに推進すべき取組（回答数順）
健康福祉・スポーツ分野



図表 29 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

健康福祉・スポーツ分野

■10代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくり	10
2	からだの健康づくり	8
3	地域医療体制の充実・強化	7
4	介護サービス基盤等の強化	6
	スポーツ活動の活性化	6
	スポーツ環境の充実	6
	障がい者福祉サービスの充実	6

■20代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくり	29
2	からだの健康づくり	19
	病気予防体制の充実	19
4	地域医療体制の充実・強化	18
5	社会保障制度の周知	16
	生活支援サービスの充実	16

■30代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	30
2	からだの健康づくり	28
3	こころの健康づくり	27
4	介護サービス基盤等の強化	26
5	社会保障制度の周知	15
	スポーツ環境の充実	15

■40代

順位	項目	回答数
1	こころの健康づくり	46
2	地域医療体制の充実・強化	43
3	からだの健康づくり	38
4	介護サービス基盤等の強化	33
5	生活支援サービスの充実	26

■50代

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	47
2	介護サービス基盤等の強化	40
3	こころの健康づくり	30
4	病気予防体制の充実	23
5	からだの健康づくり	22

■60代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の強化	51
2	からだの健康づくり	48
3	地域医療体制の充実・強化	46
4	こころの健康づくり	38
5	社会保障制度の周知	33

■70代

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくり	60
2	地域医療体制の充実・強化	48
3	こころの健康づくり	43
4	介護サービス基盤等の強化	42
5	病気予防体制の充実	40

■80代

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の強化	23
2	からだの健康づくり	20
	地域医療体制の充実・強化	20
4	こころの健康づくり	19
5	病気予防体制の充実	15

図表 30 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

健康福祉・スポーツ分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	からだの健康づくり	122
2	こころの健康づくり	117
3	地域医療体制の充実・強化	116
4	介護サービス基盤等の強化	106
5	病気予防体制の充実	76
	社会保障制度の周知	76

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	19
	介護サービス基盤等の強化	19
3	こころの健康づくり	18
4	社会保障制度の周知	12
5	からだの健康づくり	10
	病気予防体制の充実	10
	生活支援サービスの充実	10
	生活保護制度の適正な運用	10

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	21
2	からだの健康づくり	18
3	こころの健康づくり	17
4	介護サービス基盤等の強化	15
	社会保障制度の周知	15
	病気予防体制の充実	15
	生活支援サービスの充実	15

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	35
2	介護サービス基盤等の強化	29
3	こころの健康づくり	28
4	からだの健康づくり	24
5	社会保障制度の周知	18
	ひとり親家庭への福祉の充実	18

■協和地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	29
2	こころの健康づくり	27
3	からだの健康づくり	26
4	介護サービス基盤等の強化	22
5	病気予防体制の充実	19

■南外地域

順位	項目	回答数
1	地域医療体制の充実・強化	10
2	からだの健康づくり	8
3	介護サービス基盤等の強化	7
4	こころの健康づくり	6
	病気予防体制の充実	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の強化	18
2	からだの健康づくり	17
3	地域医療体制の充実・強化	16
4	こころの健康づくり	13
5	生活保護制度の適正な運用	12

■太田地域

順位	項目	回答数
1	介護サービス基盤等の強化	19
2	からだの健康づくり	17
3	病気予防体制の充実	16
4	こころの健康づくり	15
5	地域住民による支え合い体制の構築	14

2.5.4 環境・安全分野に関する設問について

さらに推進すべき取組の上位は、「除排雪体制の充実」「空き家の適正管理と利活用」「消融雪施設の充実」の順となっている。

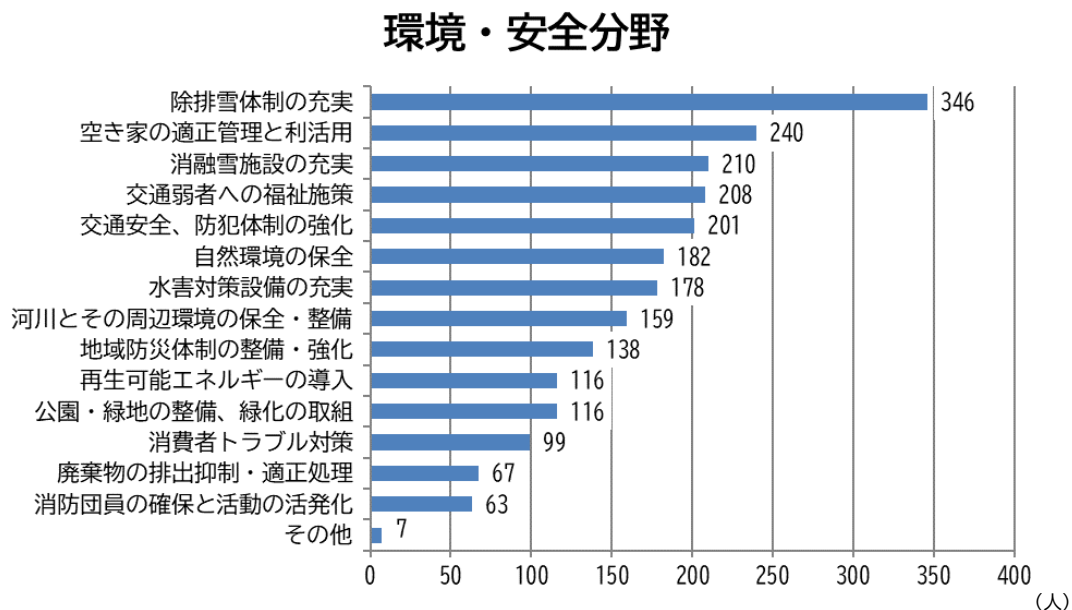
一方、下位は、「消防団員の確保と活動の活発化」「廃棄物の排出抑制・適正処理」「消費者トラブル対策」の順となっている。

年代別で見ると10代以外で「除排雪体制の充実」が最も多くなっており、10代・70代以外では「消融雪施設の充実」も上位に入っている。そのほか、30代以外で「空き家の適正管理と利活用」、30代・50代・70代・80代で「水害対策設備の充実」が上位に入っている。

地域別で見ると、太田地域以外で「除排雪体制の充実」が最も多く、太田地域では「空き家の適正管理と利活用」が最も多くなっている。また、協和、仙北地域以外で「交通弱者への福祉施策」、神岡・西仙北・協和・南外・仙北地域では「水害対策設備の充実」が上位に入っている。

図表 31 さらに推進すべき取組（回答数順）

環境・安全分野



図表 32 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

環境・安全分野

■10代

順位	項目	回答数
1	公園・緑地の整備、緑化の取組	8
	再生可能エネルギーの導入	8
3	自然環境の保全	7
4	除排雪体制の充実	6
	空き家の適正管理と利活用	6
	交通安全、防犯体制の強化	6
	廃棄物の排出抑制・適正処理	6

■20代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	30
2	自然環境の保全	20
3	空き家の適正管理と利活用	19
	交通安全、防犯体制の強化	19
	消融雪施設の充実	19

■30代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	37
2	交通安全、防犯体制の強化	31
3	消融雪施設の充実	29
4	水害対策設備の充実	23
5	公園・緑地の整備、緑化の取組	22

■40代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	58
2	空き家の適正管理と利活用	41
3	交通弱者への福祉施策	38
4	消融雪施設の充実	36
5	自然環境の保全	31

■50代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	53
2	空き家の適正管理と利活用	42
3	消融雪施設の充実	39
4	交通安全、防犯体制の強化	35
5	交通弱者への福祉施策	30
	水害対策設備の充実	30

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	75
2	交通弱者への福祉施策	46
3	空き家の適正管理と利活用	45
4	消融雪施設の充実	36
5	自然環境の保全	32
	地域防災体制の整備・強化	32

■70代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	61
2	空き家の適正管理と利活用	49
3	自然環境の保全	41
4	交通安全、防犯体制の強化	40
5	水害対策設備の充実	36

■80代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	24
2	交通弱者への福祉施策	22
3	空き家の適正管理と利活用	17
4	水害対策設備の充実	14
	消融雪施設の充実	14
	河川とその周辺環境の保全・整備	14

図表 33 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

環境・安全分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	156
2	消融雪施設の充実	121
3	空き家の適正管理と利活用	101
4	交通弱者への福祉施策	98
5	交通安全、防犯体制の強化	96

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	22
2	空き家の適正管理と利活用	17
3	交通安全、防犯体制の強化	15
4	交通弱者への福祉施策	13
	水害対策設備の充実	13

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	28
2	空き家の適正管理と利活用	20
3	自然環境の保全	18
4	交通弱者への福祉施策	15
	水害対策設備の充実	15
	地域防災体制の整備・強化	15

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	45
2	空き家の適正管理と利活用	29
3	河川とその周辺環境の保全・整備	25
4	交通弱者への福祉施策	24
5	自然環境の保全	21
	地域防災体制の整備・強化	21
	交通安全、防犯体制の強化	21

■協和地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	31
2	交通安全、防犯体制の強化	21
	水害対策設備の充実	21
4	空き家の適正管理と利活用	20
	自然環境の保全	20

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	15
2	交通弱者への福祉施策	10
3	水害対策設備の充実	7
	空き家の適正管理と利活用	7
5	交通安全、防犯体制の強化	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	27
2	空き家の適正管理と利活用	22
3	河川とその周辺環境の保全・整備	17
4	水害対策設備の充実	16
	消融雪施設の充実	16

■太田地域

順位	項目	回答数
1	空き家の適正管理と利活用	24
2	除排雪体制の充実	19
3	交通安全、防犯体制の強化	16
4	消融雪施設の充実	13
	交通弱者への福祉施策	13

2.5.5 都市基盤分野に関する設問について

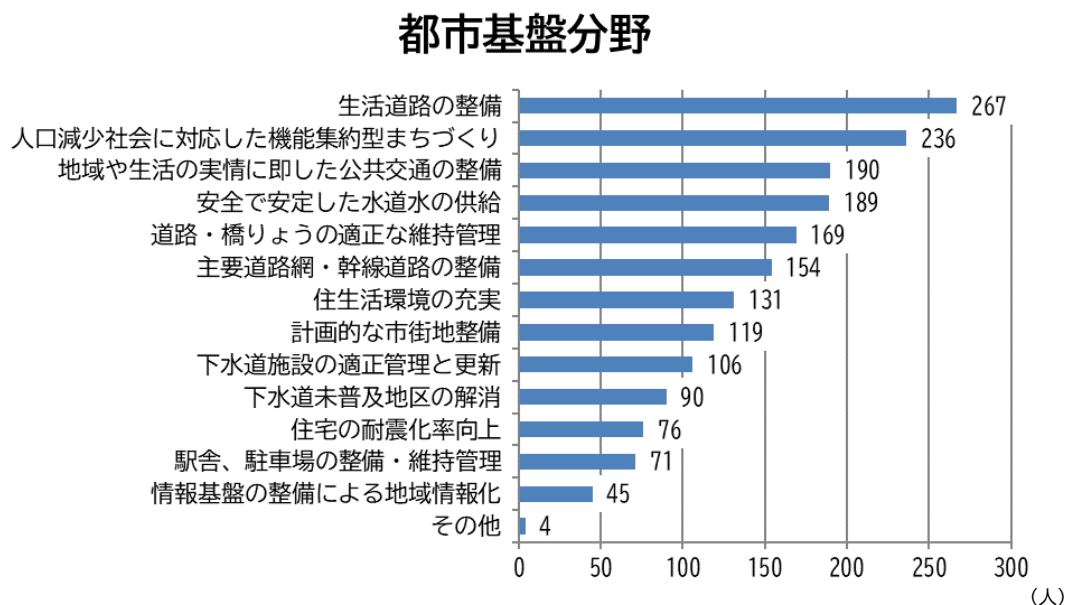
さらに推進すべき取組の上位は、「生活道路の整備」に次ぎ、「人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり」「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」の順となっている。

一方、下位は、「情報基盤の整備による地域情報化」「駅舎、駐車場の整備・維持管理」「住宅の耐震化率向上」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「生活道路の整備」「人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり」が上位に入っており、「生活道路の整備」については10代・80代以外で最も多くなっている。また、10代以外で「安全で安定した水道水の供給」、20代と50代以上で「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「生活道路の整備」「人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり」「地域や生活の実情に即した公共交通の整備」が上位に入っている。また、中仙・南外地域以外で「安全で安定した水道水の供給」、大曲・西仙北・中仙・南外地域では「道路・橋りょうの適正な維持管理」が上位に入っている。

図表 34 さらに推進すべき取組（回答数順）
都市基盤分野



図表 35 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）
都市基盤分野

■10代

順位	項目	回答数
1	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	11
2	駅舎、駐車場の整備・維持管理	8
3	生活道路の整備	6
4	住生活環境の充実	5
	住宅の耐震化率向上	5

■20代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	25
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	18
3	主要道路網・幹線道路の整備	17
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	16
5	安全で安定した水道水の供給	15
	道路・橋りょうの適正な維持管理	15

■30代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	36
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	26
3	主要道路網・幹線道路の整備	22
4	安全で安定した水道水の供給	21
5	道路・橋りょうの適正な維持管理	19

■40代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	40
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	37
3	安全で安定した水道水の供給	36
4	道路・橋りょうの適正な維持管理	30
5	主要道路網・幹線道路の整備	29

■50代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	42
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	35
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	29
4	安全で安定した水道水の供給	28
5	道路・橋りょうの適正な維持管理	27

■60代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	50
2	安全で安定した水道水の供給	40
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	38
4	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	37
5	道路・橋りょうの適正な維持管理	33

■70代

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	53
2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	52
3	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	50
4	安全で安定した水道水の供給	34
5	道路・橋りょうの適正な維持管理	33

■80代

順位	項目	回答数
1	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	20
2	生活道路の整備	15
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	12
4	安全で安定した水道水の供給	11
5	主要道路網・幹線道路の整備	9
	住生活環境の充実	9
	下水道施設の適正管理と更新	9

図表 36 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

都市基盤分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	118
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	106
3	安全で安定した水道水の供給	89
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	82
5	道路・橋りょうの適正な維持管理	79

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	18
2	安全で安定した水道水の供給	16
3	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	14
4	主要道路網・幹線道路の整備	11
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	10

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	22
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	21
3	安全で安定した水道水の供給	18
4	道路・橋りょうの適正な維持管理	17
5	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	15

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	36
2	主要道路網・幹線道路の整備	28
3	道路・橋りょうの適正な維持管理	27
4	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	24
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	24

■協和地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	25
	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	25
3	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	24
4	安全で安定した水道水の供給	20
5	住生活環境の充実	14

■南外地域

順位	項目	回答数
1	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	9
2	生活道路の整備	8
3	道路・橋りょうの適正な維持管理	7
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	6
	住生活環境の充実	6

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	22
2	生活道路の整備	19
3	安全で安定した水道水の供給	15
4	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	14
	住生活環境の充実	14

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生活道路の整備	21
2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	14
3	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	13
4	安全で安定した水道水の供給	11
	住生活環境の充実	11

2.5.6 教育・交流分野に関する設問について

さらに推進すべき取組の上位は、「生きる力を育む学校教育」「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」「学校と地域の交流・連携」の順となっている。

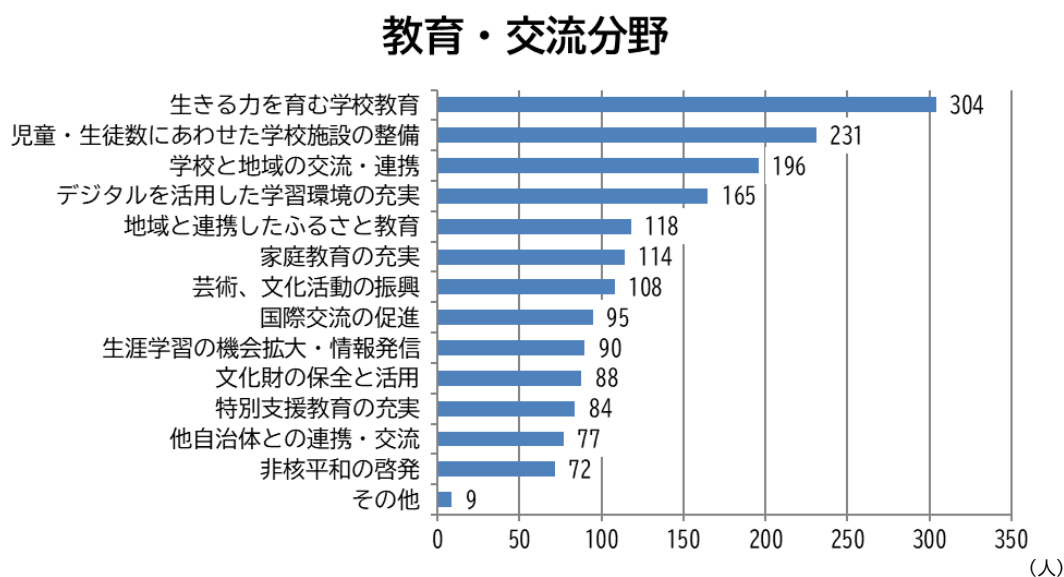
一方、下位は、「非核平和の啓発」「他自治体との連携・交流」「特別支援教育の充実」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「生きる力を育む学校教育」「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」「学校と地域の交流・連携」が上位に入っており、「生きる力を育む学校教育」については、10代以外で最も多くなっている。また、10代・70代・80代で「芸術、文化活動の振興」、40代と60代では「国際交流の促進」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「生きる力を育む学校教育」「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」「学校と地域の交流・連携」が上位に入っており、協和・南外地域では「児童・生徒数にあわせた学校施設の整備」が最も多くなっている。また、それ以外の地域では「生きる力を育む学校教育」が最も多くなっている。そのほか、協和・仙北地域以外では「デジタルを活用した学習環境の充実」、神岡・西仙北・協和・南外地域では「地域と連携したふるさと教育」が上位に入っている。

図表 37 さらに推進すべき取組（回答数順）

教育・交流分野



図表 38 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）

教育・交流分野

■10代

順位	項目	回答数
1	デジタルを活用した学習環境の充実	10
2	生きる力を育む学校教育	9
	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	9
4	学校と地域の交流・連携	6
5	芸術、文化活動の振興	4

■20代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	31
2	家庭教育の充実	19
3	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	16
4	学校と地域の交流・連携	14
5	文化財の保全と活用	13

■30代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	35
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	31
3	学校と地域の交流・連携	25
4	デジタルを活用した学習環境の充実	18
5	家庭教育の充実	17

■40代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	49
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	35
3	デジタルを活用した学習環境の充実	33
4	学校と地域の交流・連携	26
5	地域と連携したふるさと教育	18
	国際交流の促進	18

■50代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	43
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	38
3	学校と地域の交流・連携	36
4	デジタルを活用した学習環境の充実	26
5	地域と連携したふるさと教育	22

■60代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	59
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	37
3	学校と地域の交流・連携	33
4	デジタルを活用した学習環境の充実	29
5	国際交流の促進	20

■70代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	54
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	49
3	学校と地域の交流・連携	42
4	デジタルを活用した学習環境の充実	29
5	芸術、文化活動の振興	27

■80代

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	22
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	16
3	学校と地域の交流・連携	13
4	家庭教育の充実	10
5	デジタルを活用した学習環境の充実	9
	芸術、文化活動の振興	9
	非核平和の啓発	9
	特別支援教育の充実	9

図表 39 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

教育・交流分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	141
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	99
3	学校と地域の交流・連携	84
4	デジタルを活用した学習環境の充実	81
5	家庭教育の充実	53

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	21
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	12
3	学校と地域の交流・連携	9
	デジタルを活用した学習環境の充実	9
5	家庭教育の充実	7
	地域と連携したふるさと教育	7

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	22
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	18
3	学校と地域の交流・連携	16
4	デジタルを活用した学習環境の充実	12
	地域と連携したふるさと教育	12

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	33
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	30
3	デジタルを活用した学習環境の充実	26
4	学校と地域の交流・連携	23
5	家庭教育の充実	17

■協和地域

順位	項目	回答数
1	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	27
2	生きる力を育む学校教育	26
3	学校と地域の交流・連携	24
4	地域と連携したふるさと教育	13
5	他自治体との連携・交流	11

■南外地域

順位	項目	回答数
1	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	12
2	生きる力を育む学校教育	7
3	デジタルを活用した学習環境の充実	6
4	生涯学習の機会拡大・情報発信	4
5	学校と地域の交流・連携	3
	地域と連携したふるさと教育	3
	特別支援教育の充実	3

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	25
2	学校と地域の交流・連携	16
3	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	14
4	芸術・文化活動の振興	12
5	国際交流の促進	10

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	26
2	学校と地域の交流・連携	19
3	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	18
4	家庭教育の充実	14
5	デジタルを活用した学習環境の充実	12

2.5.7 地域活性化・市民との協働・行政運営分野に関する設問について

さらに推進すべき取組の上位は、「若者が活躍できる環境づくり」「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住の促進」の順となっている。

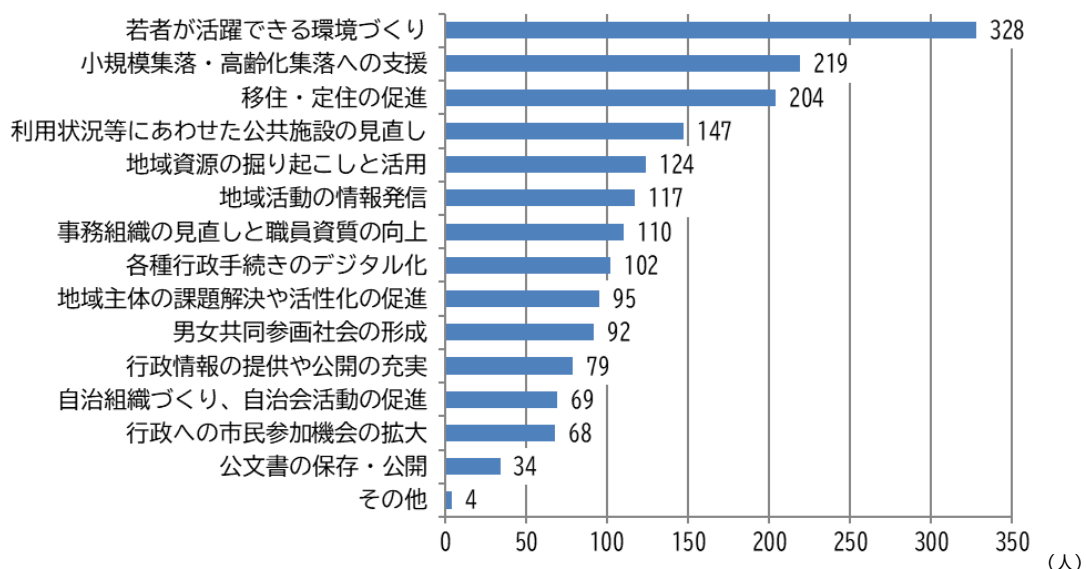
一方、下位は、「公文書の保存・公開」「行政への市民参加機会の拡大」「自治組織づくり、自治会活動の促進」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっており、「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住の促進」も上位に入っている。また、40代以上で「利用状況等にあわせた公共施設の見直し」、10代から30代、50代・60代で「地域資源の掘り起こしと活用」が上位に入っている。

地域別で見ると、全ての地域で「若者が活躍できる環境づくり」が最も多くなっており、「小規模集落・高齢化集落への支援」「移住・定住の促進」も上位に入っている。また、西仙北・太田地域以外で「利用状況等にあわせた公共施設の見直し」、西仙北・協和・南外・仙北・太田地域で「地域資源の掘り起こしと活用」が上位に入っている。そのほか、中仙・協和・太田地域で「事務組織の見直しと職員資質の向上」、神岡・中仙地域で「各種行政手続きのデジタル化」が上位に入っている。

図表 40 さらに推進すべき取組（回答数順）
地域活性化・市民との協働・行政運営分野

地域活性化・市民との協働・行財政運営分野



図表 41 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）
地域活性化・市民との協働・行政運営分野

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	15
2	小規模集落・高齢化集落への支援	8
3	男女共同参画社会の形成	6
4	各種行政手続きのデジタル化	5
5	移住・定住の促進	4
	地域資源の掘り起こしと活用	4

■20代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	30
2	移住・定住の促進	21
3	小規模集落・高齢化集落への支援	14
	地域資源の掘り起こしと活用	14
5	男女共同参画社会の形成	13

■30代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	39
2	移住・定住の促進	24
3	小規模集落・高齢化集落への支援	19
4	地域資源の掘り起こしと活用	18
	各種行政手続きのデジタル化	18

■40代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	56
2	移住・定住の促進	37
3	小規模集落・高齢化集落への支援	30
4	地域活動の情報発信	25
5	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	23

■50代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	51
2	小規模集落・高齢化集落への支援	34
3	移住・定住の促進	32
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	22
5	地域資源の掘り起こしと活用	20
	事務組織の見直しと職員資質の向上	20

■60代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	55
2	小規模集落・高齢化集落への支援	45
3	移住・定住の促進	37
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	29
5	地域資源の掘り起こしと活用	22

■70代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	60
2	小規模集落・高齢化集落への支援	47
3	移住・定住の促進	37
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	29
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	26

■80代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	21
2	小規模集落・高齢化集落への支援	20
3	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	13
4	移住・定住の促進	12
5	行政への市民参加機会の拡大	10

図表 42 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）

地域活性化・市民との協働・行政運営分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	156
2	移住・定住の促進	99
3	小規模集落・高齢化集落への支援	80
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	70
5	地域活動の情報発信	60

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	16
2	小規模集落・高齢化集落への支援	15
3	移住・定住の促進	11
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	10
5	各種行政手続きのデジタル化	8

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	27
2	小規模集落・高齢化集落への支援	20
3	移住・定住の促進	19
4	地域活動の情報発信	12
5	地域資源の掘り起こしと活用	10

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	38
2	小規模集落・高齢化集落への支援	26
3	移住・定住の促進	17
4	事務組織の見直しと職員資質の向上	14
	各種行政手続きのデジタル化	14
	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	14

■協和地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	30
2	小規模集落・高齢化集落への支援	27
3	移住・定住の促進	19
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	16
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	13
	地域資源の掘り起こしと活用	13

■南外地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	11
	小規模集落・高齢化集落への支援	11
3	移住・定住の促進	8
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	7
5	地域資源の掘り起こしと活用	4

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	30
2	小規模集落・高齢化集落への支援	20
3	移住・定住の促進	16
4	利用状況等にあわせた公共施設の見直し	13
5	地域資源の掘り起こしと活用	11

■太田地域

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	19
2	小規模集落・高齢化集落への支援	18
3	移住・定住の促進	15
4	地域資源の掘り起こしと活用	12
5	事務組織の見直しと職員資質の向上	11

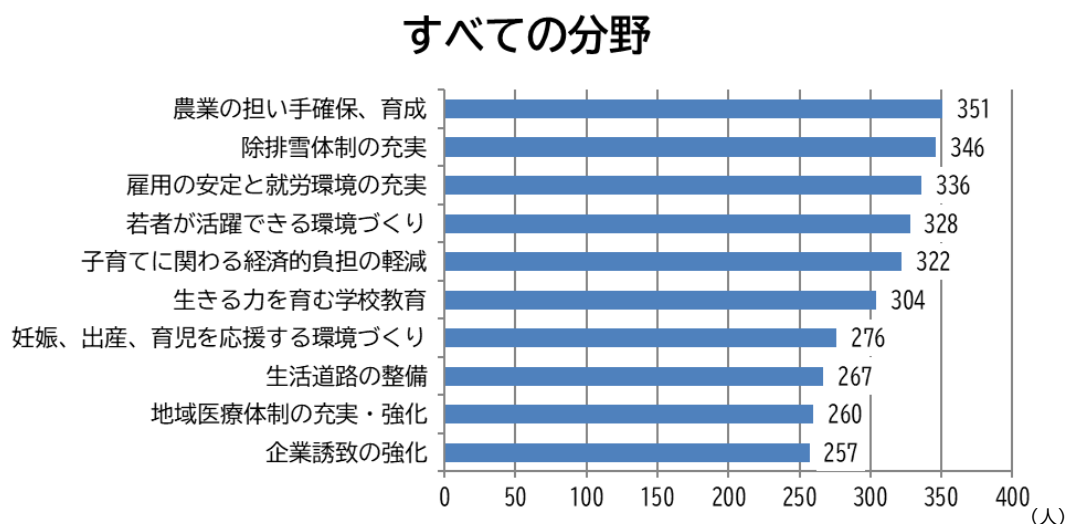
2.5.8 さらに推進すべき取組の総括

分野を分けずに全ての項目において比較すると、さらに推進すべき取組の上位となっているのは、「農業の担い手確保、育成」「除排雪体制の充実」「雇用の安定と就労環境の充実」「若者が活躍できる環境づくり」「子育てに関わる経済的負担の軽減」の順となっている。

年代別で見ると、全ての年代で「雇用の安定と就労環境の充実」「若者が活躍できる環境づくり」が上位に挙げられている。また、20代で「妊娠中から切れ目のない子育て支援」、40代以下と60代で「妊娠、出産、育児を応援する環境づくり」、40代以下と60代、70代で「子育てに関わる経済的負担の軽減」が上位に入るなど、幅広い年代で子育てに関する項目が挙げられている。特に20代から40代では「子育てに関わる経済的負担の軽減」が最も多くなっている。そのほかに、10代で「若者が活躍できる環境づくり」、50代で「雇用の安定と就労環境の充実」、60代で「除排雪体制の充実」、70代以上で「農業の担い手確保、育成」が最も多くなっているほか、10代・20代で「魅力ある観光地づくり」、30代以上で「農業の担い手確保、育成」、50代から70代で「企業誘致の強化」が上位に入るなど、産業に関する項目も上位となっている。

地域別で見ると、大曲・南外地域では「除排雪体制の充実」が最も多く、中仙・協和地域でも2番目に多くなっているほか、その他地域においても上位となっている。神岡・西仙北・中仙・協和・仙北地域では「農業の担い手確保、育成」が最も多くなっており、その他の地域でも上位に入っている。太田地域では「生きる力を育む学校教育」が最も多くなっており、南外地域以外でも上位に入っている。地域別においても年代別と同様に、産業、妊娠や出産、子育て、若者の活躍や起業に関する項目が全ての地域で上位に入っている。

図表 43 さらに推進すべき取組（回答数順）
全分野



図表 44 年代別による「さらに推進すべき取組」（上位）
全分野

■10代

順位	項目	回答数
1	若者が活躍できる環境づくり	15
2	雇用の安定と就労環境の充実	12
	子育てに関わる経済的負担の軽減	12
4	農業の担い手確保、育成	11
	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	11
	魅力ある観光地づくり	11
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	10
	こころの健康づくり	10
	若者の起業促進	10
	デジタルを活用した学習環境の充実	10

■20代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	32
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	31
	生きる力を育む学校教育	31
4	若者が活躍できる環境づくり	30
	除排雪体制の充実	30
6	こころの健康づくり	29
7	雇用の安定と就労環境の充実	26
	魅力ある観光地づくり	26
9	妊娠中から切れ目のない子育て支援	25
	生活道路の整備	25

■30代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	45
2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	43
3	若者が活躍できる環境づくり	39
4	除排雪体制の充実	37
5	生活道路の整備	36
	農業の担い手確保、育成	36
7	生きる力を育む学校教育	35
	雇用の安定と就労環境の充実	35
9	交通安全、防犯体制の強化	31
	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	31

■40代

順位	項目	回答数
1	子育てに関わる経済的負担の軽減	58
	除排雪体制の充実	58
3	若者が活躍できる環境づくり	56
4	農業の担い手確保、育成	54
5	雇用の安定と就労環境の充実	51
6	生きる力を育む学校教育	49
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	46
	こころの健康づくり	46
9	地域医療体制の充実・強化	43
10	空き家の適正管理と利活用	41
	若者の起業促進	41

■50代

順位	項目	回答数
1	雇用の安定と就労環境の充実	57
2	除排雪体制の充実	53
3	農業の担い手確保、育成	52
4	若者が活躍できる環境づくり	51
5	企業誘致の強化	48
6	地域医療体制の充実・強化	47
7	生きる力を育む学校教育	43
8	空き家の適正管理と利活用	42
	生活道路の整備	42
10	介護サービス基盤等の強化	40

■60代

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	75
2	雇用の安定と就労環境の充実	70
	農業の担い手確保、育成	70
4	生きる力を育む学校教育	59
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	56
	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	56
7	若者が活躍できる環境づくり	55
	企業誘致の強化	55
9	介護サービス基盤等の強化	51
10	生活道路の整備	50

■70代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	80
2	除排雪体制の充実	61
	子育てに関わる経済的負担の軽減	61
4	若者が活躍できる環境づくり	60
	からだの健康づくり	60
6	雇用の安定と就労環境の充実	58
7	企業誘致の強化	56
8	生きる力を育む学校教育	54
9	生活道路の整備	53
10	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	52

■80代

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
2	雇用の安定と就労環境の充実	25
3	除排雪体制の充実	24
4	介護サービス基盤等の強化	23
5	生きる力を育む学校教育	22
	結婚を応援する環境づくり	22
	交通弱者への福祉施策	22
8	若者が活躍できる環境づくり	21
	からだの健康づくり	20
9	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	20
	地域医療体制の充実・強化	20
	小規模集落・高齢化集落への支援	20

図表 45 地域別による「さらに推進すべき取組」（上位）
全分野

■大曲地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	156
	若者が活躍できる環境づくり	156
3	雇用の安定と就労環境の充実	155
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	148
5	農業の担い手確保、育成	143
6	生きる力を育む学校教育	141
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	130
8	企業誘致の強化	124
9	からだの健康づくり	122
10	消融雪施設の充実	121

■神岡地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	25
2	雇用の安定と就労環境の充実	23
3	除排雪体制の充実	22
4	子育てに関わる経済的負担の軽減	21
	生きる力を育む学校教育	21
6	地域医療体制の充実・強化	19
	介護サービス基盤等の強化	19
8	生活道路の整備	18
	こころの健康づくり	18
10	空き家の適正管理と利活用	17

■西仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	29
	雇用の安定と就労環境の充実	29
3	除排雪体制の充実	28
4	若者が活躍できる環境づくり	27
5	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	24
6	子育てに関わる経済的負担の軽減	23
7	生きる力を育む学校教育	22
	生活道路の整備	22
9	地域医療体制の充実・強化	21
	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	21

■中仙地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	46
2	除排雪体制の充実	45
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	42
4	若者が活躍できる環境づくり	38
5	雇用の安定と就労環境の充実	36
	生活道路の整備	36
7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	35
	地域医療体制の充実・強化	35
9	企業誘致の強化	34
10	生きる力を育む学校教育	33

■協和地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	37
2	除排雪体制の充実	31
3	若者が活躍できる環境づくり	30
	雇用の安定と就労環境の充実	30
5	地域医療体制の充実・強化	29
6	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	27
	こころの健康づくり	27
	小規模集落・高齢化集落への支援	27
9	生きる力を育む学校教育	26
	からだの健康づくり	26

■南外地域

順位	項目	回答数
1	除排雪体制の充実	15
2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	12
	農業の担い手確保、育成	11
	若者が活躍できる環境づくり	11
3	雇用の安定と就労環境の充実	11
	小規模集落・高齢化集落への支援	11
	子育てに関わる経済的負担の軽減	11
	地域医療体制の充実・強化	10
8	交通弱者への福祉施策	10
	結婚を応援する環境づくり	10

■仙北地域

順位	項目	回答数
1	農業の担い手確保、育成	34
2	若者が活躍できる環境づくり	30
3	子育てに関わる経済的負担の軽減	29
4	除排雪体制の充実	27
5	雇用の安定と就労環境の充実	26
6	生きる力を育む学校教育	25
7	企業誘致の強化	24
8	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	23
9	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	22
	空き家の適正管理と利活用	22

■太田地域

順位	項目	回答数
1	生きる力を育む学校教育	26
2	農業の担い手確保、育成	25
3	空き家の適正管理と利活用	24
4	雇用の安定と就労環境の充実	23
5	子育てに関わる経済的負担の軽減	22
6	生活道路の整備	21
7	結婚を応援する環境づくり	20
8	若者が活躍できる環境づくり	19
	除排雪体制の充実	19
	介護サービス基盤等の強化	19
	学校と地域の交流・連携	19

2.6 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

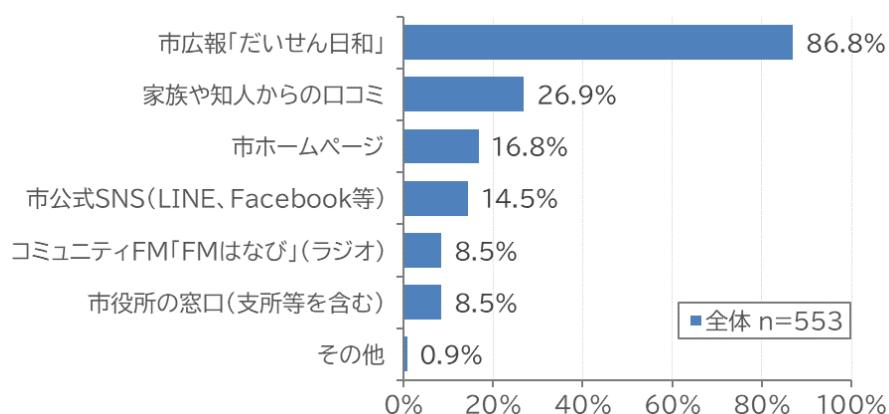
- ◆ 調査目的： 市では、「行かなくても済む『市役所』」を目指し、これまでインターネットを利用した情報発信、各種証明書のコンビニ交付サービス、窓口支払いのキャッシュレス化、各種手続きのオンライン化などのデジタル化を進めてきた。本調査では、市政情報の入手手段や行政サービスのデジタル化に関する意見を伺い、今後、行政サービスのデジタル化をより良く推進していくための参考とする。

2.6.1 市政情報の入手手段に関する設問について

【問1】市では様々な方法で市政情報を発信していますが、あなたがこの情報を入手するため、主に利用している手段は何ですか。（2つまで）

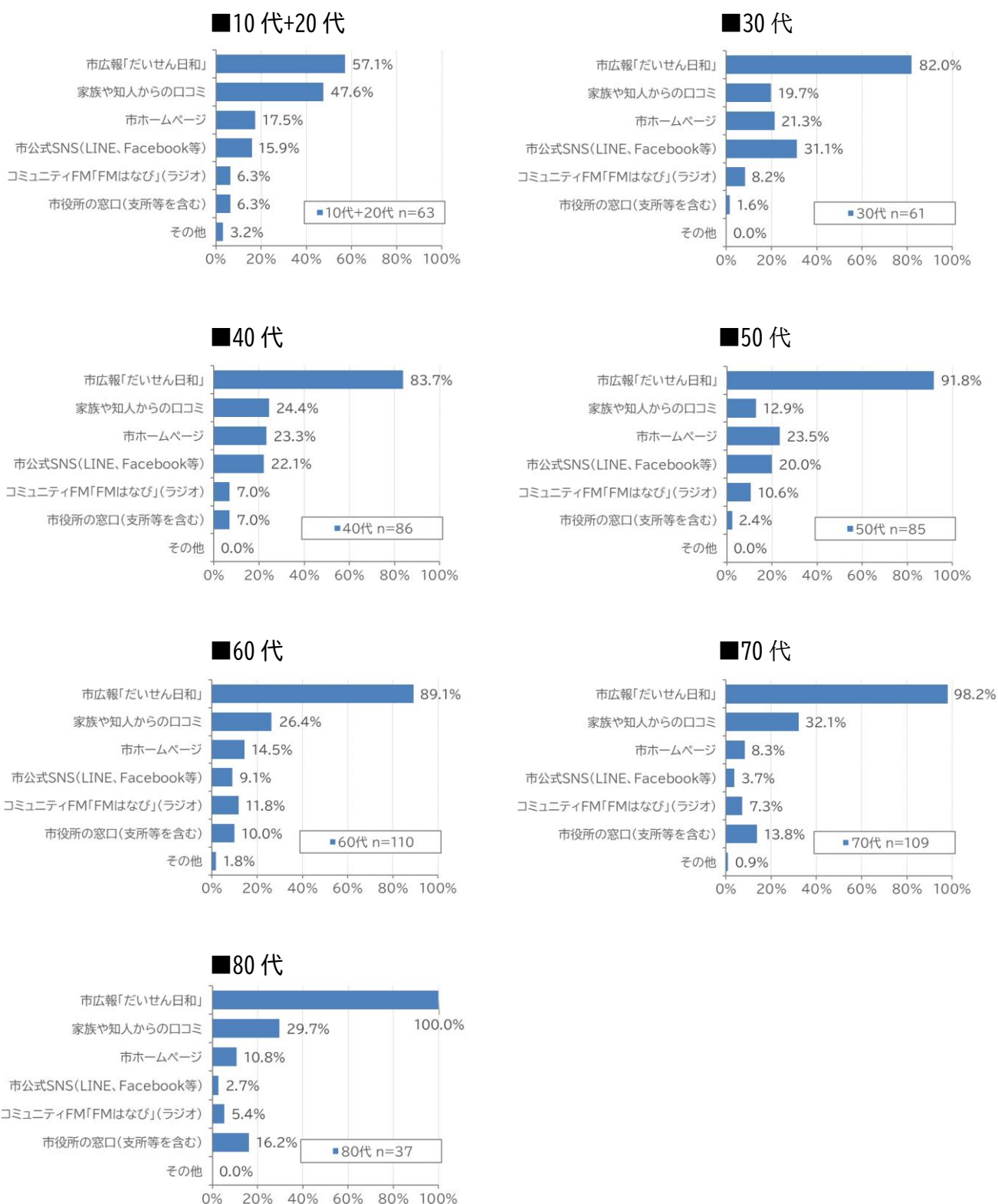
- 全体では、「市広報『だいせん日和』」（以下、「広報紙」）の割合が86.8%で最も高く、次いで「家族や知人からの口コミ」（以下、「口コミ」）が26.9%、「市ホームページ」が16.8%となっている。
- 年代別で見ると全ての年代で「広報紙」が最も高く、30代以上は8割を超えており、非常に高くなっている。「市ホームページ」「市公式SNS（LINE、Facebook等）」は30代から50代で20%を超え、他の年代と比較して高くなっており、インターネットを利用した情報入手の割合が高い。「口コミ」は10代と20代を合わせた年代で最も高く47.6%、「市役所の窓口（支所等を含む）」で情報を得ると回答したのは80代が16.2%と最も多く、次に70代で13.8%となっている。

図表 46 「市政情報入手手段」（全体）



【問1】市では様々な方法で市政情報を発信していますが、あなたがこの情報を入手するため、主に利用している手段は何ですか。（2つまで）

図表 47 年代別による「市政情報入手手段」

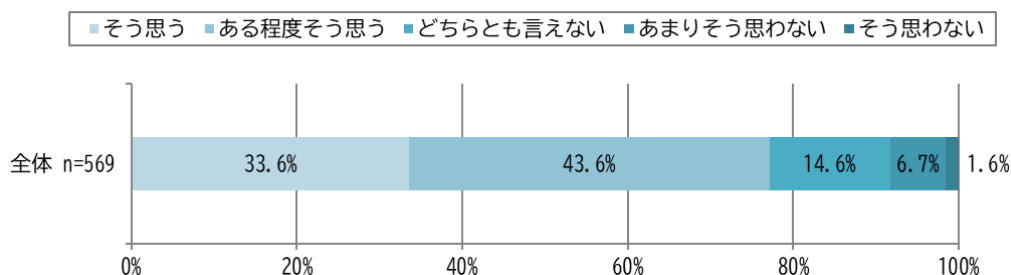


【問2】あなたにとって問1の情報入手手段は利用しやすいと思いますか。
(情報の入手しやすさ)

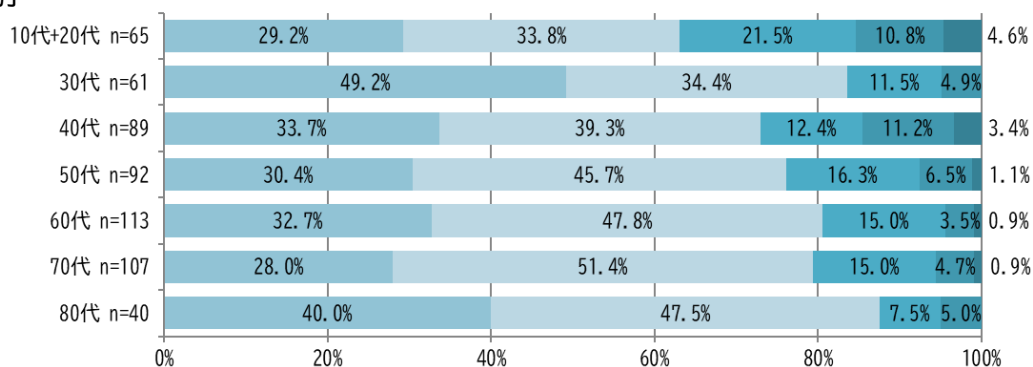
- 全体では、「そう思う（入手しやすい）」が33.6%、「ある程度そう思う（ある程度入手しやすい）」が43.6%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は、77.2%と8割近くになっている。
- 年代別で見ると、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合が最も高いのは80代で87.5%、最も低いのは10代と20代を合わせた世代で63.0%となっており、24.5ポイントの差がある。「あまりそう思わない（あまり入手しやすいとは思わない）」「そう思わない（入手しやすいとは思わない）」を合わせた割合が最も高いのは10代と20代を合わせた年代で15.4%、最も低いのは60代で4.4%となっており、その差は11.0ポイントとなっている。

図表 48 市政情報の入手しやすさ

■全体



■年代別



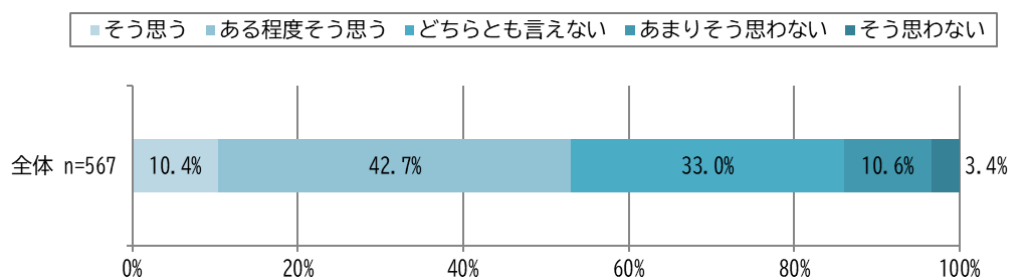
2.6.2 市が行っている行政サービスに関する設問について

【問3】あなたにとって市のサービスは利用しやすいと思いますか。

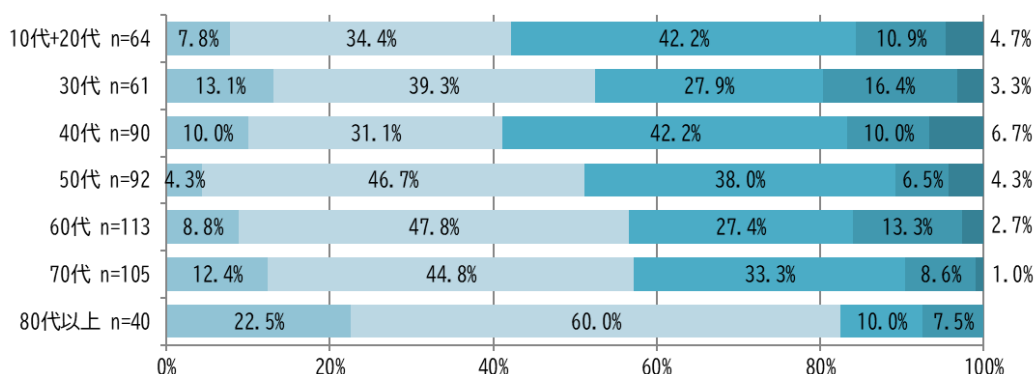
- 全体では、「そう思う（利用しやすい）」が10.4%、「ある程度そう思う（ある程度利用しやすい）」が42.7%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は53.1%と約5割となっている。
- 年代別で見ると、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は80代で82.5%と最も高くなっている一方、40代で最も低く41.1%となっており、41.4ポイントの差がある。「あまりそう思わない（利用しやすいとは思わない）」「そう思わない（利用しやすいとは思わない）」を合わせた割合は30代が19.7%で最も高くなっており、比較的若い年代の方が市のサービスを利用しにくいと感じている傾向がある。

図表 49 「市のサービスの利用しやすさ」

■全体



■年代別

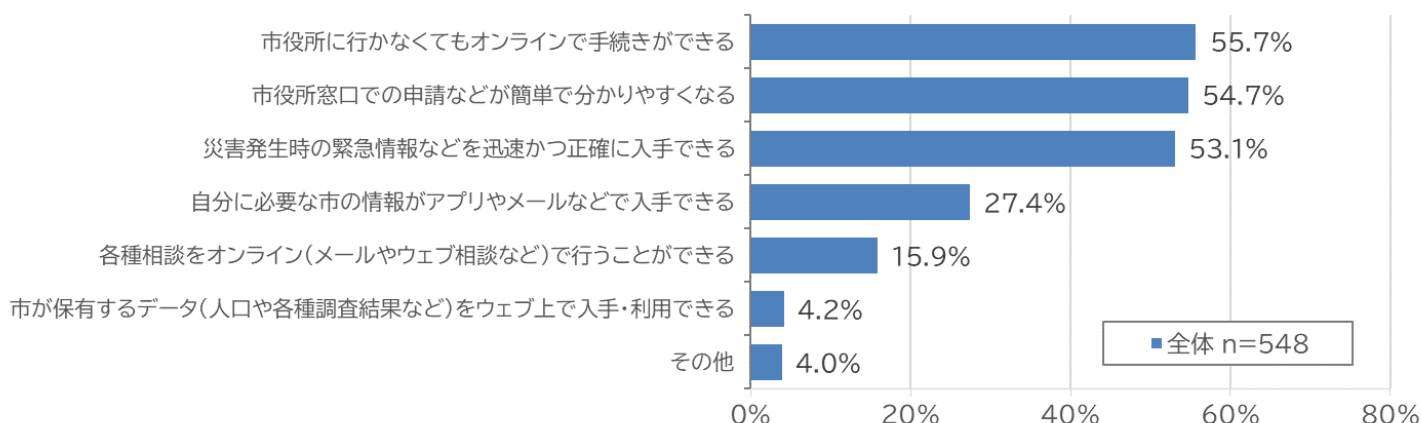


【問4】あなたは行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。（3つまで）

- 全体では、「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」（以下、「オンライン手続き」）の割合が55.7%で最も高く、次いで「市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる」（以下、「申請が簡単になる」）が54.7%、「災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる」（以下、「緊急情報」）が53.1%となっている。上記3つは、他の回答と比較しても20ポイント以上の差があり、期待が高い項目となっている。
- 年代別にみると、60代と70代では「申請が簡単になる」が最も高く、6割を超えている。50代以下では「オンライン手続き」が最も高く、40代以下では約7割となっている。80代では「緊急情報」が最も高く66.7%、また、70代以上では「その他」が他の年代と比べて高くなっており、その内容としてデジタル化への不安が多く挙げられている。

図表 50 「行政サービスのデジタル化に期待すること」

■全体



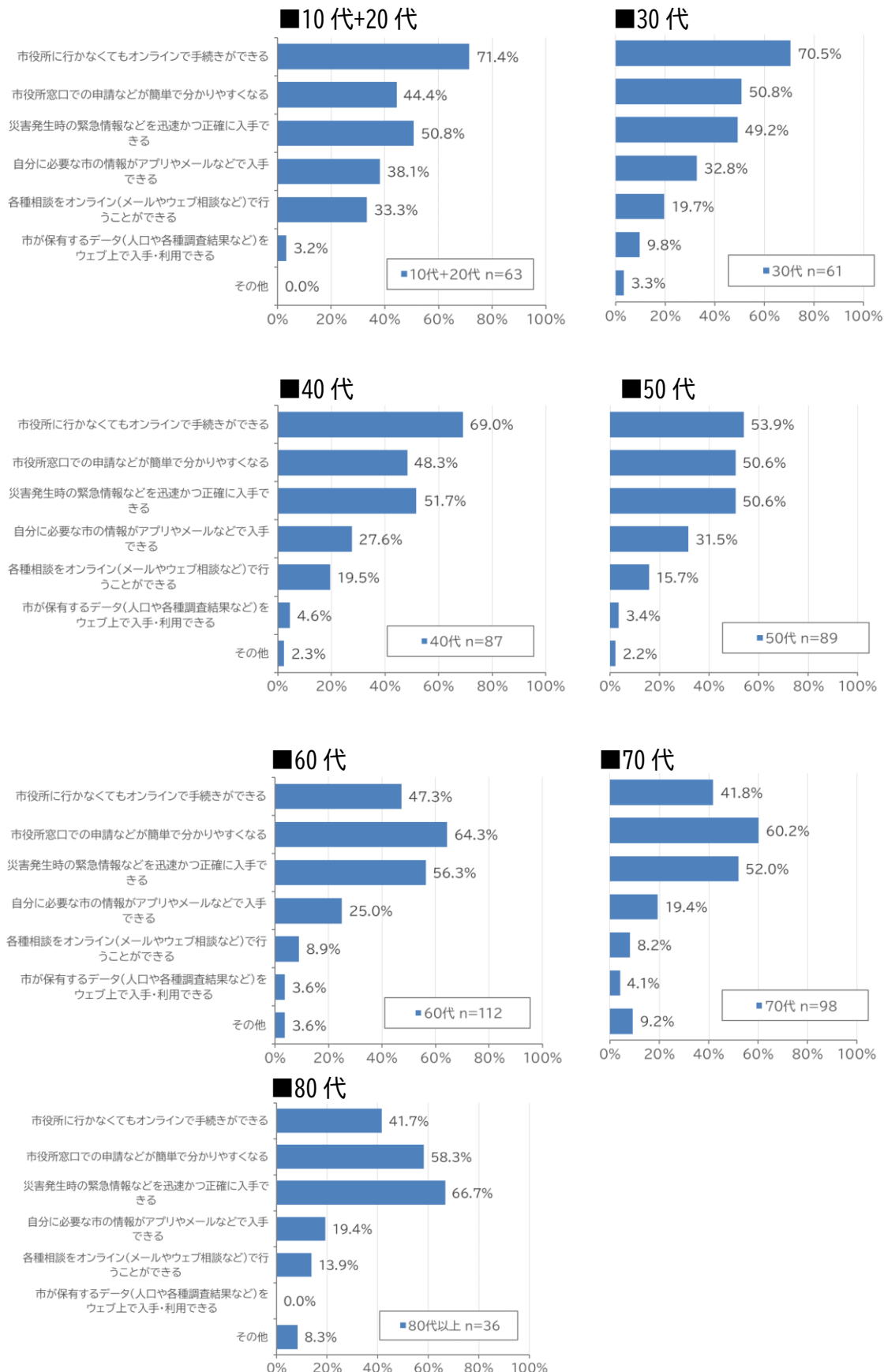
【問4】あなたは行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。（3つまで）

■その他の回答

- ・ 行政手続きで、たらい回しや、2度、3度手間が無くなることを期待する。
（40代/男性/自営業・家族従業者（農林業含む））
- ・ 障がい者・高齢者・情報弱者を大切にする。（60代/男性/無職）
- ・ デジタル化は良いが、セキュリティをしっかりとしてほしい。（30代）
- ・ 高齢者でもできるサービスにしてもらいたい。（デジタル化より簡単に）
（50代/男性/正規社員・職員）
- ・ デジタル化についていけない人にも丁寧に教えてほしい。（60代/女性/正規社員・職員）
- ・ 高齢者にとって不慣れな操作へのアシストを。（70代/男性/無職）
- ・ デジタル設備の無い世帯はどうするのか。（70代/男性/無職）
- ・ 80代以上の老人にとっては、デジタル化になってもデメリットの割合が多くなる気がする。
（80代以上/女性/自営業・家族従業者（農林業含む））
- ・ 私には不安があり、使えない。（70代/男性/自営業・家族従業者（農林業含む））
- ・ 高齢になるとデジタル化する事によって、難しさを感じると思う。
（70代/女性/パート・アルバイト）
- ・ 急速に進むオンライン化に高齢の為、ついていけません。（80代以上/男性/無職）
- ・ 高齢者はデジタル化についていけない。（70代/男性/パート・アルバイト）
- ・ オンライン、アプリは全くわかりません。（70代/女性/専業主婦・主夫）
- ・ デジタル使えない。（70代/女性/専業主婦・主夫）
- ・ はて？高齢者は100%できるか。（70代/無職）
- ・ 老人にはわかりづらい。（80代以上/女性/無職）
- ・ 時代に追いついていけない。（60代/男性/正規社員・職員）

【問4】あなたは行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。（3つまで）

図表 51 年代別による「行政サービスのデジタル化に期待すること」



2.7 あなたが思う大仙市について

2.7.1 市内在住の経緯に関する設問について

現在、大仙市に住んでいる経緯については、「生まれてからずっと住んでいる（以下、「生まれてからずっと」）」が55.4%で最も高く、次いで「市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」）」が29.7%、「市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た（以下、「市外経験あり、自己都合で転入」）」が14.9%となっている。

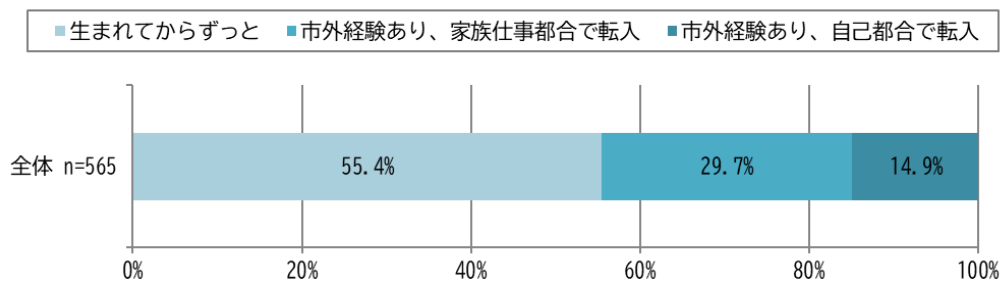
性別で見ると、「生まれてからずっと」は男性が62.0%となっており、女性の50.2%より11.8ポイント高くなっている。一方、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」は男性が24.7%となっており、女性は8.9ポイント高い33.6%となっている。

年代別で見ると、「生まれてからずっと」が最も高いのは10代と20代合わせた年代で69.2%となっており、次いで80代が67.5%で2番目に高くなっている。一方、最も低いのは40代で38.9%となっている。また、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と「市外経験あり、自己都合で転入」が最も高いのは40代で、それぞれ41.1%、20.0%となっており、40代を境に低くなる傾向にある。

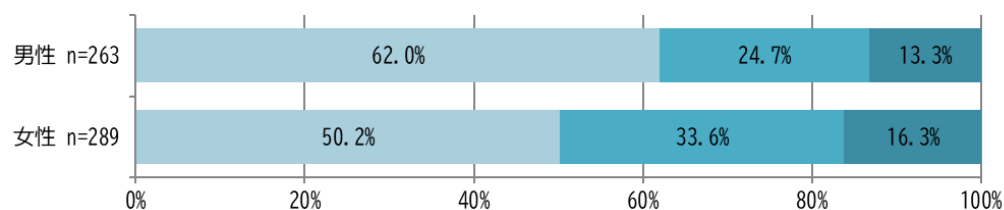
地域別で見ると、「生まれてからずっと」が最も高いのは仙北地域で71.7%となっており、最も低いのは大曲地域で47.5%となっている。また、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」が最も高いのは南外地域で38.1%、「市外経験あり、自己都合で転入」が最も高いのは神岡地域で20.0%となっている。

図表 52 大仙市に住んでいる経緯

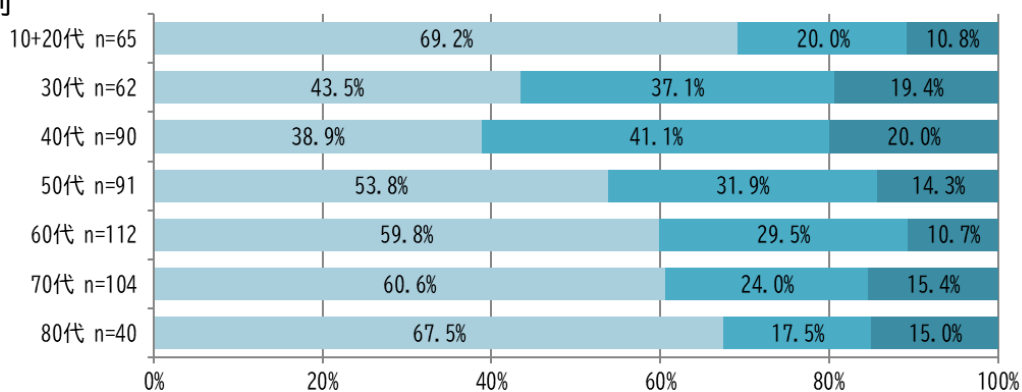
■全体



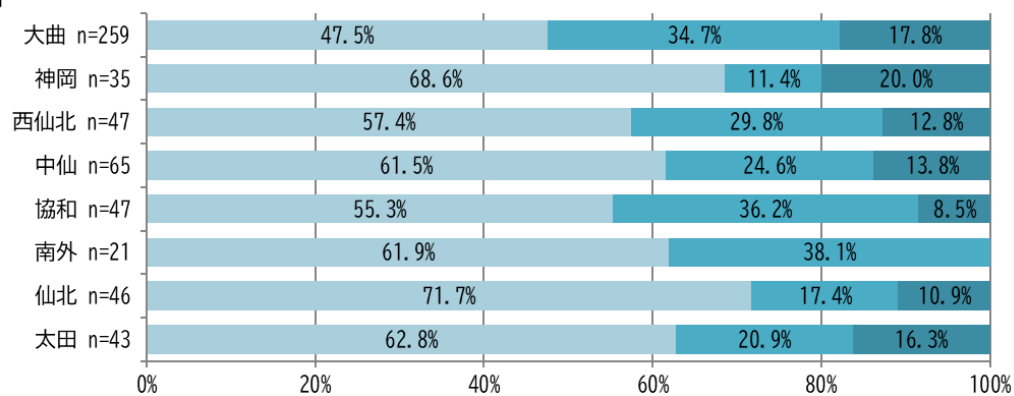
■性別



■年代別



■地域別



2.7.2 「住みやすさ」に関する設問について

■住みやすいか

「大仙市は住みやすいまちだと思いますか」という設問については、「どちらかといえば住みやすい」が 58.7%で最も高く、次いで「住みやすい」が 27.1%となっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は 85.8%で、昨年度（85.4%）から 0.4 ポイント高くなっている。

性別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合に大きな差異は見られないが、「住みやすい」は男性が 26.5%、女性が 27.9%となっており、女性が 1.4 ポイント高くなっている。また、「どちらかと言えば住みやすい」は男性が 56.1%、女性が 60.5%となっており、女性が 4.4 ポイント高くなっている。

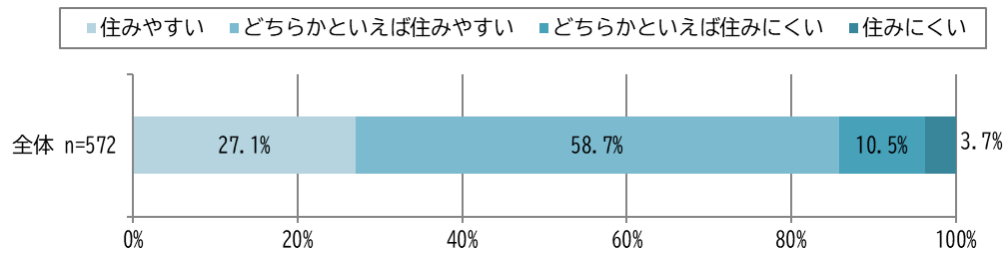
年代別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、80 代が 92.7%で最も高く、40 代が 80.0%で最も低くなっているものの、全ての年代で 8 割を超えている。また、「住みにくい」の割合が最も高いのは 40 代で 7.8%となっており、他の年代よりも比較的高くなっている。

地域別で見ると、「住みやすい」は神岡地域が 35.3%で最も高くなっており、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合も、神岡地域が 94.1%で最も高くなっている。「どちらかといえば住みにくい」は南外地域が 23.8%で最も高くなっており、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を合わせた割合は太田地域が 23.9%で最も高くなっている。

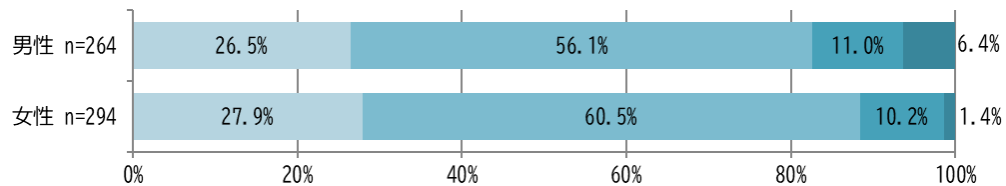
大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、「生まれてからずっと」と回答した方が 86.8%と最も高くなっている。また、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせた割合は、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方が 15.6%と最も高くなっている。

図表 53 大仙市は住みやすいか

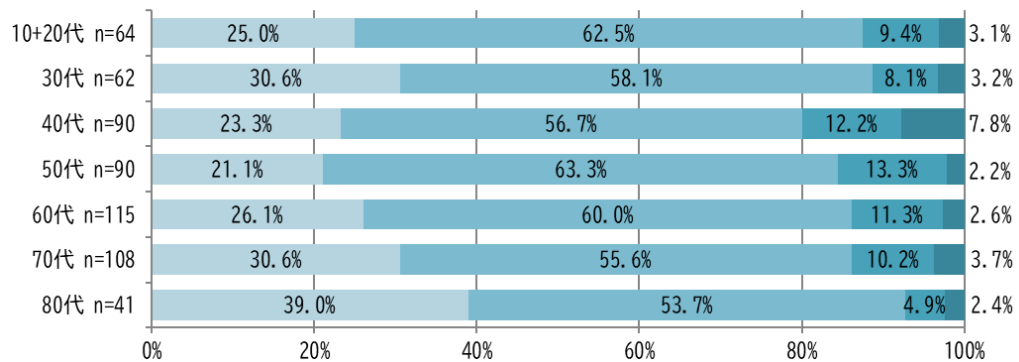
■全体



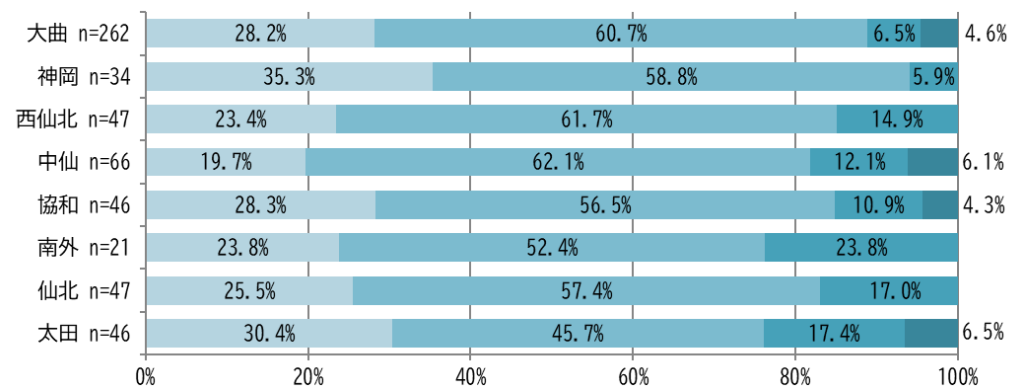
■性別



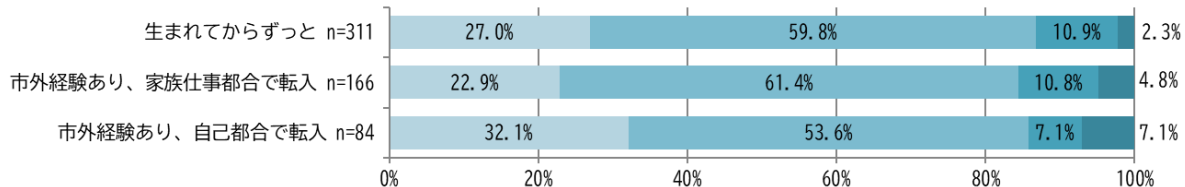
■年代別



■地域別



■住んでいる経緯別



■住み続けたいか

これからも大仙市に住み続けたいと思うか、という設問については、「今の場所に住み続けたい」は74.3%と昨年度の73.7%から0.6ポイント高くなっている。

性別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は男性が72.9%、女性が75.8%で女性が2.9ポイント高くなっており、男性は「市内の別の場所へ移りたい」「市外に移りたい」及び「住み続けたいが、移らざるを得ない」が女性より高くなっている。

年代別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は、30代と50代以上が比較的高くなっており、70代以上では8割を超えている。一方で「市外に移りたい」は、年代が下がるにつれて高くなる傾向となっており、10代と20代を合わせた年代では20.0%となっている。また、「市内の別の場所へ移りたい」は、10代と20代を合わせた年代が16.9%で最も高くなっている。

地域別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は仙北地域が91.5%、「市内の別の場所へ移りたい」は南外地域が30.0%、「市外に移りたい」は中仙地域が17.9%で最も高くなっている。

大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「今の場所に住み続けたい」は「生まれてからずっと」と回答した方が77.7%で最も高くなっている。一方、「市外に移りたい」が最も高くなっているのは「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方となっている。転入されてきた方々にとって住み続けたいと思われる取組が必要になってくる。

■「住みやすいか」と「住み続けたいか」の比較

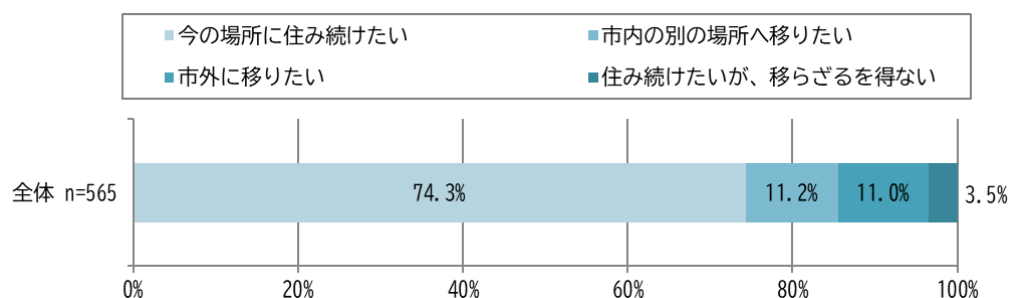
性別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、女性がやや高い傾向となっている。また、「今の場所に住み続けたい」「市内の別の場所へ移りたい」「住み続けたいが、移らざるを得ない」を合わせた、市内のどこかに住み続けたいと思っている女性の割合は89.3%と、男性の88.5%と比較すると0.8ポイント高くなっている。

年代別で見ると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合と「今の場所に住み続けたい」の割合は、概ね同様の傾向となっており、30代、60代以上が比較的高い傾向となっている。

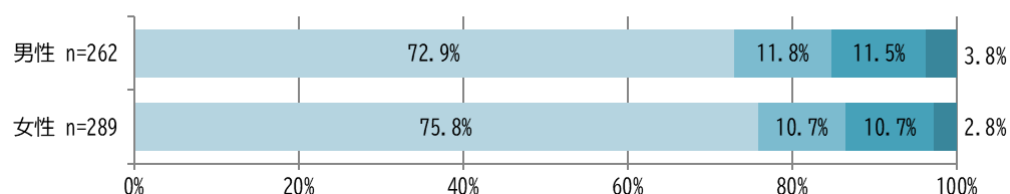
大仙市に住んでいる経緯別で見ると、「市外経験あり、家族仕事都合で転入」と回答した方は、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合が84.3%、「今の場所に住み続けたい」の割合は67.1%と最も低くなっており、「市外に移りたい」は14.6%と高くなっている。

図表 54 大仙市に住み続けたいか

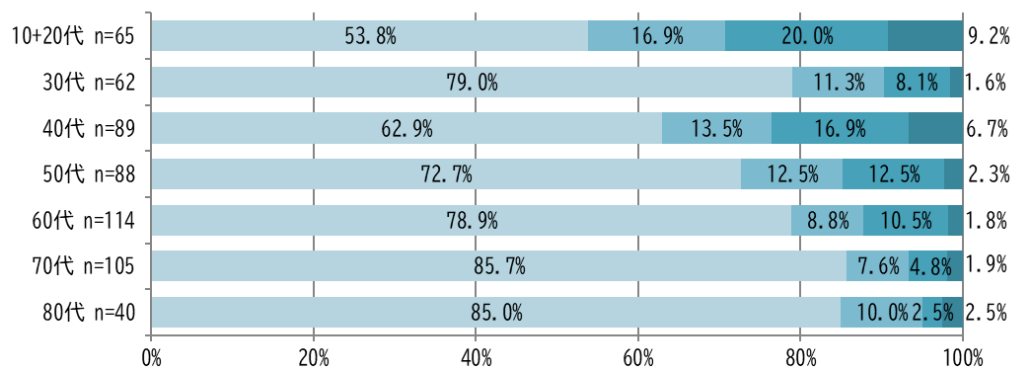
■全体



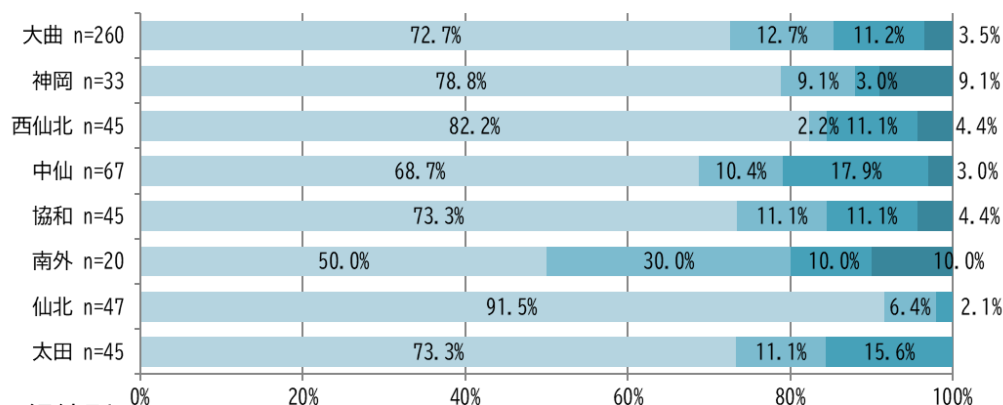
■性別



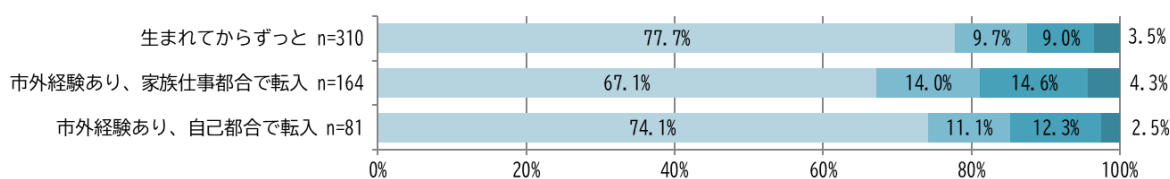
■年代別



■地域別



■住んでいる経緯別



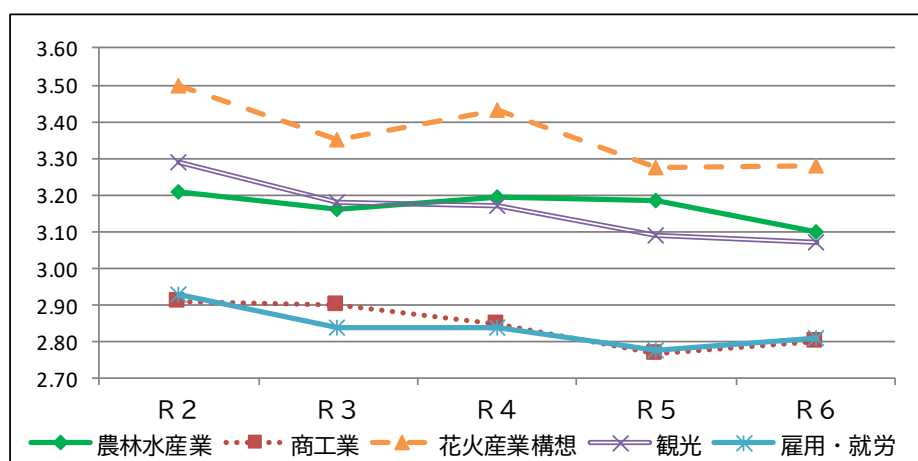
2.8 経年比較（５か年分）

令和２年度から令和６年度までの５年間における満足度、重要度、要望度の推移と本市の住みやすさについての５年間の推移をまとめた。

I 魅力ある産業のまちを創ります！～産業振興・雇用など～

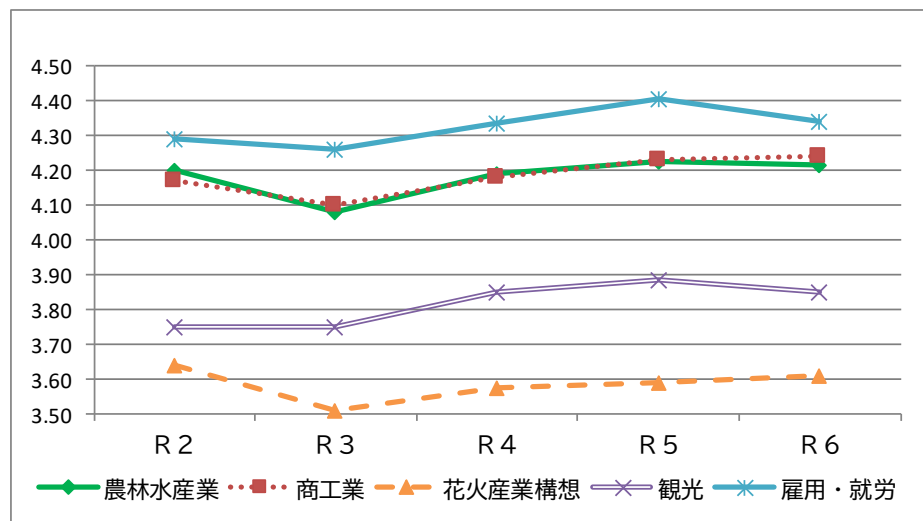
満足度は全ての項目で、令和２年度から低下傾向となっている。重要度は令和２年度から「花火産業構想」が僅かに低下しているものの、その他の４項目は上昇傾向となっている。要望度は満足度の低下と重要度の上昇により、全ての項目で令和２年度から上昇傾向となっている。

満足度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
農林水産業	3.21	3.16	3.19	3.19	3.10
商工業	2.91	2.90	2.85	2.77	2.80
花火産業構想	3.50	3.35	3.43	3.28	3.28
観光	3.29	3.18	3.17	3.09	3.07
雇用・就労	2.93	2.84	2.84	2.78	2.81

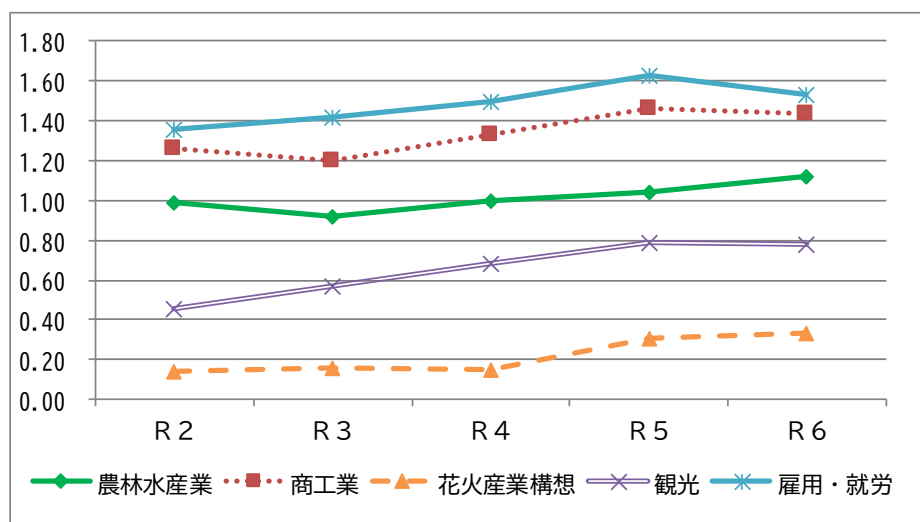


I 魅力ある産業のまちを創ります！～産業振興・雇用など～

重要度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
農林水産業	4.20	4.08	4.19	4.23	4.22
商工業	4.17	4.10	4.18	4.23	4.24
花火産業構想	3.64	3.51	3.58	3.59	3.61
観光	3.75	3.75	3.85	3.88	3.85
雇用・就労	4.29	4.26	4.34	4.41	4.34



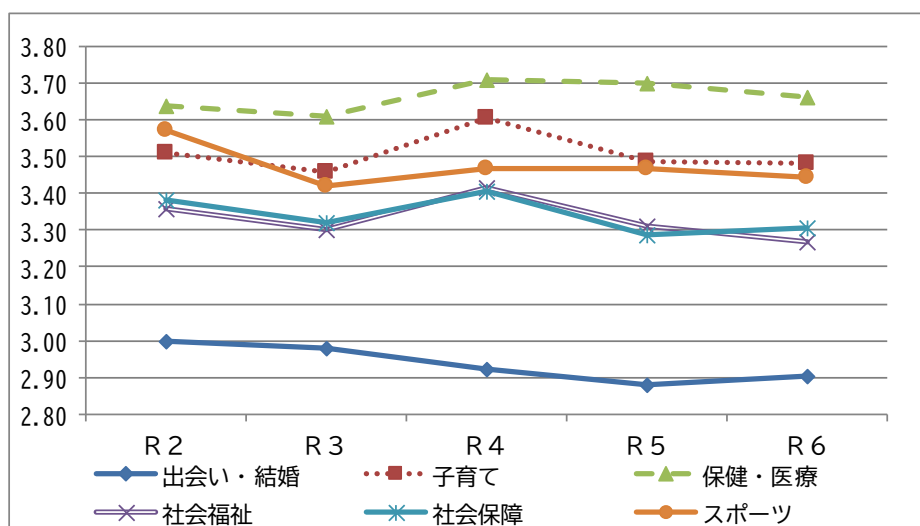
要望度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
農林水産業	0.99	0.92	1.00	1.04	1.12
商工業	1.26	1.20	1.33	1.46	1.44
花火産業構想	0.14	0.16	0.15	0.31	0.33
観光	0.46	0.57	0.68	0.79	0.78
雇用・就労	1.36	1.42	1.50	1.63	1.53



Ⅱ みんなの元気を応援します！～出会い・結婚・子育て、健康・福祉など～

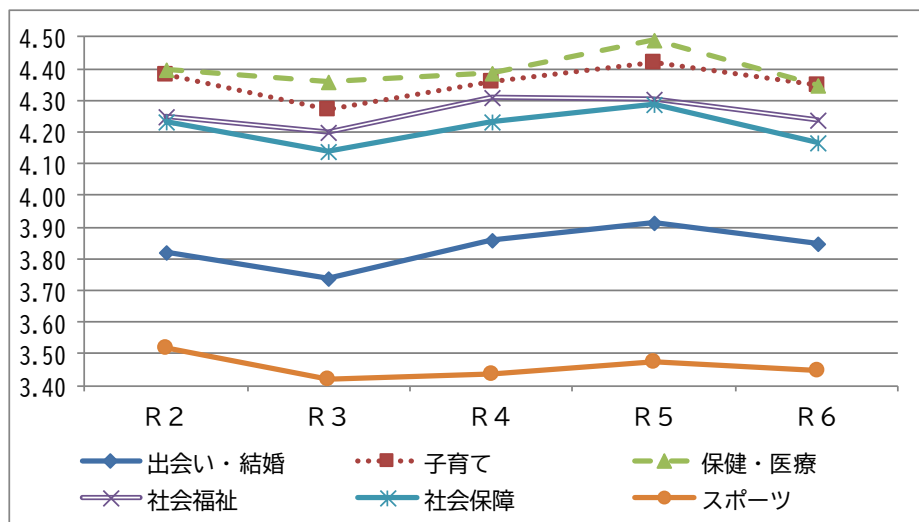
満足度は昨年度と比較すると「子育て」が横ばい、「保健・医療」「社会福祉」「スポーツ」は低下している一方で、「出会い・結婚」「社会保障」は上昇している。重要度は令和3年度から令和5年度までは、ほとんどの項目が上昇傾向であったが、令和6年度は全ての項目が下降している。要望度は、昨年度と比較すると「スポーツ」以外の項目で低下している。また、満足度については「出会い・結婚」、重要度・要望度については「スポーツ」が他の項目に比べて低い値で推移している。

満足度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
出会い・結婚	3.00	2.98	2.92	2.88	2.90
子育て	3.51	3.46	3.60	3.48	3.48
保健・医療	3.64	3.61	3.71	3.70	3.66
社会福祉	3.36	3.30	3.42	3.31	3.27
社会保障	3.38	3.32	3.41	3.29	3.30
スポーツ	3.57	3.42	3.47	3.47	3.44

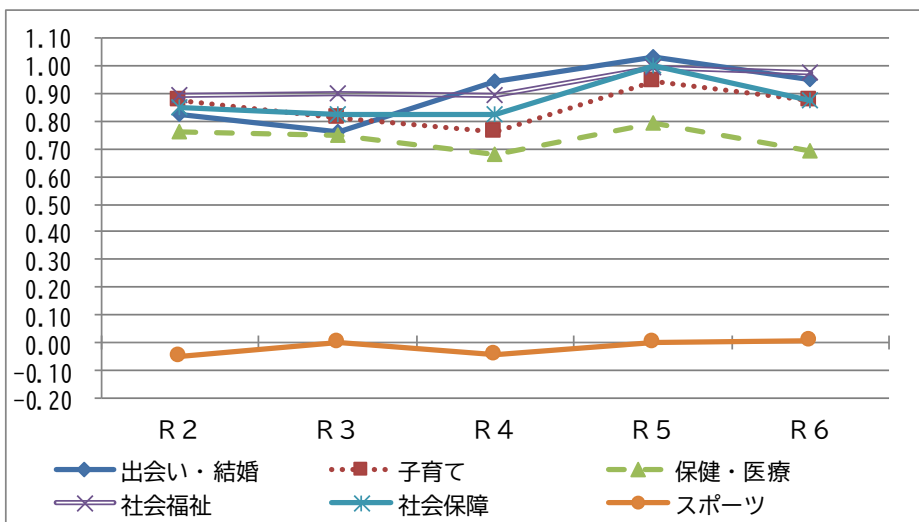


Ⅱ みんなの元気を応援します！～出会い・結婚・子育て、健康・福祉など～

重要度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
出会い・結婚	3.82	3.74	3.86	3.91	3.85
子育て	4.38	4.27	4.36	4.42	4.35
保健・医療	4.40	4.36	4.39	4.49	4.35
社会福祉	4.25	4.20	4.31	4.30	4.24
社会保障	4.23	4.14	4.23	4.29	4.17
スポーツ	3.52	3.42	3.43	3.47	3.45



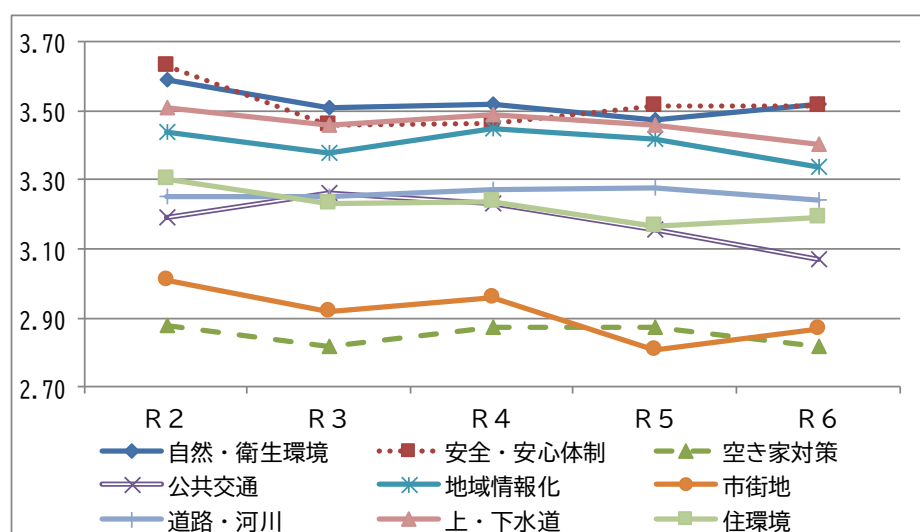
要望度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
出会い・結婚	0.82	0.76	0.94	1.03	0.95
子育て	0.87	0.81	0.76	0.94	0.87
保健・医療	0.76	0.75	0.68	0.79	0.69
社会福祉	0.89	0.90	0.89	0.99	0.97
社会保障	0.85	0.82	0.82	1.00	0.87
スポーツ	-0.05	0.00	-0.04	0.00	0.01



Ⅲ 住みよいまちを築きます！～安全・安心、都市整備など～

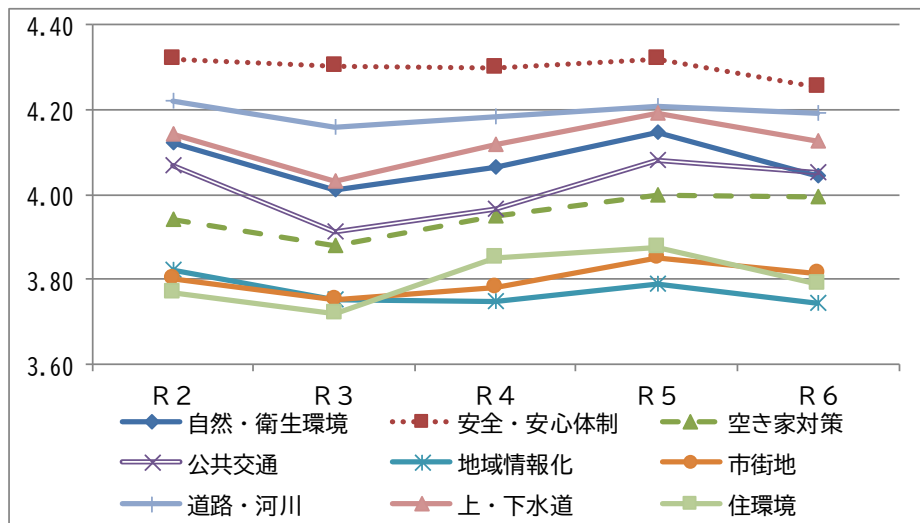
満足度は、「公共交通」が昨年度と比較して大きく低下しているほか、「空き家対策」と「地域情報化」「道路・河川」「上・下水道」が低下している一方で、「自然・衛生環境」「市街地」「住環境」は上昇している。重要度は「安全・安心体制」以外については、令和3年度から概ね横ばい又は上昇傾向にある。要望度は、重要度と同様に、令和3年度から全体的に上昇傾向で推移しているが、「自然・衛生環境」「地域情報化」「道路・河川」は概ね横ばい、「安全・安心体制」は低下している。

満足度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
自然・衛生環境	3.59	3.51	3.52	3.47	3.52
安全・安心体制	3.63	3.46	3.46	3.51	3.51
空き家対策	2.88	2.82	2.87	2.87	2.82
公共交通	3.19	3.26	3.23	3.16	3.07
地域情報化	3.44	3.38	3.45	3.42	3.34
市街地	3.01	2.92	2.96	2.81	2.87
道路・河川	3.25	3.25	3.27	3.28	3.24
上・下水道	3.51	3.46	3.49	3.46	3.40
住環境	3.30	3.23	3.24	3.17	3.19

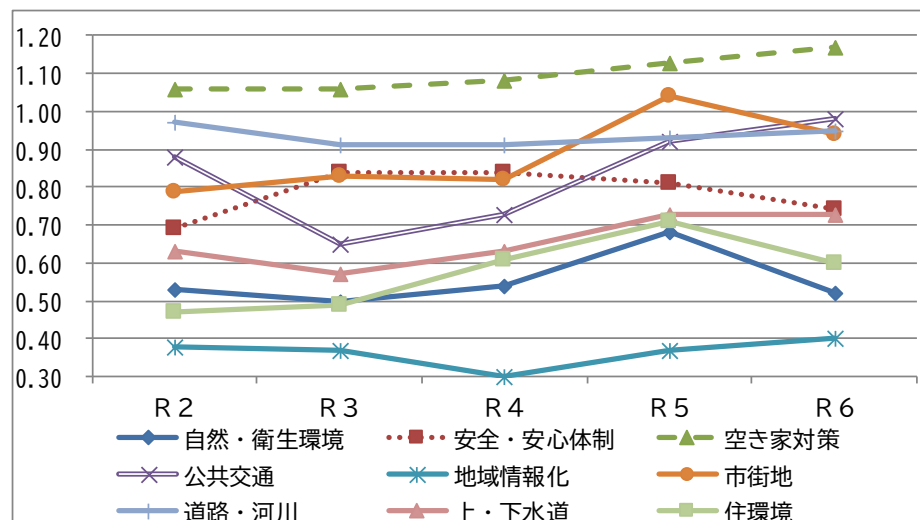


Ⅲ 住みよいまちを築きます！～安全・安心、都市整備など～

重要度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
自然・衛生環境	4.12	4.01	4.06	4.15	4.04
安全・安心体制	4.32	4.30	4.30	4.32	4.25
空き家対策	3.94	3.88	3.95	4.00	3.99
公共交通	4.07	3.91	3.96	4.08	4.05
地域情報化	3.82	3.75	3.75	3.79	3.74
市街地	3.80	3.75	3.78	3.85	3.81
道路・河川	4.22	4.16	4.18	4.21	4.19
上・下水道	4.14	4.03	4.12	4.19	4.13
住環境	3.77	3.72	3.85	3.88	3.79



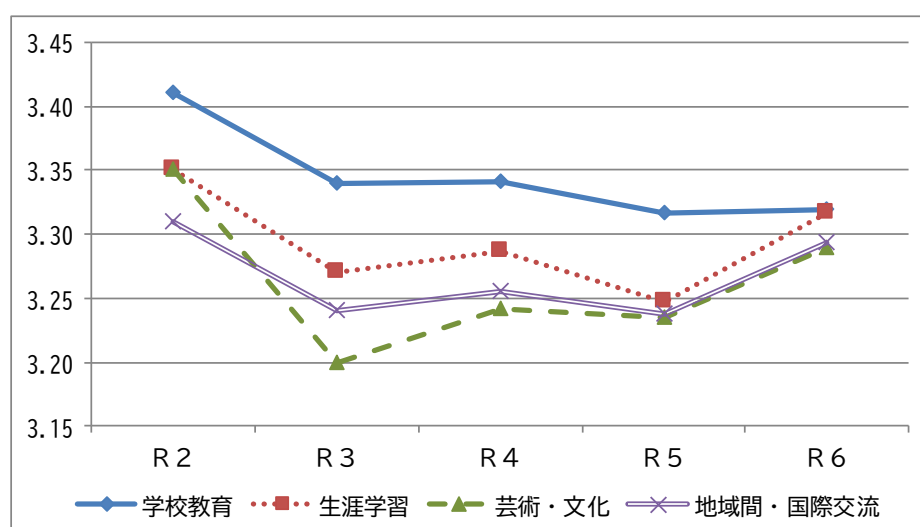
要望度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
自然・衛生環境	0.53	0.50	0.54	0.68	0.52
安全・安心体制	0.69	0.84	0.84	0.81	0.74
空き家対策	1.06	1.06	1.08	1.13	1.17
公共交通	0.88	0.65	0.73	0.92	0.98
地域情報化	0.38	0.37	0.30	0.37	0.40
市街地	0.79	0.83	0.82	1.04	0.94
道路・河川	0.97	0.91	0.91	0.93	0.95
上・下水道	0.63	0.57	0.63	0.73	0.73
住環境	0.47	0.49	0.61	0.71	0.60



IV 豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～

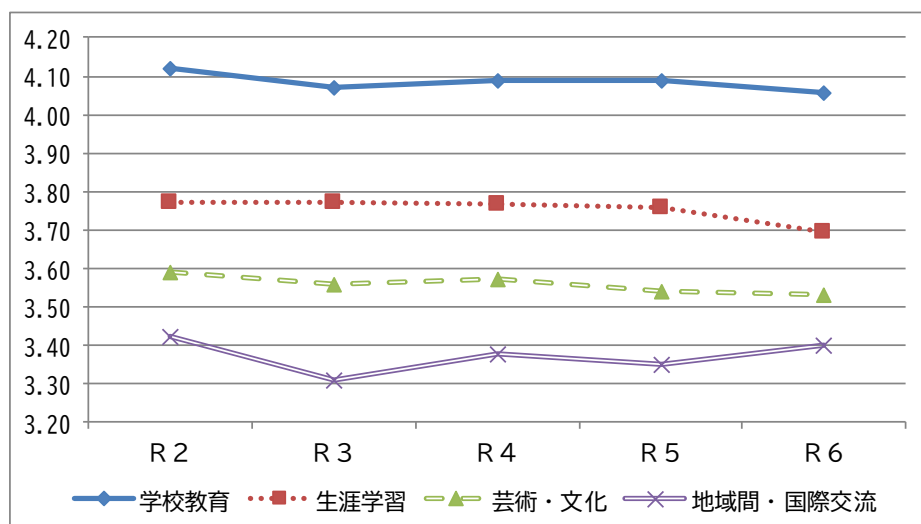
満足度は令和3年度に全ての項目で低下し、それ以降は概ね横ばいで推移しているが、令和6年度は「学校教育」以外の項目が上昇した。重要度は令和2年度以降、全ての項目で概ね横ばいとなっている。要望度は令和5年度と比較すると「地域間・国際交流」以外で低下している。「芸術・文化」は令和3年度を境に低下傾向となっている。

満足度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
学校教育	3.41	3.34	3.34	3.32	3.32
生涯学習	3.35	3.27	3.29	3.25	3.32
芸術・文化	3.35	3.20	3.24	3.23	3.29
地域間・国際交流	3.31	3.24	3.26	3.24	3.29

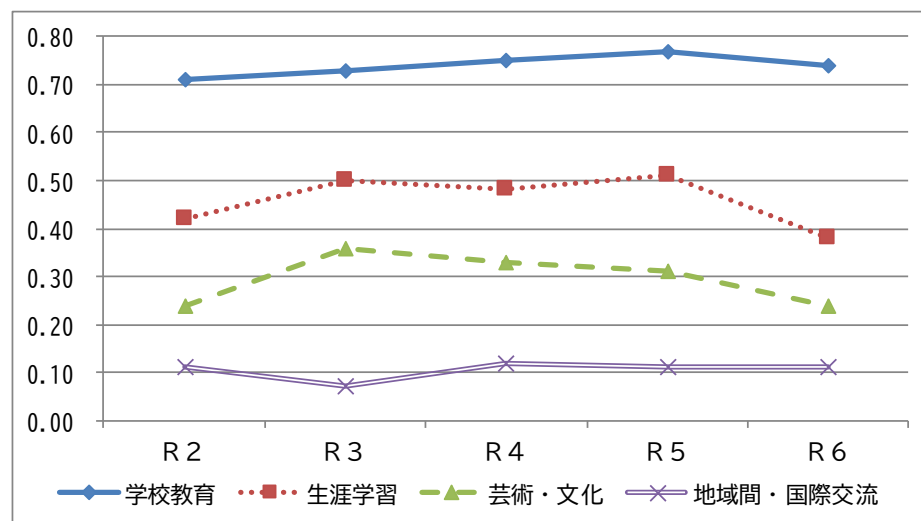


IV 豊かな心と創造力を育みます！～教育、生涯学習、芸術・文化など～

重要度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
学校教育	4.12	4.07	4.09	4.09	4.06
生涯学習	3.77	3.77	3.77	3.76	3.70
芸術・文化	3.59	3.56	3.57	3.54	3.53
地域間・国際交流	3.42	3.31	3.38	3.35	3.40



要望度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
学校教育	0.71	0.73	0.75	0.77	0.74
生涯学習	0.42	0.50	0.48	0.51	0.38
芸術・文化	0.24	0.36	0.33	0.31	0.24
地域間・国際交流	0.11	0.07	0.12	0.11	0.11

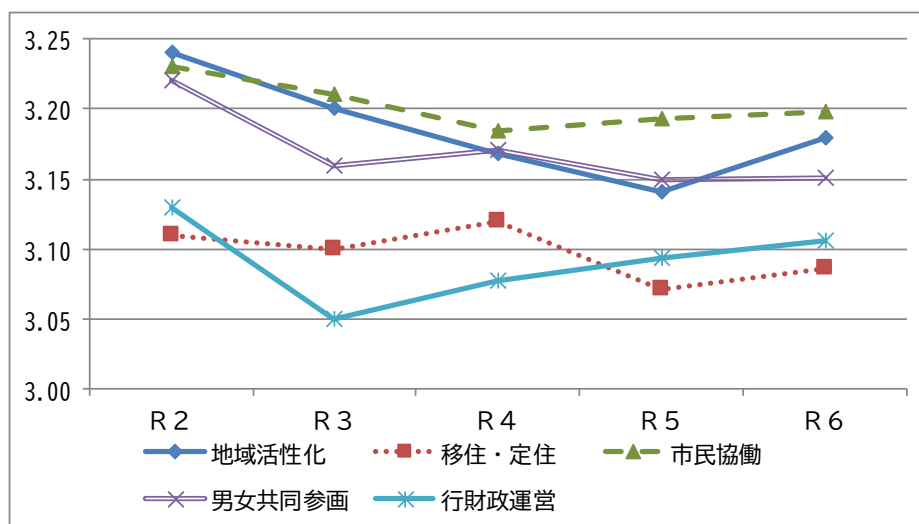


V 時代に合った地域を創ります！

～地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など～

満足度は令和3年度に全ての項目で低下し、その後「地域活性化」のみ令和5年度まで低下傾向となっている。令和5年度と比較すると「男女共同参画」が横ばいとなっており、それ以外の項目は上昇している。重要度は「市民協働」以外の項目が、令和5年度と比較すると低下している。「移住・定住」については令和2年度から比較すると上昇傾向にある。要望度は「地域活性化」「移住・定住」「市民協働」が令和3年度まで低下傾向で推移し、その後は上昇傾向に転じている。「行財政運営」は今年度、重要度が低下したことに伴い、要望度も低下している。

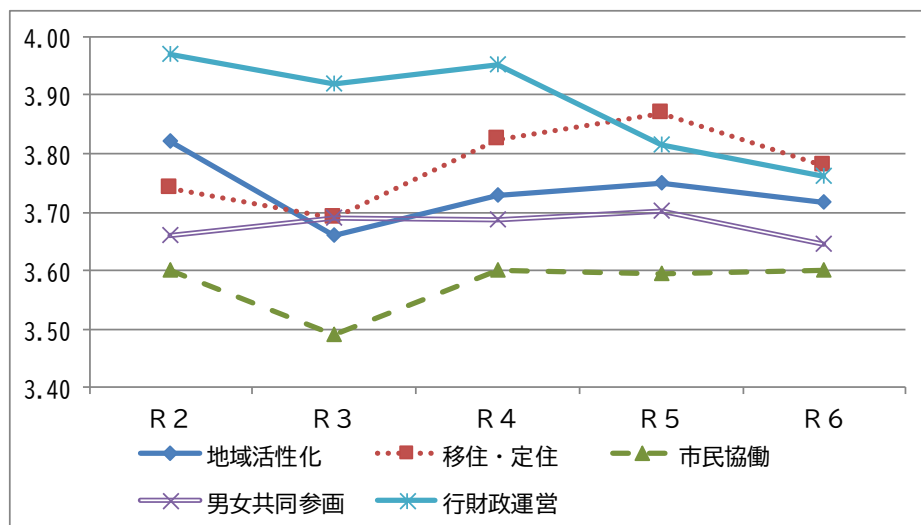
満足度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
地域活性化	3.24	3.20	3.17	3.14	3.18
移住・定住	3.11	3.10	3.12	3.07	3.09
市民協働	3.23	3.21	3.18	3.19	3.20
男女共同参画	3.22	3.16	3.17	3.15	3.15
行財政運営	3.13	3.05	3.08	3.09	3.11



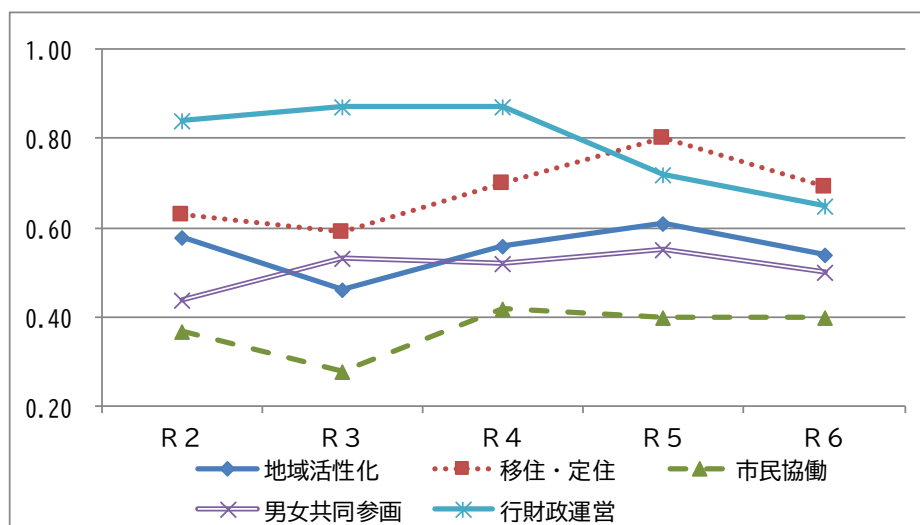
V 時代に合った地域を創ります！

～地域社会の維持・活性化、市民との協働、行財政運営など～

重要度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
地域活性化	3.82	3.66	3.73	3.75	3.72
移住・定住	3.74	3.69	3.82	3.87	3.78
市民協働	3.60	3.49	3.60	3.59	3.60
男女共同参画	3.66	3.69	3.69	3.70	3.65
行財政運営	3.97	3.92	3.95	3.81	3.76



要望度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
地域活性化	0.58	0.46	0.56	0.61	0.54
移住・定住	0.63	0.59	0.70	0.80	0.69
市民協働	0.37	0.28	0.42	0.40	0.40
男女共同参画	0.44	0.53	0.52	0.55	0.50
行財政運営	0.84	0.87	0.87	0.72	0.65



大仙市の住みやすさについて

「大仙市は住みやすいか」について

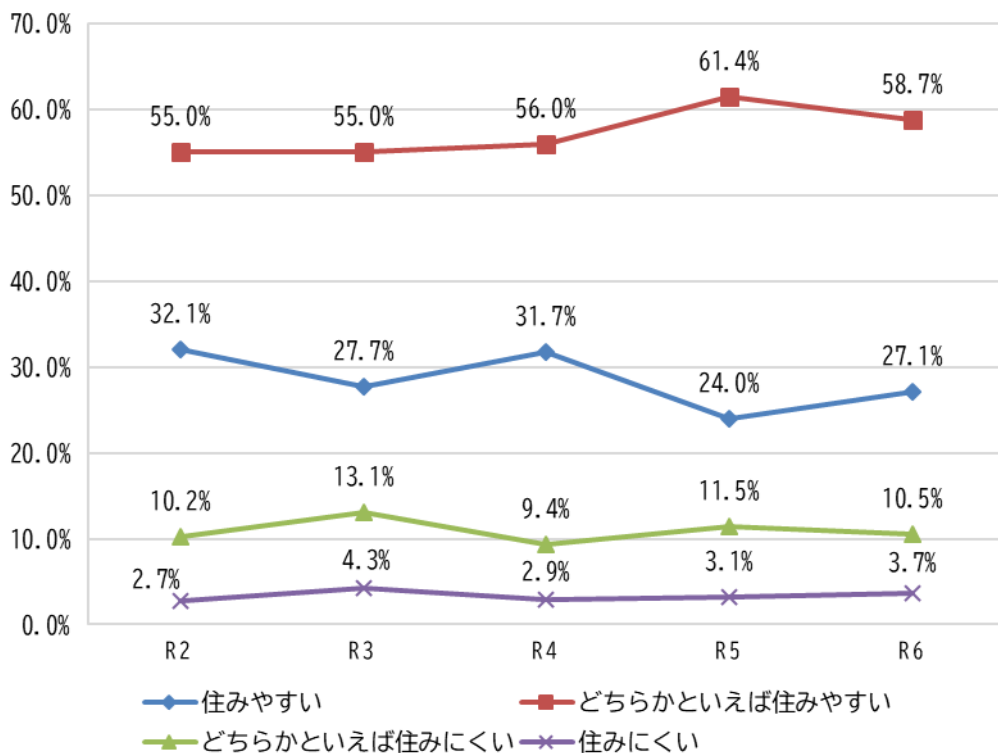
「住みやすい」は昨年度から 3.1 ポイント上昇し、「どちらかといえば住みやすい」は昨年度から 2.7 ポイント低下したものの、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は昨年度から 0.4 ポイント上昇した。一方、「住みにくい」は僅かに上昇しているものの、「どちらかといえば住みにくい」が低下しているため、昨年度と比較すると「住みにくさ」に関する項目の割合は低下している。

大仙市は住みやすいか	R2	R3	R4	R5	R6
住みやすい	32.1%	27.7%	31.7%	24.0%	27.1%
どちらかといえば住みやすい	55.0%	55.0%	56.0%	61.4%	58.7%
	(87.1%)	(82.7%)	(87.7%)	(85.4%)	(85.8%)
どちらかといえば住みにくい	10.2%	13.1%	9.4%	11.5%	10.5%
住みにくい	2.7%	4.3%	2.9%	3.1%	3.7%
	≪12.9%≫	≪17.4%≫	≪12.3%≫	≪14.6%≫	≪14.2%≫

※()内の数値は「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計値

※≪≫内の数値は「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計値

※数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。



大仙市の住みやすさについて

「大仙市に住み続けたいか」について

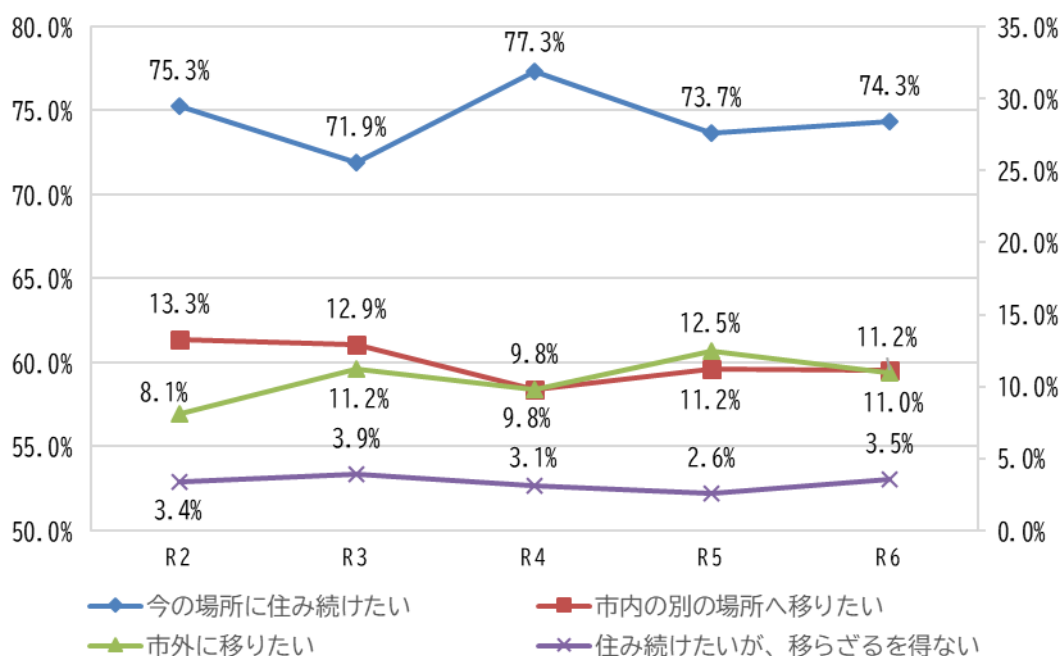
「今の場所に住み続けたい」は令和5年度と比較すると0.6ポイント上昇しており、「市内の別の場所へ移りたい」は昨年度と変わらず横ばいで推移した。一方、「市外に移りたい」は、令和5年度と比較すると1.5ポイント低下したものの、「住み続けたいが、移らざるを得ない」は0.9ポイント上昇している。

大仙市に住み続けたいか	R2	R3	R4	R5	R6
今の場所に住み続けたい	75.3%	71.9%	77.3%	73.7%	74.3%
市内の別の場所へ移りたい	13.3%	12.9%	9.8%	11.2%	11.2%
	(88.6%)	(84.8%)	(87.1%)	(84.9%)	(85.5%)
市外に移りたい	8.1%	11.2%	9.8%	12.5%	11.0%
住み続けたいが、移らざるを得ない	3.4%	3.9%	3.1%	2.6%	3.5%
	<<11.4%>>	<<15.1%>>	<<12.9%>>	<<15.1%>>	<<14.5%>>

※()内の数値は「今の場所に住み続けたい」と「市内の別の場所へ移りたい」の合計値

※<< >>内の数値は「市外に移りたい」と「住み続けたいが、移らざるを得ない」の合計値

※数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。

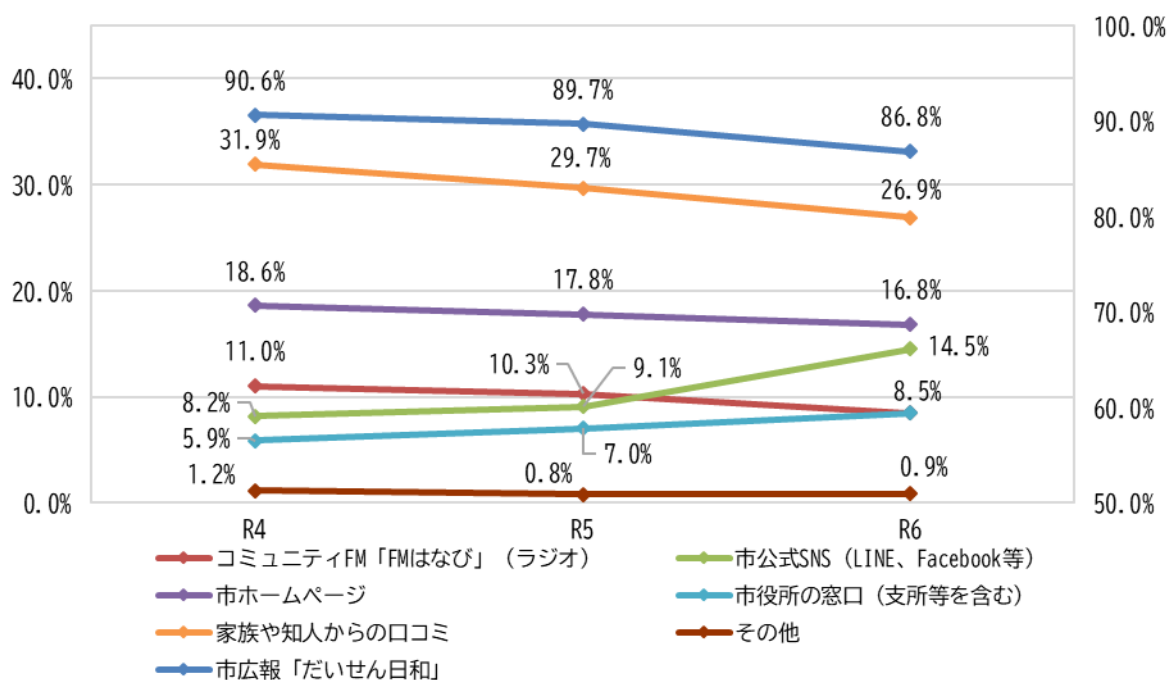


市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

「市政情報の入手手段」について

「市広報「だいせん日和」」は、令和5年度と比較すると2.9ポイント低下している。そのほか、「家族や知人からの口コミ」についても2.8ポイント低下している。一方で、「市公式SNS(LINE、Facebook等)」は令和5年度と比較すると5.4ポイント上昇している。

市政情報の入手手段	R4	R5	R6
市広報「だいせん日和」	90.6%	89.7%	86.8%
コミュニティFM「FMはなび」(ラジオ)	11.0%	10.3%	8.5%
市公式SNS(LINE、Facebook等)	8.2%	9.1%	14.5%
市ホームページ	18.6%	17.8%	16.8%
市役所の窓口(支所等を含む)	5.9%	7.0%	8.5%
家族や知人からの口コミ	31.9%	29.7%	26.9%
その他	1.2%	0.8%	0.9%



市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

「市政情報の入手しやすさ」について

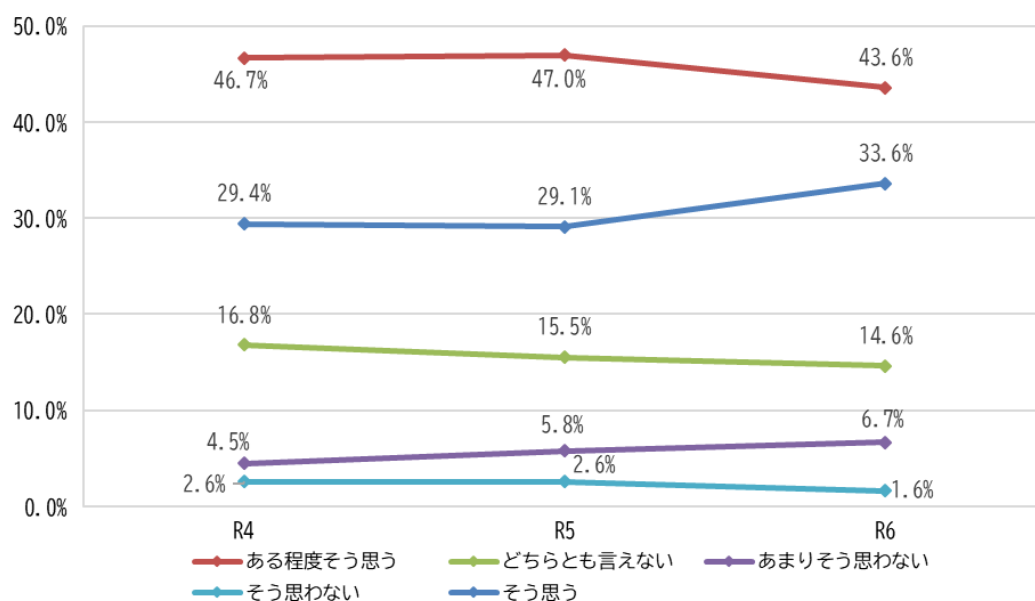
「ある程度そう思う」は、昨年度と比較して3.4ポイント低下しているものの、「そう思う」が4.5ポイント上昇しているため、「ある程度そう思う」「そう思う」を合わせた割合が1.1ポイント上昇している。一方で、「あまりそう思わない」は0.9ポイント上昇しているものの、「そう思わない」が1.0ポイント低下しているため、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合が、0.1ポイント低下している。

市政情報の入手しやすさ	R4	R5	R6
そう思う	29.4%	29.1%	33.6%
ある程度そう思う	46.7%	47.0%	43.6%
	(76.1%)	(76.1%)	(77.2%)
どちらとも言えない	16.8%	15.5%	14.6%
あまりそう思わない	4.5%	5.8%	6.7%
そう思わない	2.6%	2.6%	1.6%
	≪7.1%≫	≪8.4%≫	≪8.3%≫

※()内の数値は「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計値

※≪≫内の数値は「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計値

※数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。



市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

市の行政サービスの利用しやすさについて

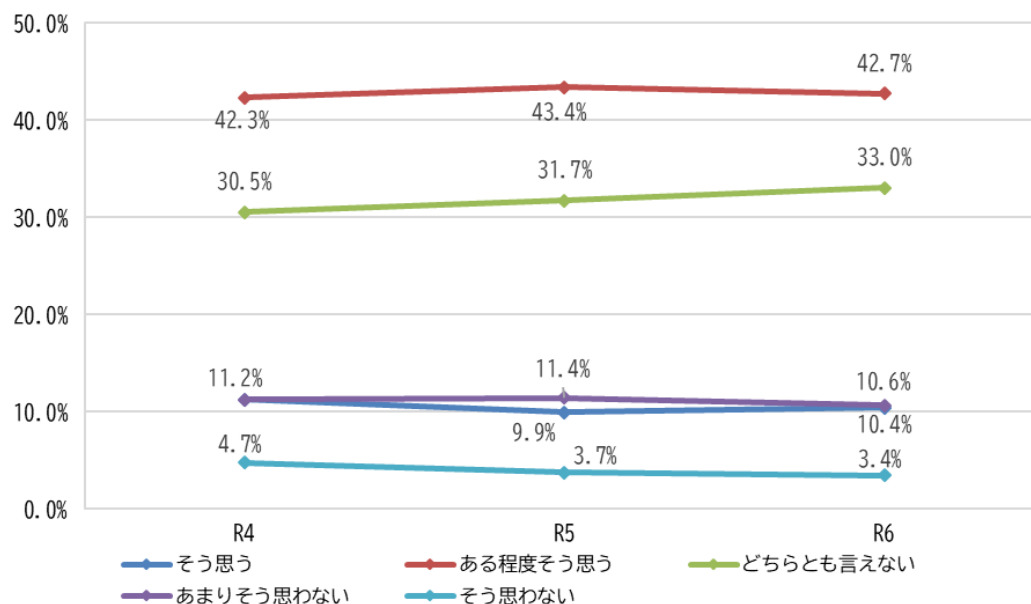
「そう思う」は、昨年度と比較して 0.5 ポイント上昇しているものの、「ある程度そう思う」が昨年度から 0.7 ポイント低下しているため、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合が 0.2 ポイント低下している。そのほか、「あまりそう思わない」が 0.8 ポイント、「そう思わない」が 0.3 ポイント低下しており、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は 1.1 ポイント低下している。

市の行政サービスの利用しやすさ	R4	R5	R6
そう思う	11.2%	9.9%	10.4%
ある程度そう思う	42.3%	43.4%	42.7%
	(53.5%)	(53.3%)	(53.1%)
どちらとも言えない	30.5%	31.7%	33.0%
あまりそう思わない	11.2%	11.4%	10.6%
そう思わない	4.7%	3.7%	3.4%
	≪15.9%≫	≪15.1%≫	≪14.0%≫

※()内の数値は「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計値

※≪≫内の数値は「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計値

※数値表記について、小数点第2位以下で四捨五入しているため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。



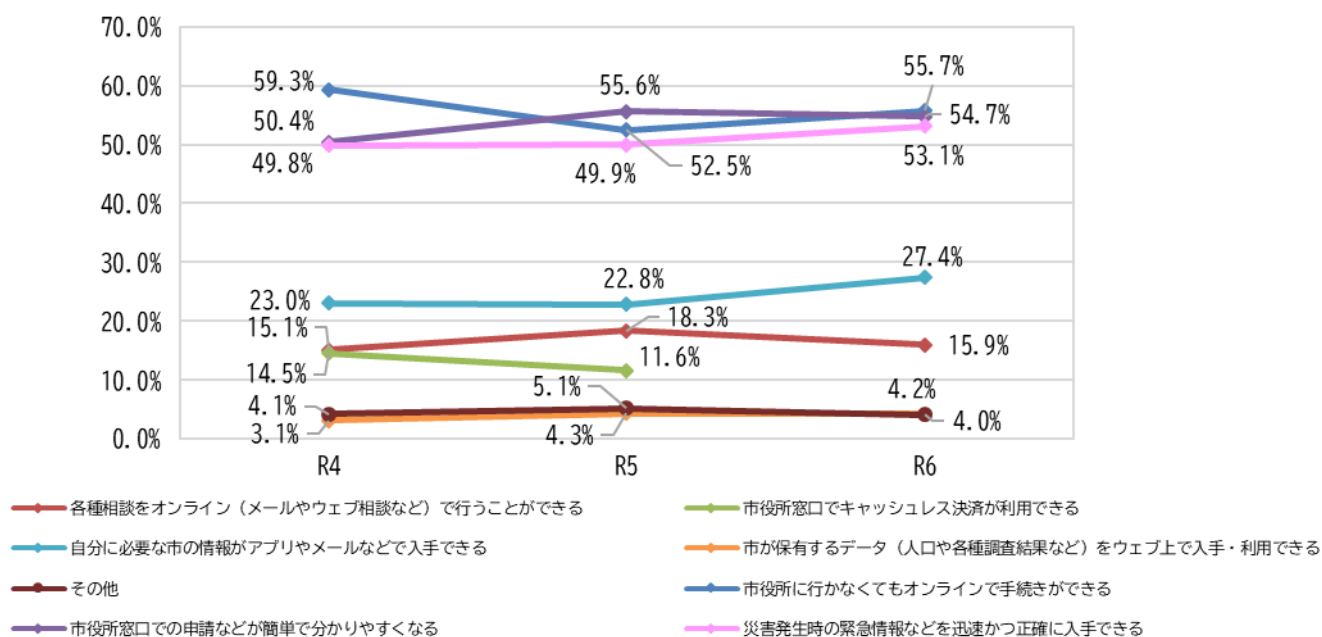
市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

行政サービスのデジタル化に期待することについて

「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」は、昨年度大幅に低下したが、今年度は 3.2 ポイント上昇した。そのほか、「自分に必要な市の情報がアプリやメールなどで入手できる」が 4.6 ポイント、「災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる」が 3.2 ポイント上昇している。一方で、「各種相談をオンライン（メールやウェブ相談など）で行うことができる」は、2.4 ポイント、「市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる」が 0.9 ポイント低下している。

行政サービスのデジタル化に期待すること	R4	R5	R6
市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる	59.3%	52.5%	55.7%
各種相談をオンライン（メールやウェブ相談など）で行うことができる	15.1%	18.3%	15.9%
市役所窓口でキャッシュレス決済が利用できる	14.5%	11.6%	—
市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる	50.4%	55.6%	54.7%
自分に必要な市の情報がアプリやメールなどで入手できる	23.0%	22.8%	27.4%
市が保有するデータ（人口や各種調査結果など）をウェブ上で入手・利用できる	3.1%	4.3%	4.2%
災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる	49.8%	49.9%	53.1%
その他	4.1%	5.1%	4.0%

※「市役所窓口でキャッシュレス決済が利用できる」は、既に実施済であるため、令和6年度調査では設問項目に含めていない。



3 市民による個別事業評価

3 市民による個別事業評価

3.1 個別事業評価

今年度の個別事業評価については、市民全体を対象に、3つの施策・事業に対する評価・意見を伺うこととし、「2 市民による市政評価」の調査票に合冊し、併せて実施した。

従って、調査対象、回答率、回答者の属性については、市民による市政評価の結果と同様である（P4～6を参照）。

3.1.1 若者チャレンジ応援プロジェクトについて

（企画部 若者チャレンジ推進室）

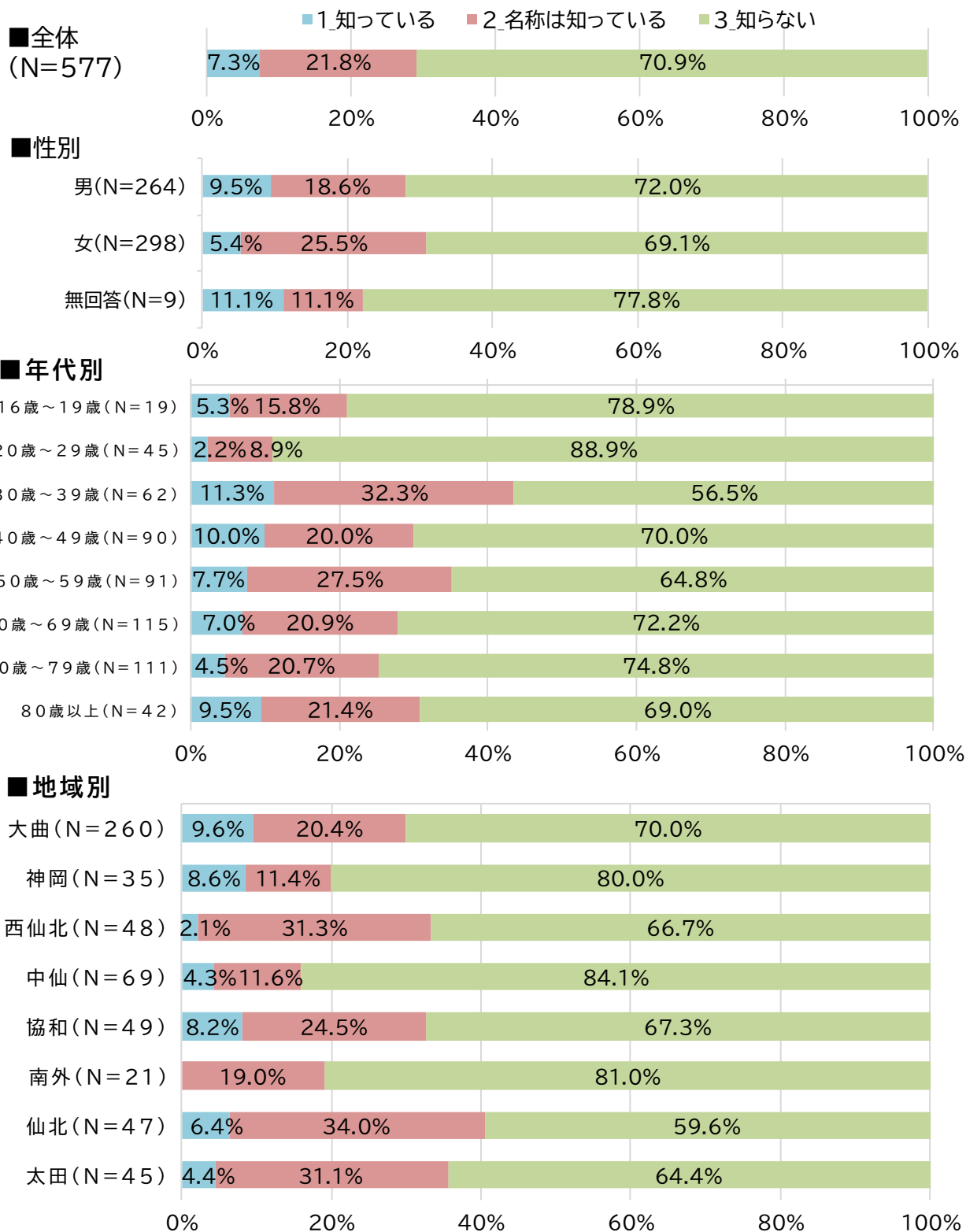
- ◆ 調査目的： 市では、チャレンジする若者を総合的にサポートするため、「若者チャレンジ応援プロジェクト」を展開しており、起業や経営をはじめとする様々な相談に対応する窓口として「だいせん Labo」を設置したほか、若者チャレンジ応援補助金による支援や、高校生や大学生などを対象にしたイベントの開催など、若者がチャレンジできる環境づくりを推進している。

本調査では、「だいせん Labo」をはじめ、これまでの取組に関するご意見を伺い、今後の取組の参考とする。

【問1】あなたは、相談窓口である「だいせん Labo」を知っていますか。

- 全体では「知っている」「名称は知っている」を合わせた割合は 29.1%となっており、3割程の方が「だいせん Labo」を認知している状況にあるが、取組を含めて「知っている」と回答した方は 7.3%に留まっているほか、約7割の方は「知らない」と回答している。
- 性別で見ると、「知っている」「名称は知っている」を合わせた割合は女性が 30.9%と、男性の 28.1%を 2.8 ポイント上回っている。
- 年代別で見ると、「知っている」「名称は知っている」を合わせた割合は 30 代が 43.6%と最も高く、続いて 50 代が 35.2%となっている。一方で、20 代では、11.1%と最も低く、10 代が 21.1%と続いている。
- 地域別で見ると、「知っている」「名称は知っている」を合わせた割合は仙北地域が 40.4%と最も高く、太田地域、西仙北地域、協和地域、大曲地域が同程度の割合で続いている。一方で、中仙地域が 15.9%と最も割合が低く、南外地域が 19.0%と続いている。

【問1】あなたは、相談窓口である「だいせん Labo」を知っていますか。

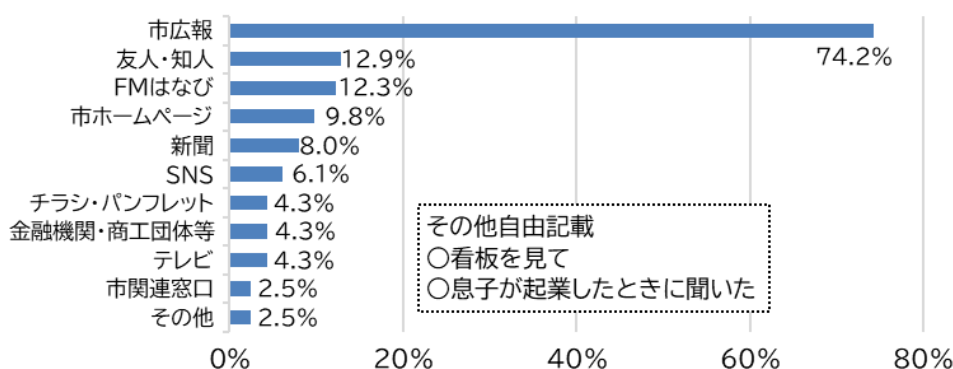


【問2】 問1で「1.知っている 2.名称は知っている」のいずれかを選んだ方に伺います。

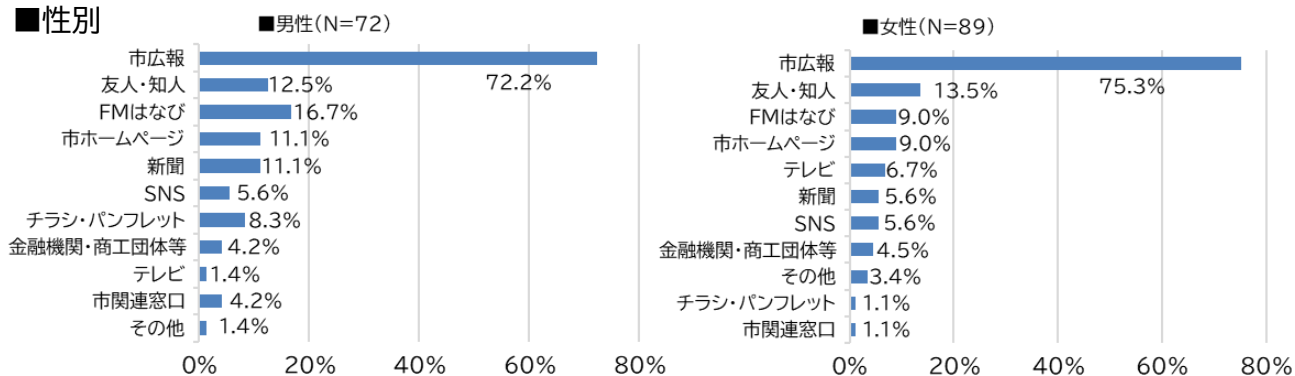
あなたは、「だいせんLabo」の情報を何で知りましたか。（3つまで）

- 全体では、「市広報」が74.2%と突出しており、続いて「友人・知人」「FMはなび」となっている。
- 性別で見ると、男女ともに「市広報」の割合が最も高く、女性の割合が75.3%で、男性の72.2%を3.1ポイント上回っている。「市広報」に次いで、女性は「友人・知人」の13.5%が最も高く、次いで「FMはなび」「市ホームページ」となっている。一方で、男性は「FMはなび」が16.7%、次いで「友人・知人」「市ホームページ」「新聞」となっている。
- 年代別で見ると、いずれの年代においても「市広報」の割合が最も高く、特に60歳以上では79.5%となっている。「市広報」に次ぐ割合をそれぞれみてみると、16歳から39歳では、「友人・知人」「SNS」の割合が高く、続いて「テレビ」となっている。40歳から59歳では、「友人・知人」「市ホームページ」の割合が高く、続いて「FMはなび」「SNS」となっている。60歳以上では、「FMはなび」が19.2%と高く、続いて「新聞」「友人・知人」となっている。

■全体(N=163)

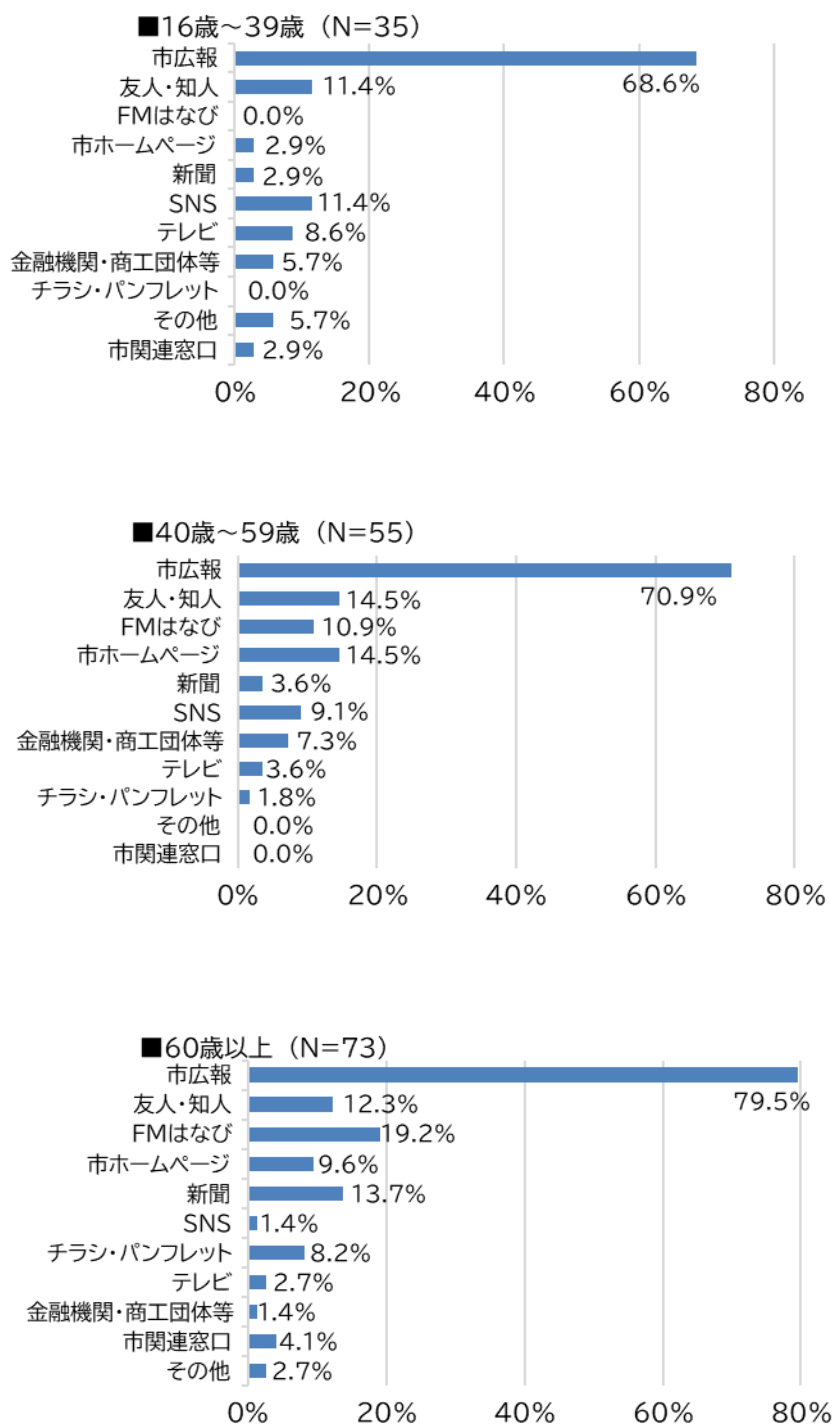


■性別



【問2】問1で「1.知っている 2.名称は知っている」のいずれかを選んだ方に伺います。
あなたは、「だいせんLabo」の情報を何で知りましたか。（3つまで）

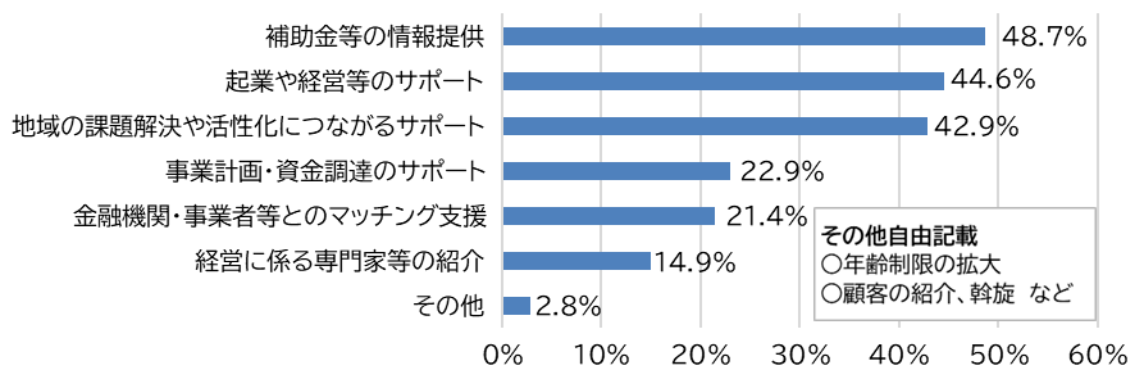
■年代別



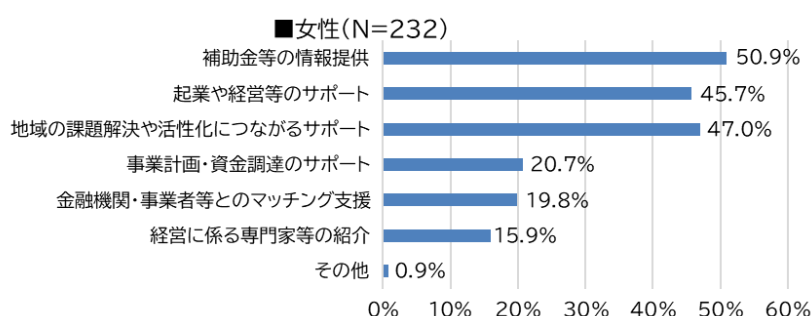
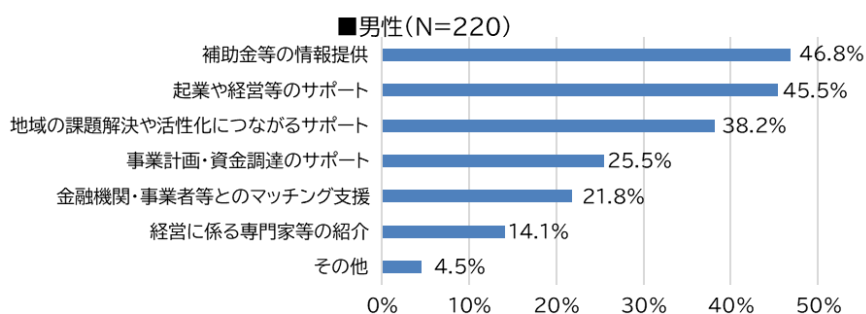
【問3】あなたが、若者の相談窓口である「だいせん Labo」に期待するサポートや、充実してほしい取組は何ですか。（3つまで）

- 全体では、「補助金等の情報提供」の割合が48.7%と最も高く、続いて「起業や経営等のサポート」「地域の課題解決や活性化につながるサポート」となっている。
- 性別で見ると、男女ともに「補助金等の情報提供」の割合が最も高く、男性は「起業や経営等のサポート」が45.5%と2番目に高くなっている。一方で、女性は「地域の課題解決や活性化に繋がるサポート」が47.0%と2番目に高く、続いて「起業や経営等のサポート」となっている。
- 年代別で見ると、16歳から39歳では、「地域の課題解決や活性化につながるサポート」の割合が47.5%と最も高い。40歳から59歳では、「起業や経営等のサポート」が49.7%。60歳以上では、「補助金等の情報提供」が54.3%と最も高くなっている。

■全体(N=462)

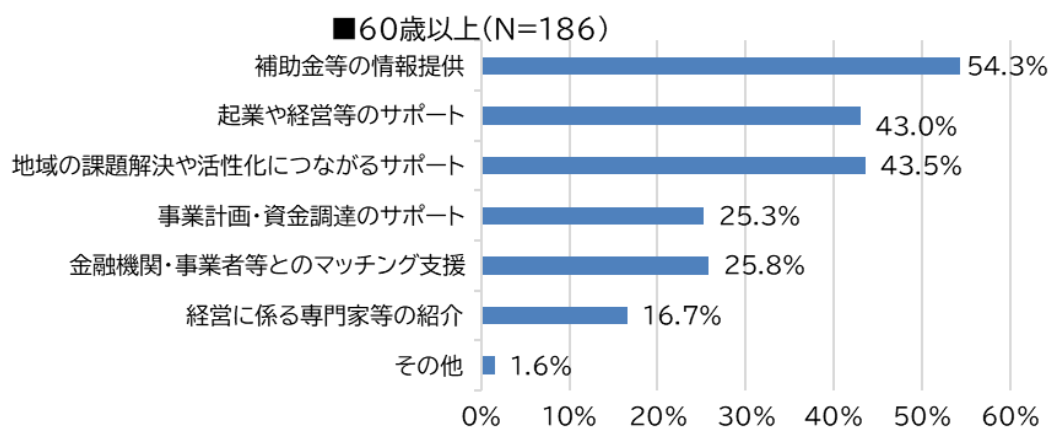
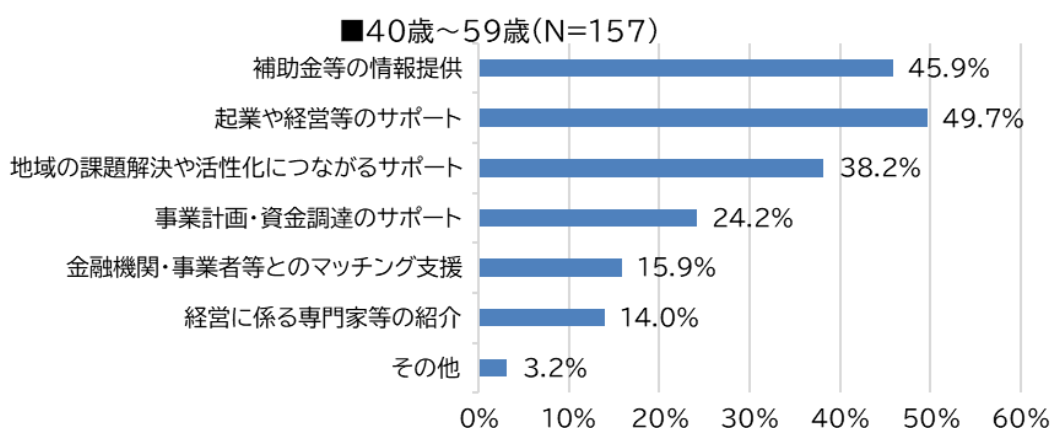
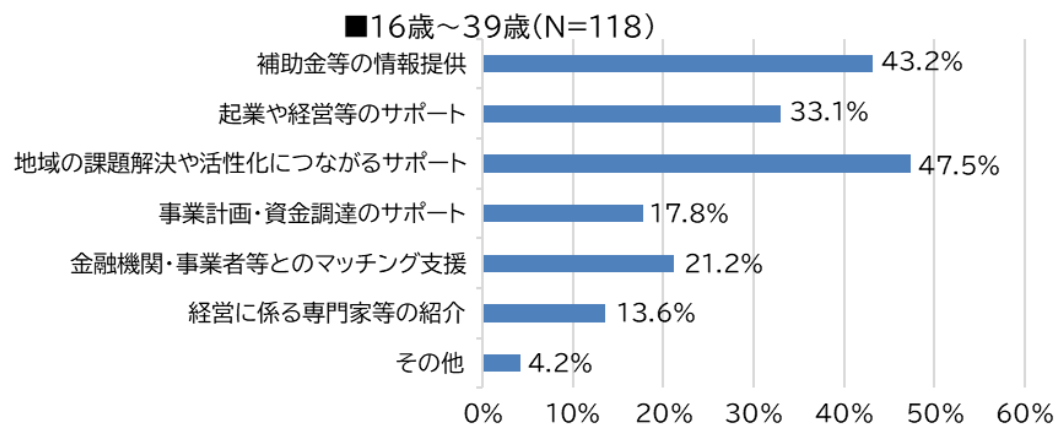


■性別



【問3】あなたが、若者の相談窓口である「だいせん Labo」に期待するサポートや、充実してほしい取組は何ですか。（3つまで）

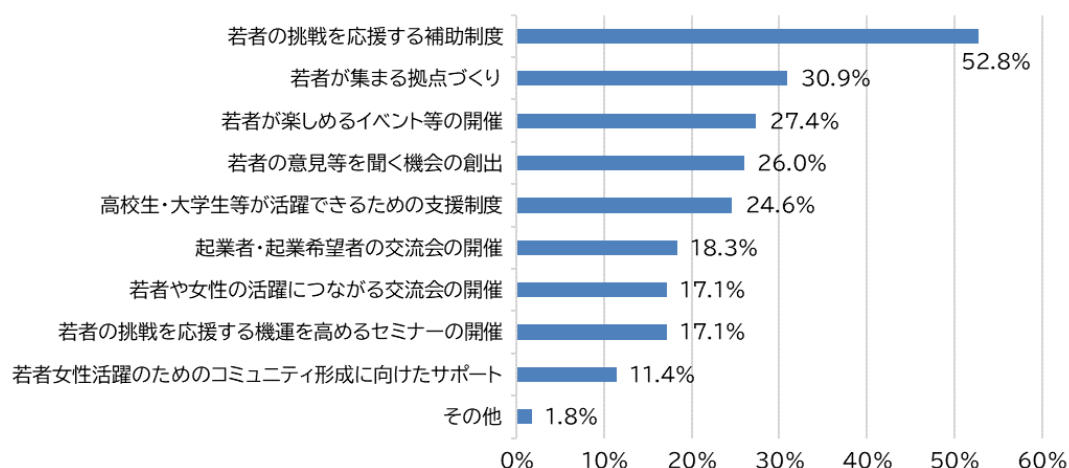
■年代別



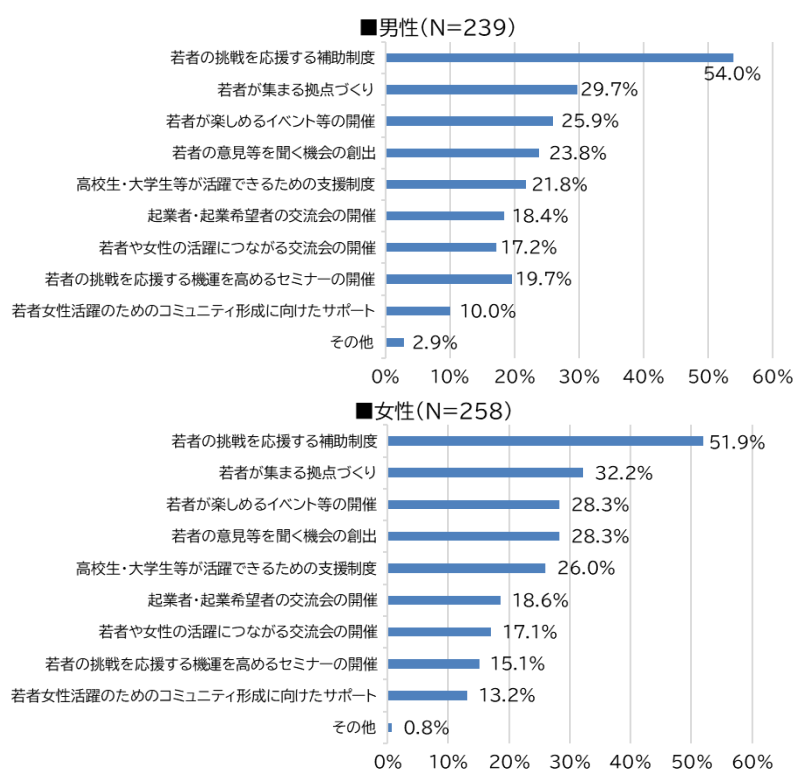
【問4】「だいせん Labo」では、相談対応のほか、若者がチャレンジしやすい環境づくりを推進するため、様々な取組を展開していますが、あなたはどのような取組が必要と考えますか。
(3つまで)

- 全体では、「若者の挑戦を応援する補助制度」が52.8%と最も高く、続いて「若者が集まる拠点づくり」「若者が楽しめるイベント等の開催」「若者の意見等を聞く機会の創出」となっている。
- 性別で見ると、男女ともに「若者の挑戦を応援する補助制度」「若者が集まる拠点づくり」「若者が楽しめるイベント等の開催」の割合が比較的高くなっている。
- 年代別で見ると、全ての年代で「若者の挑戦を応援する補助制度」が最も高くなっている。特に、40歳から59歳の回答割合は、58.7%と他の年代と比較して最も高くなっている。

■全体(N=508)

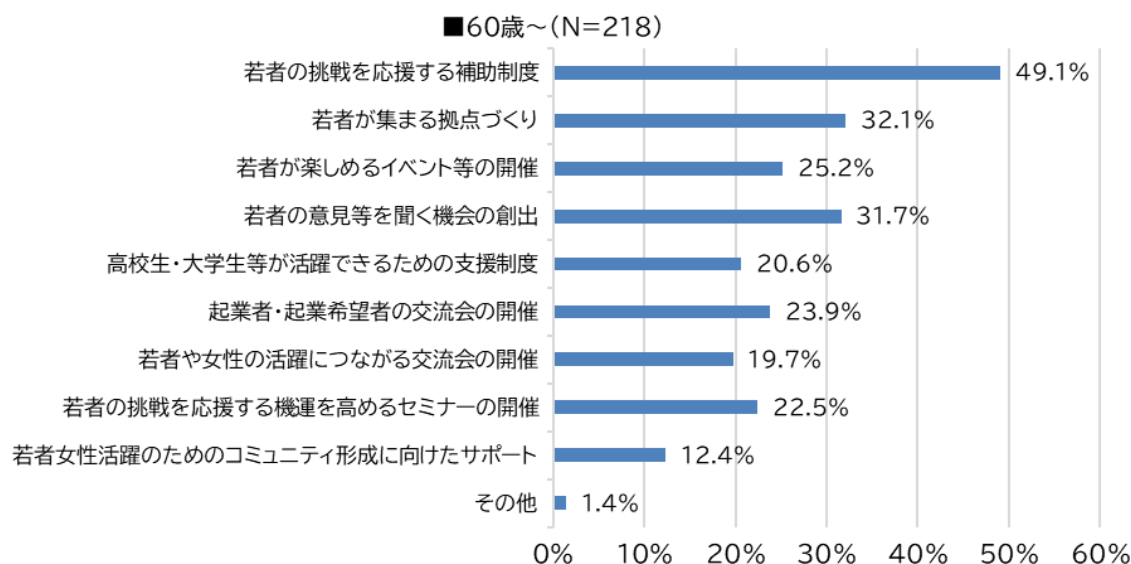
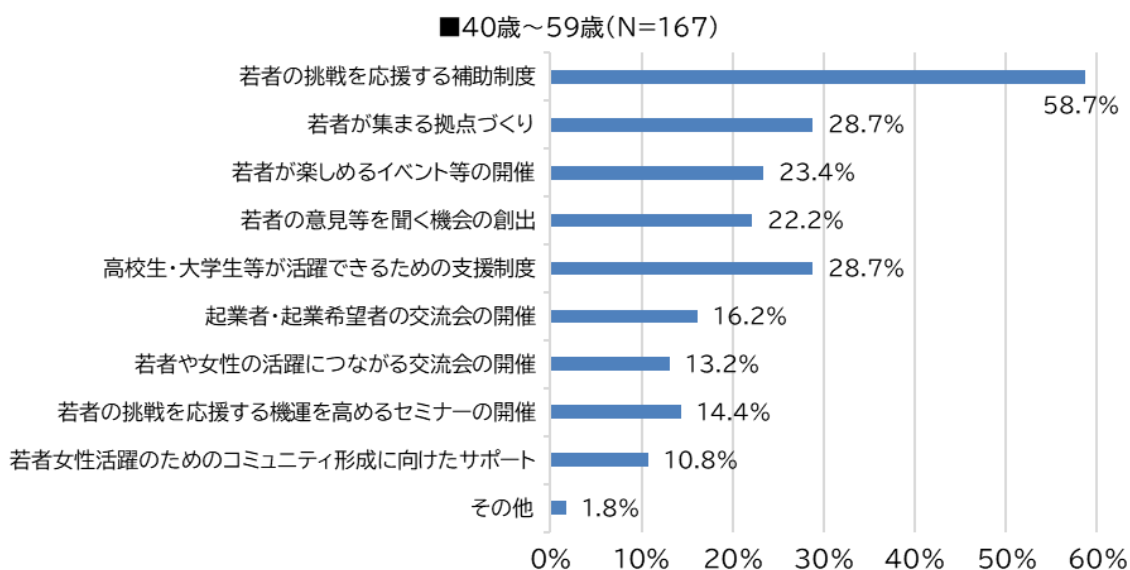
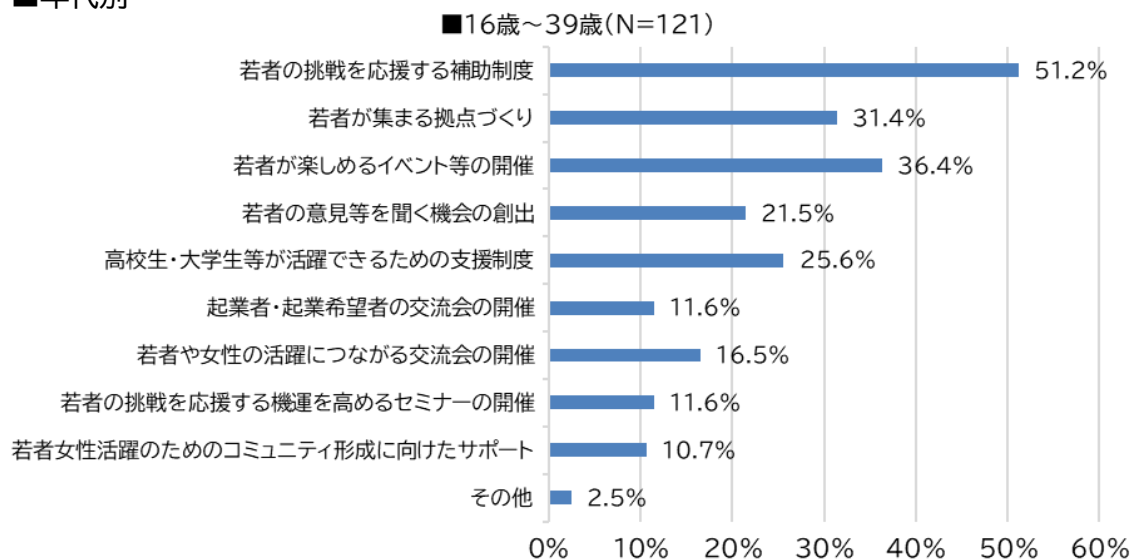


■性別



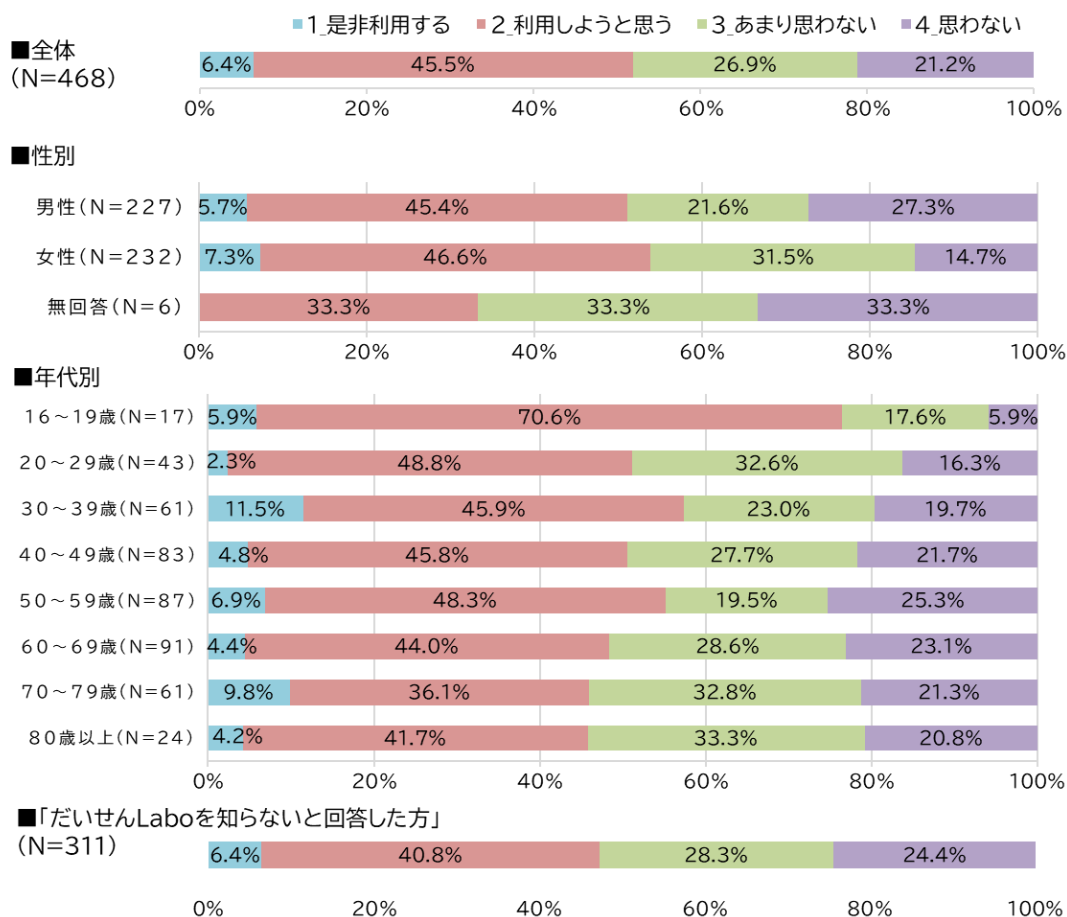
【問4】「だいせん Labo」では、相談対応のほか、若者がチャレンジしやすい環境づくりを推進するため、様々な取組を展開していますが、あなたはどのような取組が必要と考えますか。（3つまで）

■年代別



【問5】今後、起業やイベントの企画、地域課題解決の取組等を検討することになった場合、「だいせん Labo」を利用すると思いますか。

- 全体では、「是非利用する」の6.4%と「利用しようと思う」の45.5%をあわせて、利用意向のある方が5割以上を占めている。
- 性別で見ると、「是非利用する」と「利用しようと思う」をあわせた割合は、男性が51.1%、女性が53.9%となっており、大きな差が見られない。
- 年代別で見ると、「是非利用する」と「利用しようと思う」割合は、16歳から19歳が76.5%と最も高く、続いて30歳から39歳、50歳から59歳となっており、年代が上がるに連れて割合が低くなる傾向にある。
- 問1で「だいせん Labo」を知らないと回答した方のうち、「是非利用する」と「利用しようと思う」を合わせた割合は47.2%となっている。



◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 問1のだいせん Labo の認知度については、全体の7割以上の方がだいせん Labo を知らないと答えている。年代別にみると、20代で「知らない」と回答した割合が88.9%と最も高く、30代を境に年代が上がるにつれて認知度が高くなる傾向が伺える。また、地域別で見ると、神岡地域、中仙地域、南外地域が20%以下と低く、それ以外の地域では全体の認知度の29.1%を上回っている。
- 問2では、問1でだいせん Labo を知っている人と回答した方に対し、だいせん Labo を知り得た機会について質問したところ、「市の広報」の割合が74.2%と突出しており、「友人・知人」「FM はなび」「市ホームページ」「新聞」の順に約10%で続いている。個別に見ると、「市の広報」は、年代が上がるにつれて、割合が高くなる傾向にある。また、「チラシ・パンフレット」や「新聞」「FM はなび」は、60歳以上の割合が高くなっている。「SNS」は、16歳から39歳までが11.4%、40歳から59歳までが9.1%と比較的高い数値であるのに対して、60歳以上は1.4%と低い割合となっている。

以上の結果から、これまで以上にだいせん Labo の認知度向上に向けた取組が必要であり、市広報や新聞、チラシ、SNSなどの様々な媒体の活用や機会を通じて、年代や地域などに合わせた情報発信の強化に取り組んでいく。特に本プロジェクトの主要なターゲットである10代・20代に対する認知度の向上策については、重点的に取り組んでいく。

- 問3のだいせん Labo に期待するサポートについては、5つの選択項目のうち、「補助金等の情報提供」「起業や経営等のサポート」「地域の課題解決や活性化につながるサポート」の割合が高い状況となっている。だいせん Labo では、これまでの相談対応でも国・県をはじめ、財団、金融機関等、様々な団体と連携を図りながら必要とするサポートを行ってきたところであり、昨年10月には、地域おこし協力隊を任用し、相談体制の強化を図っている。引き続き、様々な相談に対応できるよう、サポート体制のさらなる充実に取り組んでいく。
- 問4のだいせん Labo に期待する取組については、選択項目のうち「若者の挑戦を応援する補助制度」の割合が突出しており、特に現行の補助制度の対象外となる40歳～59歳の回答割合が最も高い。次点となる項目を年代ごとにみると、16歳～39歳は「若者が楽しめるイベント等の開催」、40歳～59歳は「若者が集まる拠点づくり」「高校生・大学生等が活躍できるための支援制度」、60歳以上が「若者が集まる拠点づくり」となっている。

以上の結果から、現行の補助制度を適宜見直ししながら若者のチャレンジを応援する支援制度の充実を図るとともに、若者の意見や考えを伺いながら、若者が集まる場づくりなど、ニーズに合わせた新たな取組も展開する。

- 問5のだいせん Labo の今後の利用については、回答者の51.9%が利用したいと答えている。年代別に見ると、10代の割合が高く、年代が上がるにつれて割合が低くなる傾向にある。また、問1でだいせん Labo を知らないと答えた方のうち、47.2%の方が利用したいと答えている。

以上より、だいせん Labo の潜在的な利用希望者が一定数いるものと推察されることから、だいせん Labo の役割や取組を具体的に分かりやすく発信し、10代の学生をはじめとする新たな利用者の掘り起こしに取り組んでいく。

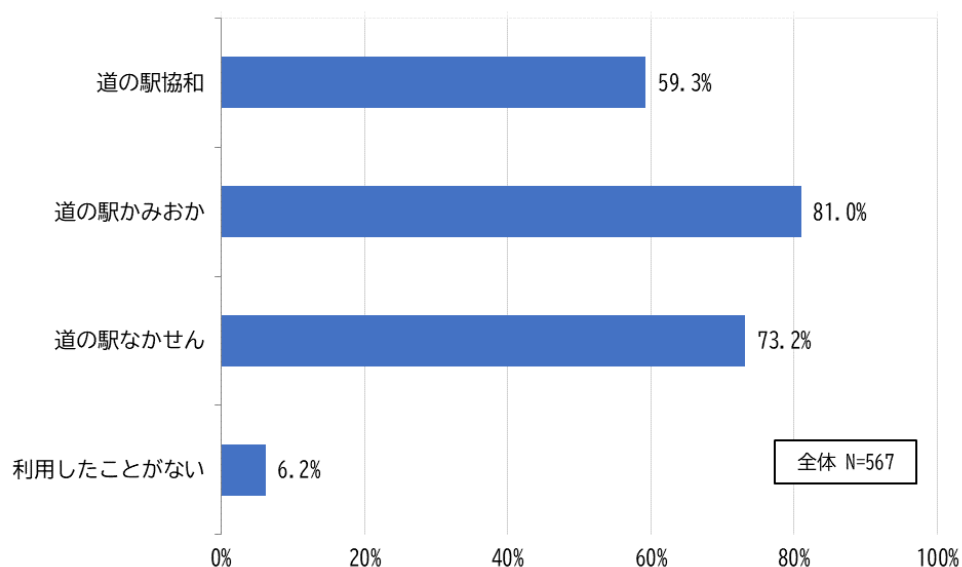
3.1.2 市内道の駅（協和・かみおか・なかせん）について （観光文化スポーツ部 観光施設課）

- ◆ 調査目的：市内3つの「道の駅」は、道路利用者の休憩施設として、また地域活性化の拠点として多くの利用があるが、施設の経年劣化や利用者ニーズの変化への対応が課題となっている。このことから市内の道の駅に対するご意見を伺い、今後の運営改善や将来的なあり方などを検討していくための参考とする。

【問1】あなたは、市内の道の駅を利用したことがありますか。（複数回答可）

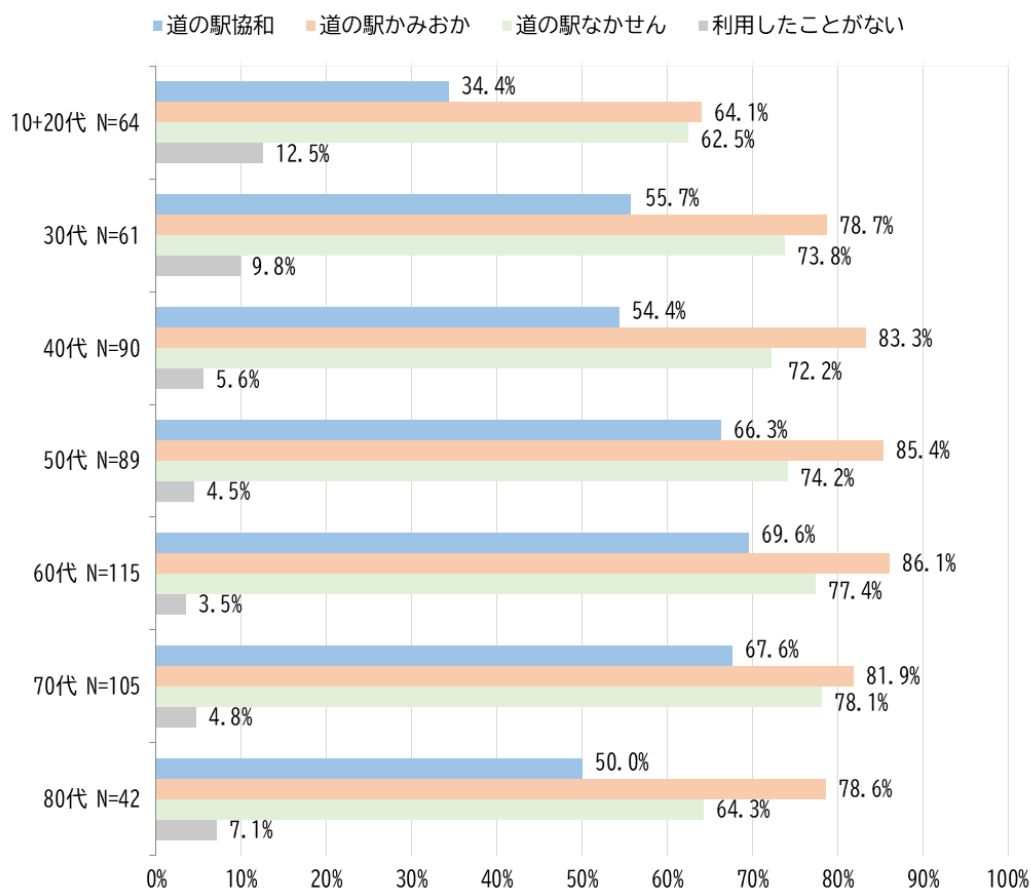
- 全体では、利用したことがある方のうち、「道の駅かみおか」と回答した方が81.0%と最も多く、次に「道の駅なかせん」と回答した方が73.2%となっている。
- 年代別では、全ての年代で「道の駅かみおか」と回答した方が最も多く、次に回答が多かったのは「道の駅なかせん」であった。
- 地域別では、居住地域にある道の駅の利用割合が高く、居住地域に隣接している道の駅の利用割合も高い傾向となっている。

■全体

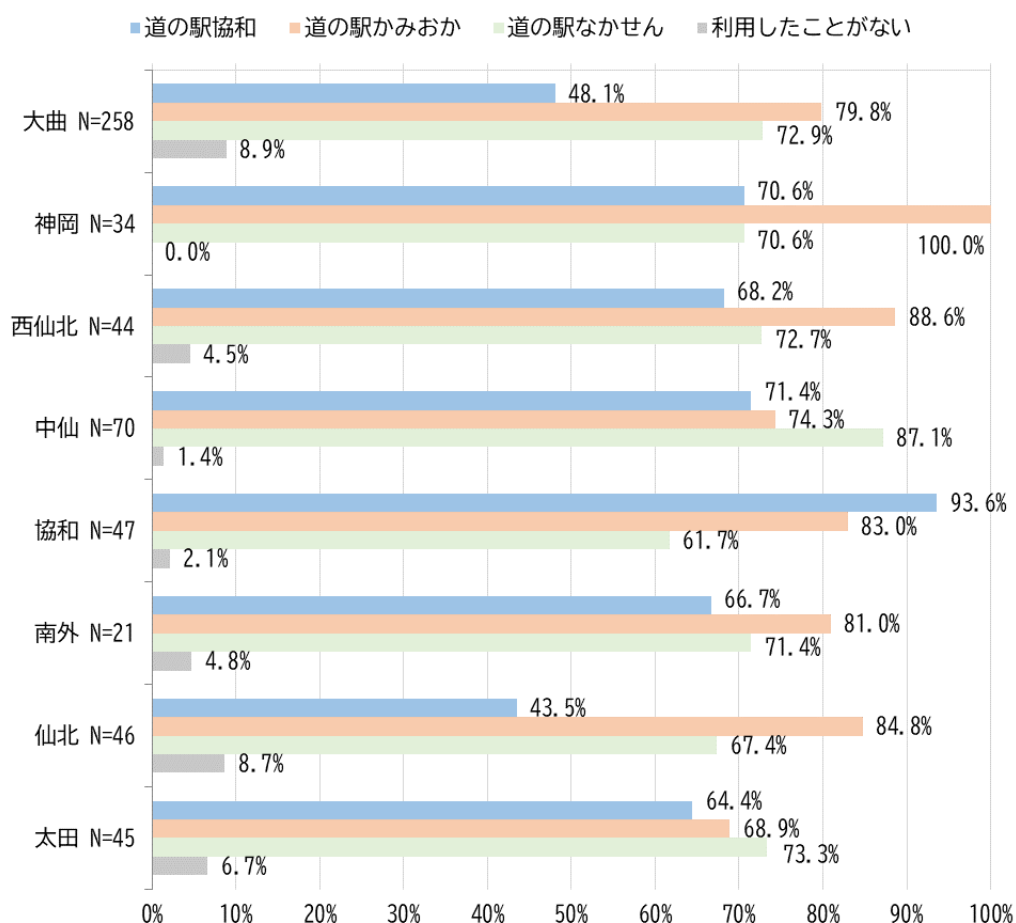


【問1】あなたは、市内の道の駅を利用したことがありますか。（複数回答可）

■年代別



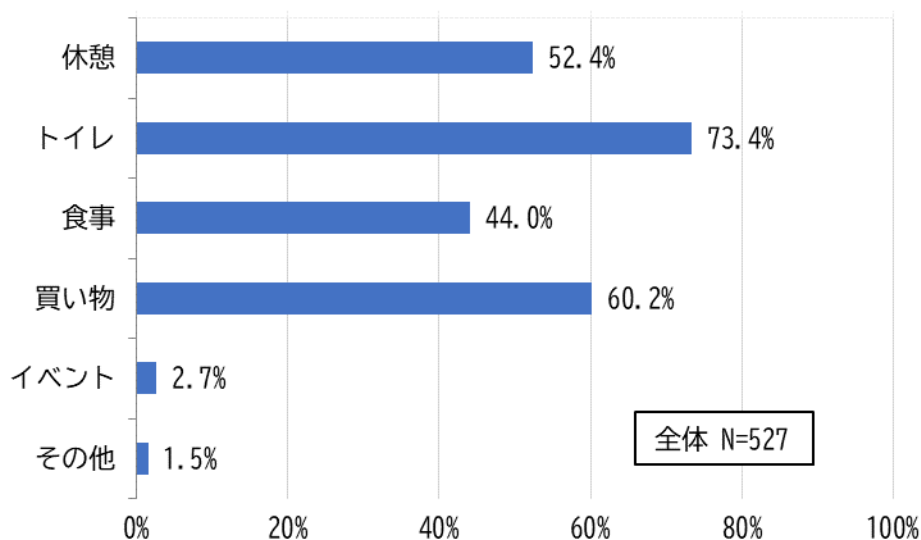
■地域別



【問2】問1で「1. 道の駅協和、2. 道の駅かみおか、3. 道の駅なかせん」を選択された方にお聞きします。道の駅を利用した時の目的は何でしたか。（複数回答可）

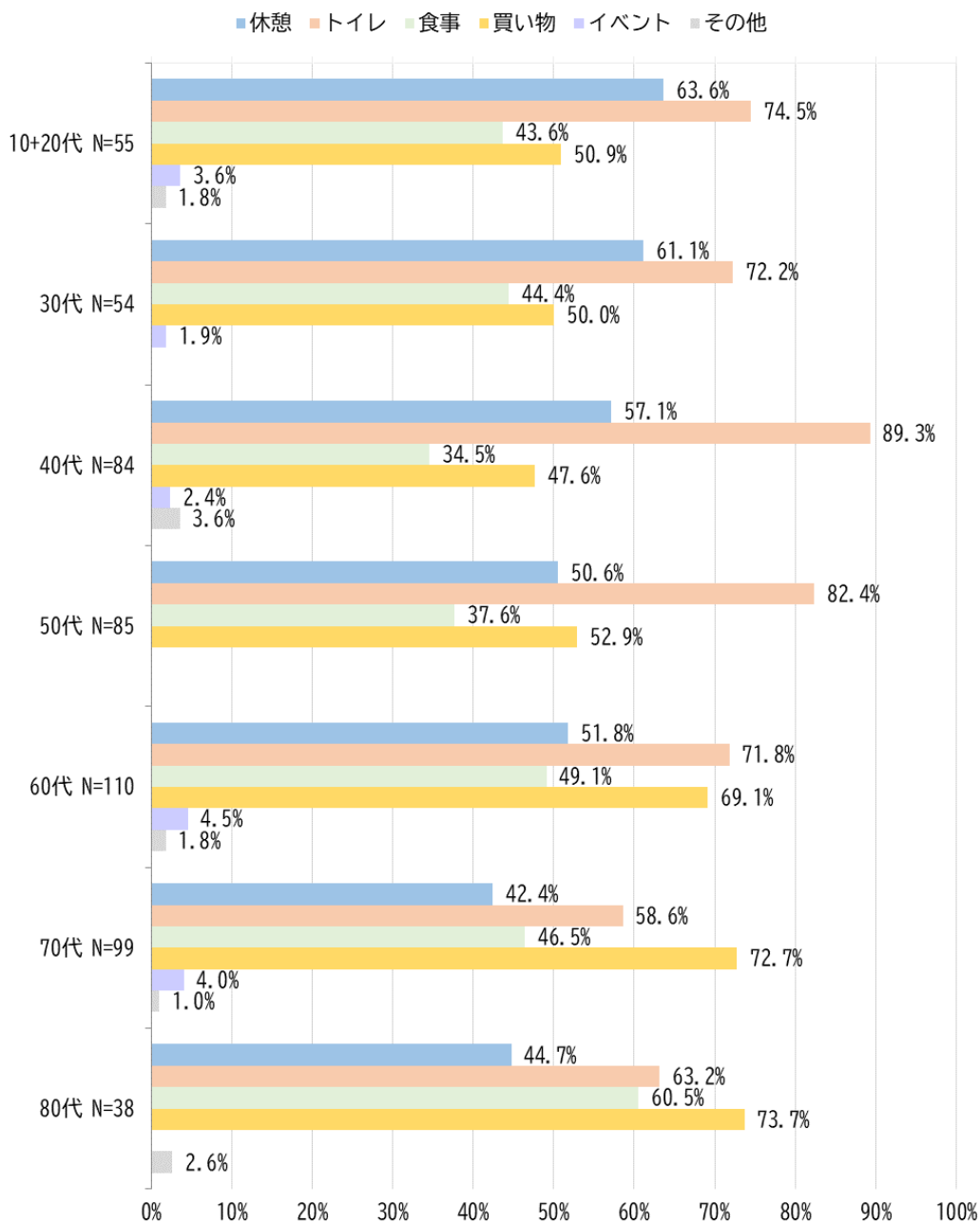
- 全体では、「トイレ」と回答した方が73.4%と最も多く、次に「買い物」と回答した方が60.2%となっている。
- 年代別では、10代から60代が「トイレ」と回答した方が最も多く、70代から80代の回答では「買い物」が最も多くなっている。また、年代が低くなるにつれて「休憩」の割合が、年代が高くなるにつれて「買い物」の割合が、それぞれ高くなる傾向が伺える。
- 地域別でも、全体と同様、「トイレ」や「買い物」の割合が高い傾向にあるが、地域によっては「休憩」や「食事」の割合が高いところもある。

■全体



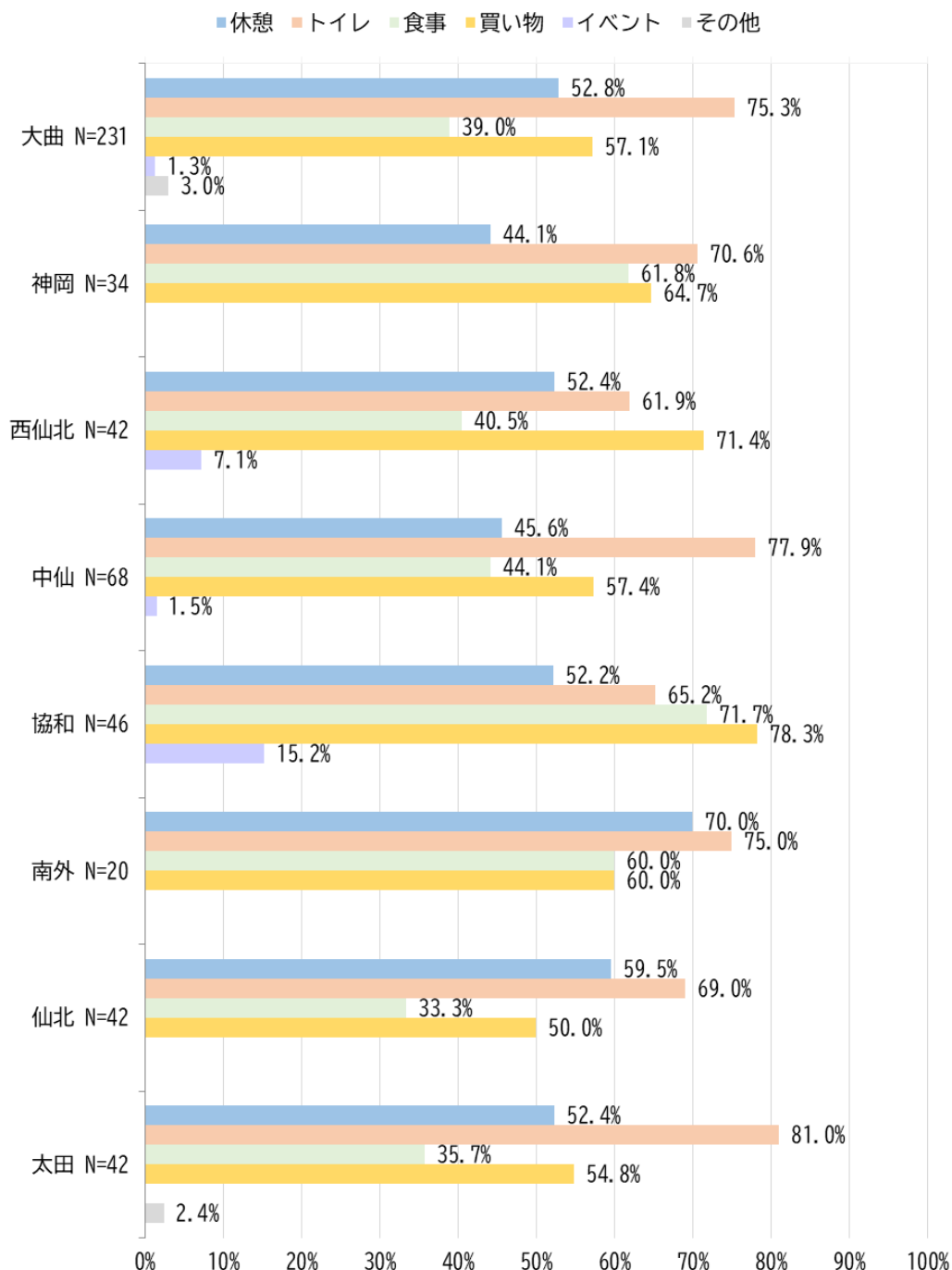
【問2】 問1で「1. 道の駅協和、2. 道の駅かみおか、3. 道の駅なかせん」を選択された方にお聞きします。道の駅を利用した時の目的は何でしたか。（複数回答可）

■年代別



【問2】問1で「1. 道の駅協和、2. 道の駅かみおか、3. 道の駅なかせん」を選択された方にお聞きします。道の駅を利用した時の目的は何でしたか。（複数回答可）

■地域別



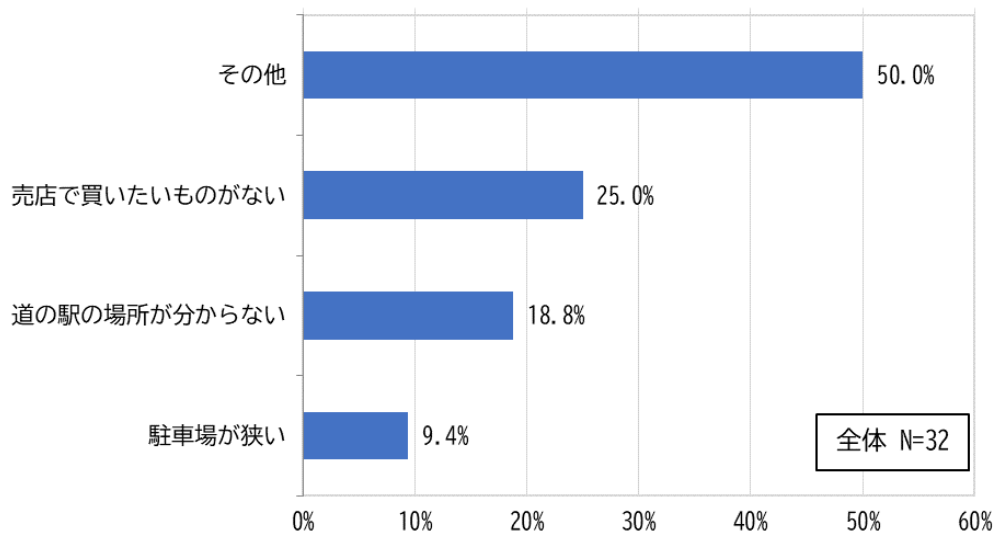
■その他の回答

- 仕事（60代／男性）
- グランドゴルフ場の利用（道の駅 協和）（70代／女性）
- 集合場所（40代／女性）
- 花きの直売出品（40代／男性）

【問3】問1で「4. 利用したことがないを選択された」方にお聞きします。
道の駅を利用したことがない理由は何ですか。（複数回答可）

○ 全体では、「その他」と回答した方が最も多く 50.0%、次いで「売店で買いたいものがない」と回答した方が 25.0%となっている。

■全体



■駐車場が狭い道の駅の回答

- 道の駅 なかせん(40代/男性、60代/男性、70代/男性)
- 道の駅 協和(10代/男性)

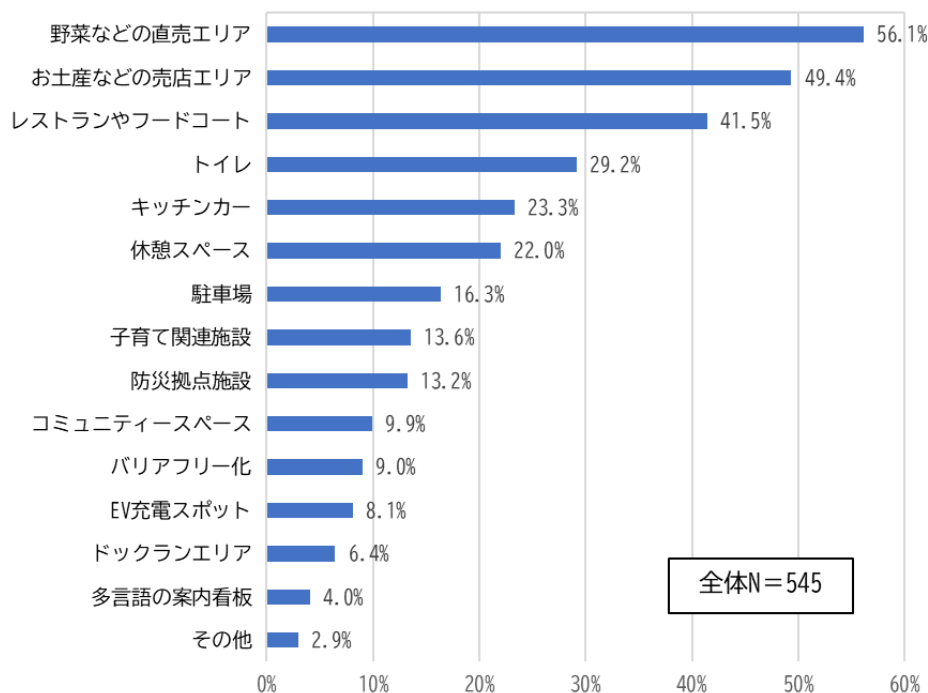
■その他の回答

- 行く用事がない。(10代/女性、20代/女性、30代/男性2人、30代/女性、50代/女性)
- 場所的によりにくい。(30代/男性)
- コンビニで足りる。(50代/女性、60代/男性)
- 目当てのものや有名なものがないと寄ろうと思わないため。(20代/男性)
- 出入りがしにくい。信号があると出入りしやすい。(40代/女性)
- 国道から見ただけでごちゃごちゃしていて車が入っていく気がしない(なかせん)。(50代/女性)
- 興味がない。(60代/男性)

【問4】道の駅で充実してほしいサービスや機能は何ですか。(複数回答可)

- 全体では、「野菜などの直売エリア」と回答した方が最も多く 56.1%、次いで「お土産などの売店エリア」で 49.4%、3 番目に多いのは「レストランやフードコート」で 41.5%となっている。

■全体



※降順で表記

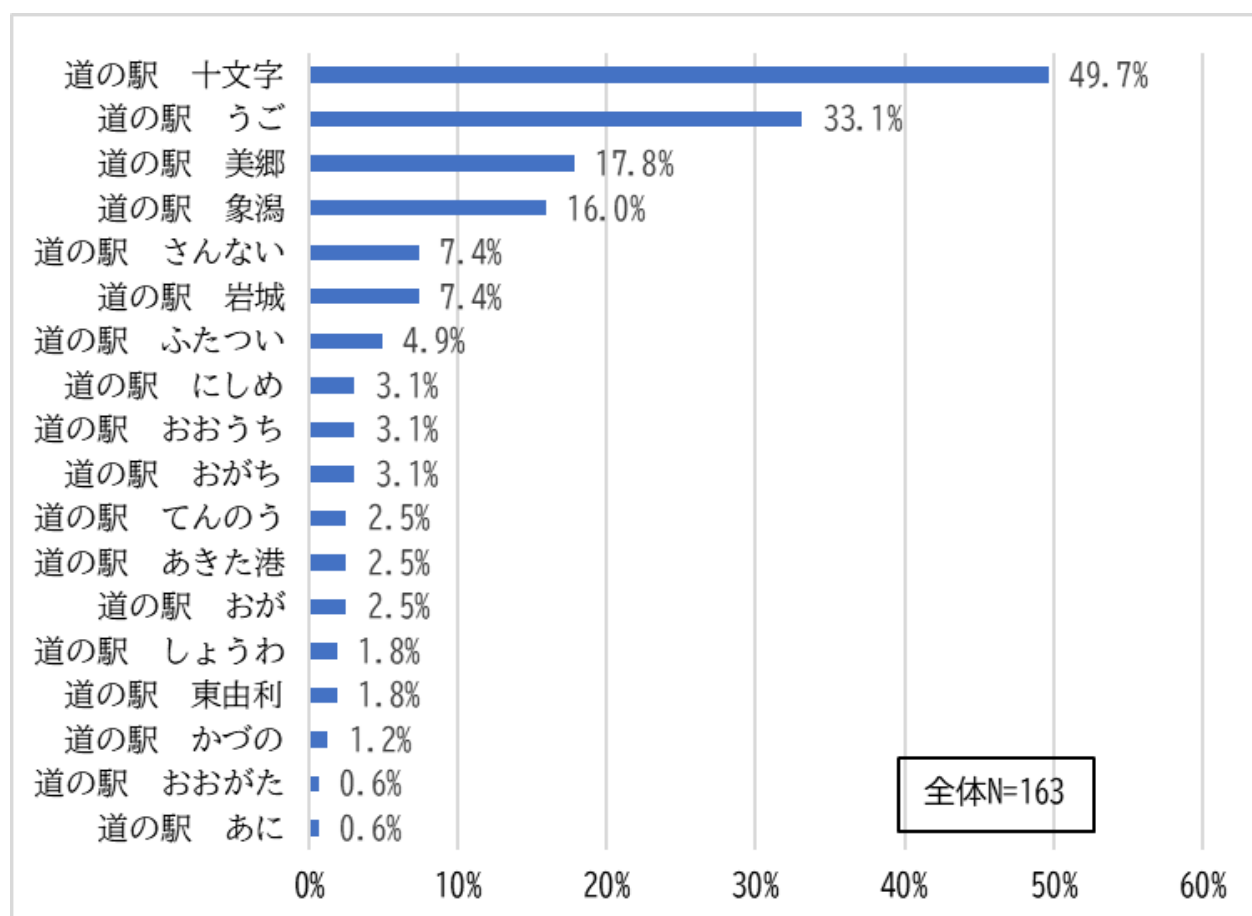
■その他の回答

- ニツ井の道の駅を参考にしたらよいと思う。(20 代／男性)
- スーパーで買える普通のお菓子もあったらうれしい。(40 代／男性)
- 大仙市の道の駅は魅力がない。(50 代／男性)
- 安くておいしい地元食材を使った食事。(60 代／男性)
- 旅行者の利便性向上。(60 代／男性)
- イベントの宣伝等あると思うが、市民に伝わっていない。(60 代／男性)
- お土産と野菜等の売り場は、同じ建物内にして欲しい(かみおか)。(60 代／女性)
- 農協出荷。(50 代／男性)
- イベントの企画、旬のものの特売。(50 代／男性)
- 売店エリアは同一事業者ではなく、定期的に入れ替えしてみてはどうか。(60 代／女性)
- 定期的なイベント開催。(50 代／男性、80 代／男性)
- そこに行かなければ買えないもの。(50 代／女性)

【問5】よく利用する市外の道の駅、または訪れてみたい道の駅があれば教えてください。
(自由記載)

■市外の道の駅（県内）

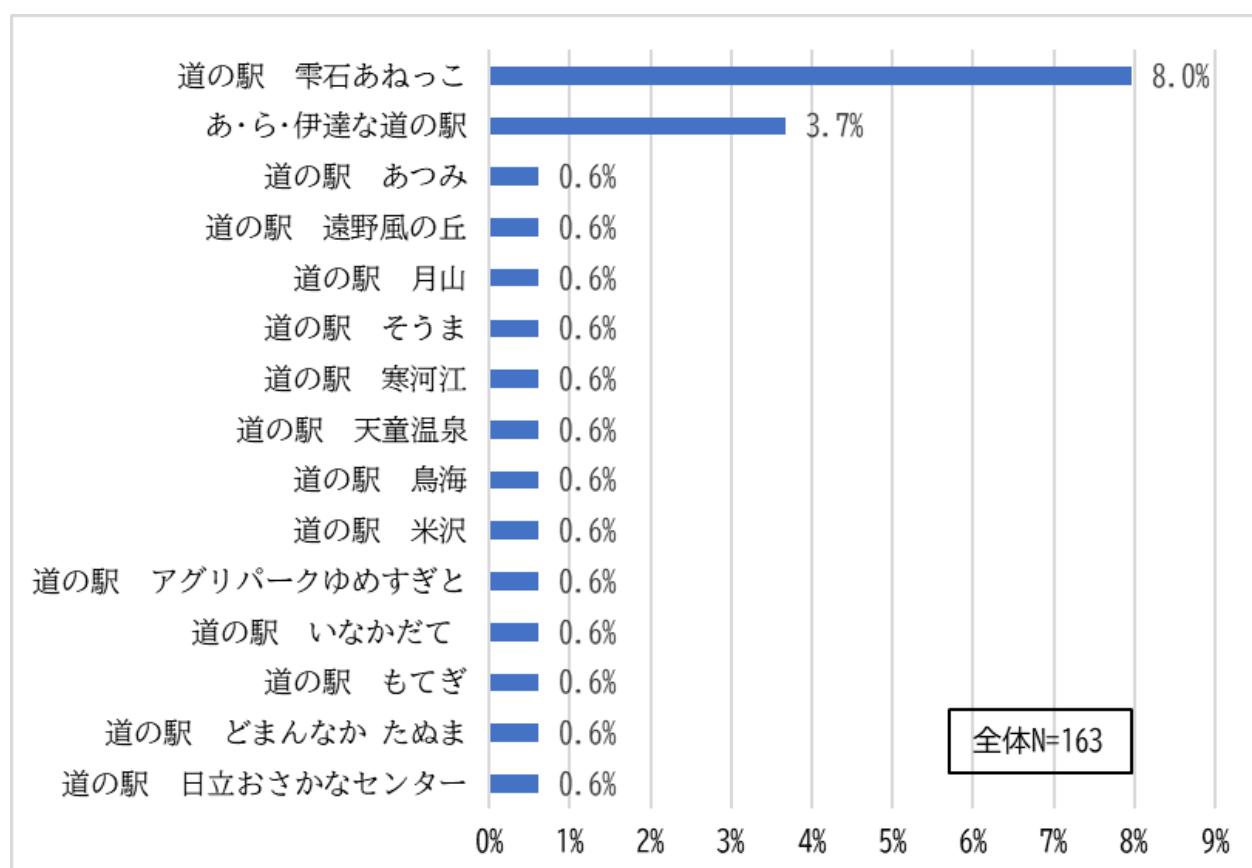
● 道の駅 十文字	81 票
● 道の駅 うご	54 票
● 道の駅 美郷	29 票
● 道の駅 象潟	26 票
● 道の駅 さんない	12 票
● 道の駅 岩城	12 票
● 道の駅 ふたつい	8 票
● 道の駅 にしめ	5 票
● 道の駅 おおうち	5 票
● 道の駅 おがち	5 票
● 道の駅 てんのう	4 票
● 道の駅 あきた港	4 票
● 道の駅 おが	4 票
● 道の駅 しょうわ	3 票
● 道の駅 東由利	3 票
● 道の駅 かづの	2 票
● 道の駅 おおがた	1 票
● 道の駅 あに	1 票



【問5】よく利用する市外の道の駅、または訪れてみたい道の駅があれば教えてください。
(自由記載)

■市外の道の駅（県外）

● 道の駅 雫石あねっこ	13 票
● あ・ら・伊達な道の駅	6 票
● 道の駅 あつみ	1 票
● 道の駅 遠野風の丘	1 票
● 道の駅 月山	1 票
● 道の駅 そうま	1 票
● 道の駅 寒河江	1 票
● 道の駅 天童温泉	1 票
● 道の駅 鳥海	1 票
● 道の駅 米沢	1 票
● 道の駅 アグリパークゆめすぎと	1 票
● 道の駅 いなかだて	1 票
● 道の駅 もてぎ	1 票
● 道の駅 どまんなか たぬま	1 票
● 道の駅 日立おさかなセンター	1 票



【問5】よく利用する市外の道の駅、または訪れてみたい道の駅があれば教えてください。
(自由記載)

■自由記述

- 雫石の道の駅は温泉があって滞在しやすい。
- 羽後とかにそばを食べに行きます。大仙でも、それ以上の魅力があると思います。
R105 南外あたりに温泉のある道の駅もいいかと思いますよ。
- 十文字道の駅 出店品、企画等を参考にしてほしい。(食堂、野菜の直売スペース等)
- いろんな所を利用します。トイレはどこもきれいでうれしいです。
地物野菜は必ず買っていきます。新鮮で珍しいものもいっぱいあります。
- にかほ市の道の駅象潟をよく利用します。理由はお土産の充実、温泉があるからです。
また、海が近く景色が良いのものよく行く理由の一つです。
- 市内の道の駅は”変わりばえ”してないので、ぜひ、リニューアルして欲しいです。
- 横手平鹿地区は、果物が所せましと並んでいて活気があります。
- 経営は難しいと思う。買い物の目玉商品が少ない。(特産品)
- 道の駅てんのうをよく利用する。トイレが多く、施設がまとまって集中している。
- 道の駅象潟ねむの丘によく行く。海が見える温泉がいいし、食事もおいしい。
道の駅うごに行ってみたい。そばやおいしいものがありそう。
- 十文字、あねっこなど新鮮野菜は利幅が少ないが、県外の人なども寄るので、リピーターとして、寄ってもらえるようになると思われる。
- 十文字、美郷は綺麗だし、見ていて楽しいので、道の駅へ出かけるといった感じで利用します。
- 道の駅美郷:建物の中が明るい雰囲気野菜、果物、漬物、山菜等、魅力的な品揃えとレイアウト。
そこで買った物の他に家から持参した物も同梱して箱詰めもしてくるので、とても助かる。
WAON が使えるのも便利。
- 道の駅てんのう:駐車場が広く、温泉もあり、芝生もあり、池もある。スカイツーで街を一望できる。
周りにはいこいの森公園があり、良い散歩コース。大曲周辺にもこのような所があれば良いと思う。
- 雫石町あねっこによく行きます。農産物が安く種類も多く買い求めやすい。
また、温泉施設も利用しやすい。
- 羽後に行きたい。全体的に特徴がない。
- 道の駅十文字は、りんご等がたくさんあるのでよく利用します。
- 十文字、山内いずれも物産が豊富だから。
- 岩手県雫石町のあねっこをよく利用します。トイレが広く綺麗で、お土産や売店、駐車場が広いとまた利用したいと思う。
- 県南地域だと、山内、十文字、羽後。そこでしか買えないものがあるから。
道の駅かみおかは施設が古いので、新しく立てなおしてほしい。

【問5】よく利用する市外の道の駅、または訪れてみたい道の駅があれば教えてください。
(自由記載)

■自由記述

- 十文字の道の駅(直売所の野菜が豊富である)。
羽後町端縫いの郷(そばをメインとした食事処が良い)。
- 十文字の道の駅。子供が遊べる道の駅があれば行きたいです(遊具など)。
イベントがあれば行きます。
- 道の駅 てんのう:一日いてもとにかく楽しい。温泉自然をいかした遊歩道などとても工夫されている。
道の駅 おが:お土産が充実している。
- 「道の駅てんのう」醤油の焼きおにぎりがとてもおいしく必ず買います。また野菜、果物がとても豊富で
買い物をしていても楽しいです。温泉が隣にあるのもいいですね。
- 雫石あねっこ道の駅、駐車場は広いし、直売所、売店エリアに秋田のお土産もあり、さらに隣に温泉が
あるので利用する回が多い。
- 美郷:大仙市~仙北市~美郷圏内では一番いい。十文字:いつ訪れても充実している。
- 羽後、十文字、美郷、それぞれ特産品があり、品数が豊富。
- 今年の2月から毎週水曜日、午前、十文字の道の駅へ行ってます。(NHKの放映で知った。)高齢者
の歌声タイムに参加しています。
- 十文字の道の駅、雄勝の道の駅→ヤギや子供の遊び場があって楽しい。羽後の道の駅→食事ができ
る他、ジェラートが食べられる。あら伊達な道の駅→ロイズが入ってる、ピアノや展望台があって楽し
い。
- 道の駅 ふたついで:きみまちの里広々としていて清潔で快適でした。トイレ休憩に立ち寄ってもゆっくり
でき特産品も新鮮にありました。キッズコーナーも充実していました。
- 道の駅うご。(行ったことは無いが活気が有ると聞いています。)
- 道の駅羽後、道の駅十文字。(果物や野菜を購入する目的で利用している)
- 道の駅「岩城」:活魚販売所があるから、またすぐに海に足を運べるから。
- 道の駅なかせんは、階段があり、行きにくいと思います。設計のミスだと思われますので、改築するこ
ととかは出来ないのでしょうか。ご検討くださいますようお願いします。
- 羽後、山内は食事目的で行く。
- 道の駅が目的地ではないので、ありません。
- 何処とは分からないが、道の駅なかせんには八乙女温泉のように温泉か足湯があったらいい。
- 羽後町の道の駅は蕎麦が美味しいので、時折行く。
- 温泉付きの道の駅。(近くに遊具があれば良し)

◆調査結果まとめ及び今後の方針

- 問1の道の駅利用状況について、全体では、「道の駅かみおか」と「道の駅なかせん」が7割超と高い割合となった一方、「道の駅協和」は6割を切っているほか、6.2%の方は利用したことがないと答えている。また、地域別で見ると多くの地域で、居住地域にある、あるいは隣接している道の駅の利用割合が高い傾向となった。こうしたことから、市民が居住地周辺の道の駅のみならず、市内各道の駅を利用してみたいと思えるよう、また市外・県外の多くの方から訪れていただけるよう、情報発信のさらなる強化に取り組んでいく。
- 問2の道の駅を利用する目的について、全体では、「トイレ」と「買い物」の割合が高い結果となった。また、地域別に見ると、居住地近くに道の駅がある地域では「食事」の割合も高くなっていることが分かった。年代別で見ると、10代～40代は「トイレ」や「休憩」の割合が高く、ドライバーの休憩所として利用されていることが分かった。今後は、国土交通省が道の駅の新たなステージとして2020年より進めている「地方創生・観光を加速する拠点」となるよう、「買い物」や「食事」などの道の駅としての魅力を一層高める取組の検討、地域の観光資源・特産品の情報発信の強化など、市外はもちろんのこと国内外の観光客をさらに呼び込む仕組みづくりを進めていく。
- 問3の道の駅を利用したことがない方に伺った、その理由について、「その他」と回答した方が50.0%と最も多く、具体的には「行く用事がない」「コンビニで足りる」との回答であった。また、「売店で買いたいものがない」や「道の駅の場所が分からない」との回答も一定数あることが分かった。これを踏まえ、ニーズを捉えた道の駅ならではの「食事」「買い物」が提供できるような創意工夫や、発信する情報の充実に取り組んでいく。
- 問4の道の駅で充実してほしいサービスについて、「野菜などの直売エリア」や「お土産などの売店エリア」「レストランやフードコート」の割合が高く、こうしたニーズを踏まえ売店エリアの拡充や地元食材を使ったメニュー開発等を検討していく。
- 問5のよく利用する市外の道の駅、または訪れてみたい道の駅について、県内では「道の駅 十文字」や「道の駅 うご」、県外では「道の駅 雫石あねっこ」や「あ・ら・伊達な道の駅」の回答が多かった。「道の駅 十文字」は「野菜などの直売エリア」が、「道の駅 あねっこ」は「レストランやフードコート」が充実しており、これらは問4で上位項目に挙げられるサービスが備わっている道の駅であるため、回答割合が高かったものと推察される。今後は、人気のある道の駅の成功要因を参考にしつつ、地域の特色を生かした独自のコンセプトのもと、より良い道の駅の運営を目指して必要な取組をより一層推進していく。

3.1.3 市内スキー場（大曲ファミリー、協和、大台）について （観光文化スポーツ部 スポーツ振興課）

- ◆ 調査目的：健康増進や観光、スポーツの振興を図りながら市外からの交流人口拡大を図るため、市内に3つのスキー場を設置している。この調査では、市民の皆さまの市内スキー場に対するご意見を伺い、今後の運営改善や将来的なあり方などを検討していくための参考とする。

【問1】あなたが、よく利用する市内のスキー場はどこですか。（複数回答可）

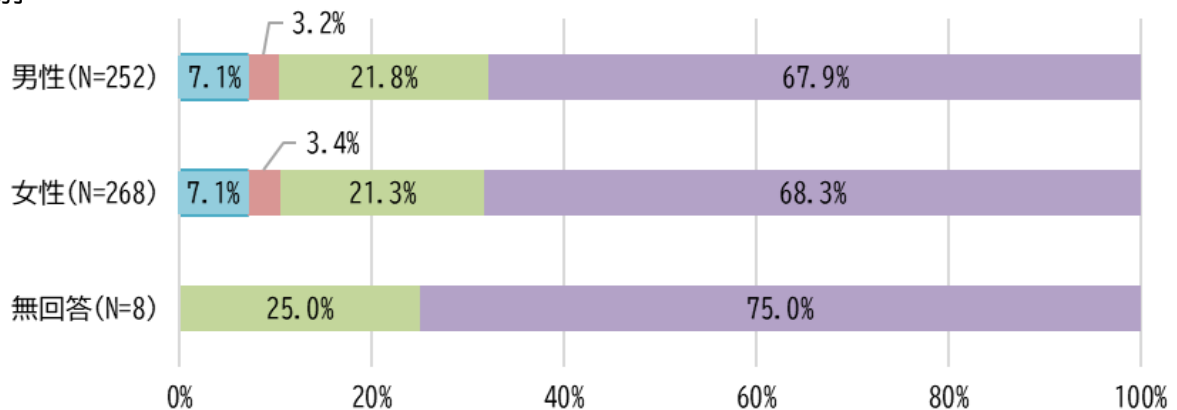
- 全体では「大台スキー場」と答えた方が21.3%と最も高く、次いで「大曲ファミリースキー場」の6.9%、「協和スキー場」の3.4%の順となっている。なお、回答者の約7割が「ほとんど利用したことがない、利用したことがない」となっており、冬期間における市内スキー場の利用状況は低い傾向にある。
- 性別では、男性、女性による差異はなく、利用状況は総じて低い傾向にある。
- 年代別では、「16～19歳」で「大台スキー場」が最も多い52.9%となっており、次いで「協和スキー場」の17.6%、「大曲ファミリースキー場」の回答は無しとなっている。比較的初心者向けのコースで小さい子供も楽しめる「大曲ファミリースキー場」については、「30～39歳」の利用率が年代別で最も高く、18.6%となっている。
- 地域別では、どの年代も自身の居住地のスキー場、または居住地から近いスキー場を利用する傾向にある。

■全体

■大曲ファミリースキー場 ■協和スキー場 ■大台スキー場 ■ほとんど利用したことがない、利用したことがない

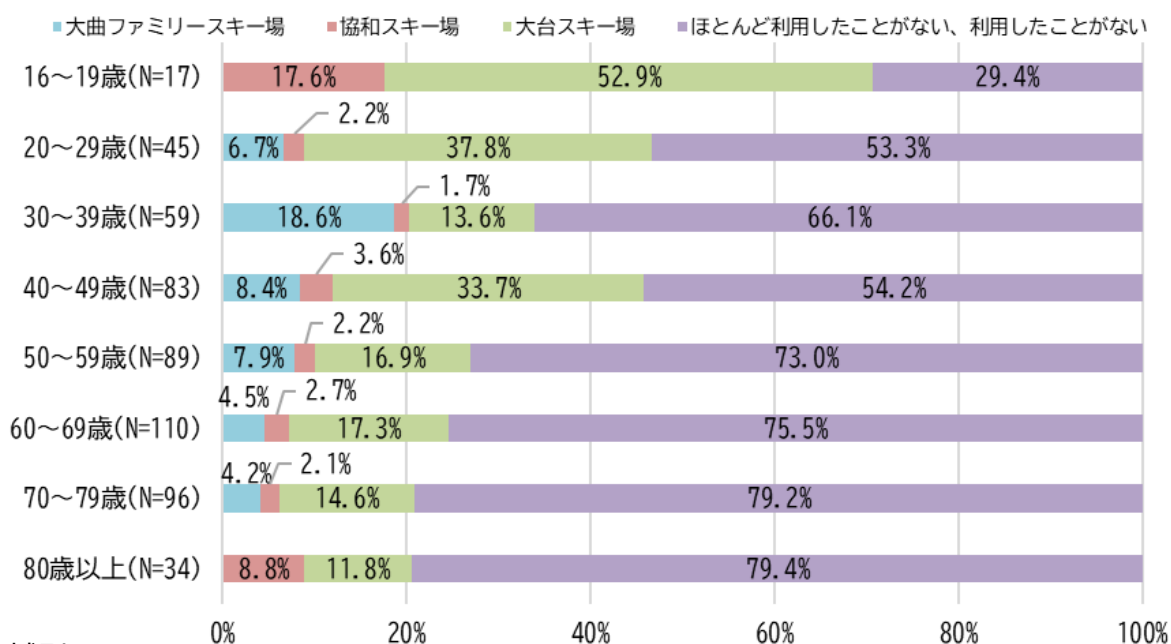


■性別

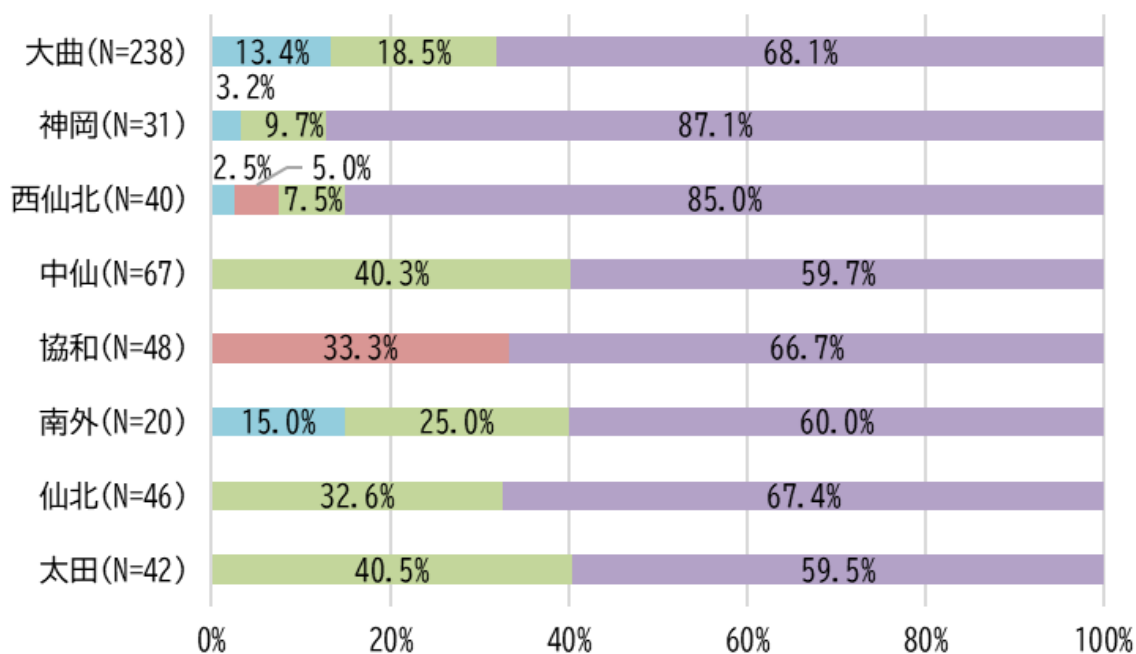


【問1】あなたは、よく利用する市内のスキー場はどこですか。（複数回答可）

■年代別



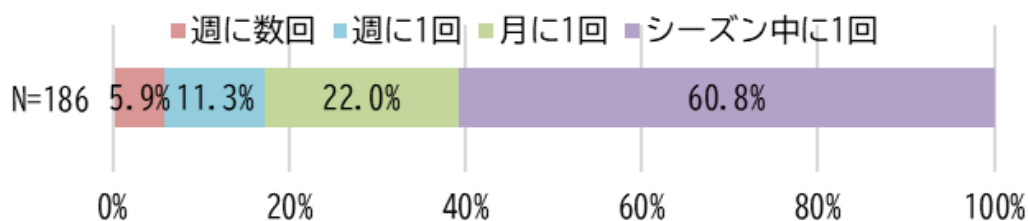
■地域別



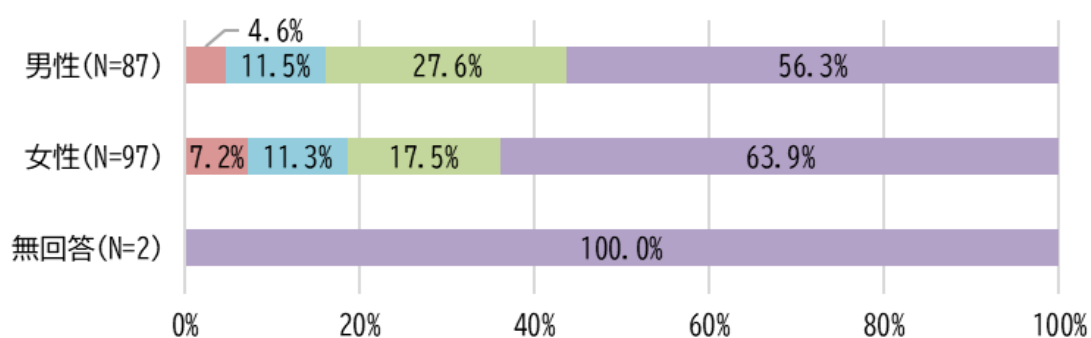
【問2】問1で「1. 大曲ファミリースキー場、2. 協和スキー場、3. 大台スキー場を選択された」方にお聞きます。あなたは、シーズン中にどのくらい利用しますか。

- 全体では「シーズン中に1回」と答えた方が60.8%と最も高く、次いで「月に1回」の22.0%、「週に1回」の11.3%、「週に数回」の5.9%の順となっている。
- 性別では、女性の方が「週に数回」と答えた割合が男性よりも2.6ポイント高い結果となっている。
- 年代別では、10代～20代においては「シーズン中に1回」と答える割合が75%以上となっており、若者のスキー場の利用率が低い傾向にある。「小・中学生ウィンタースポーツ推進事業」の対象となる小学校1年生から中学校2年生までの子供がいる、主に30代～40代のファミリー層については、他の年代と比較すると「月に1回」と答える割合が高い傾向にある。「週に数回」と答えた方で最も多い年代は「80歳以上」で、「週に1回」と答えた方で最も多い年代は「70～79歳」となっている。
- 地域別では、居住地にスキー場がある地域では「週に数回」または「週1回」と答えた方の割合が、他の地域よりも高い傾向にある。

■全体

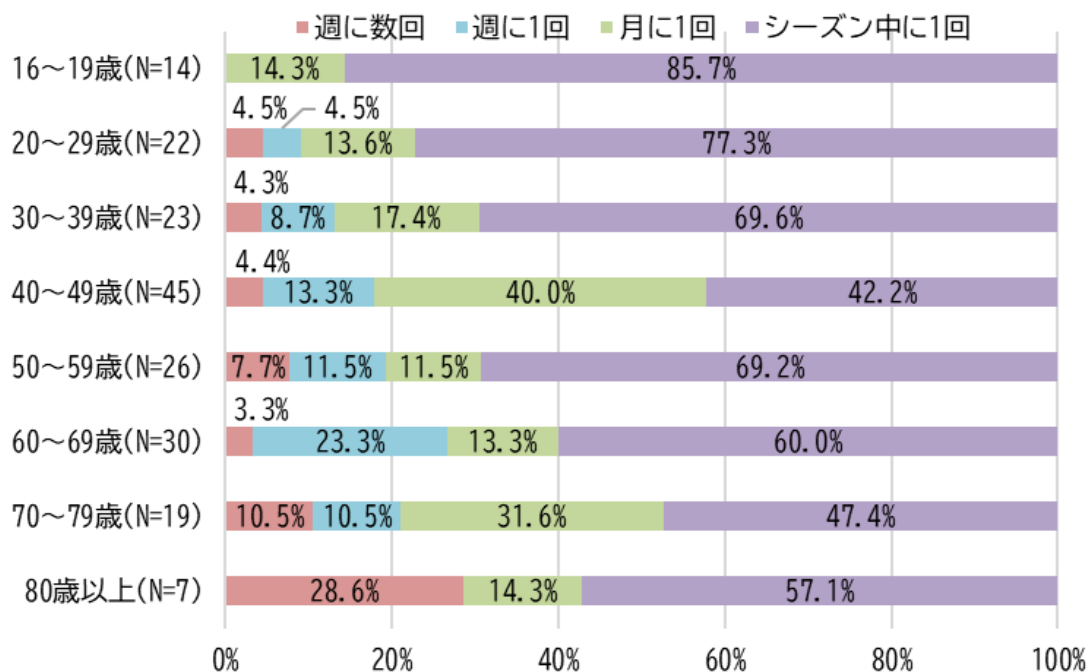


■性別

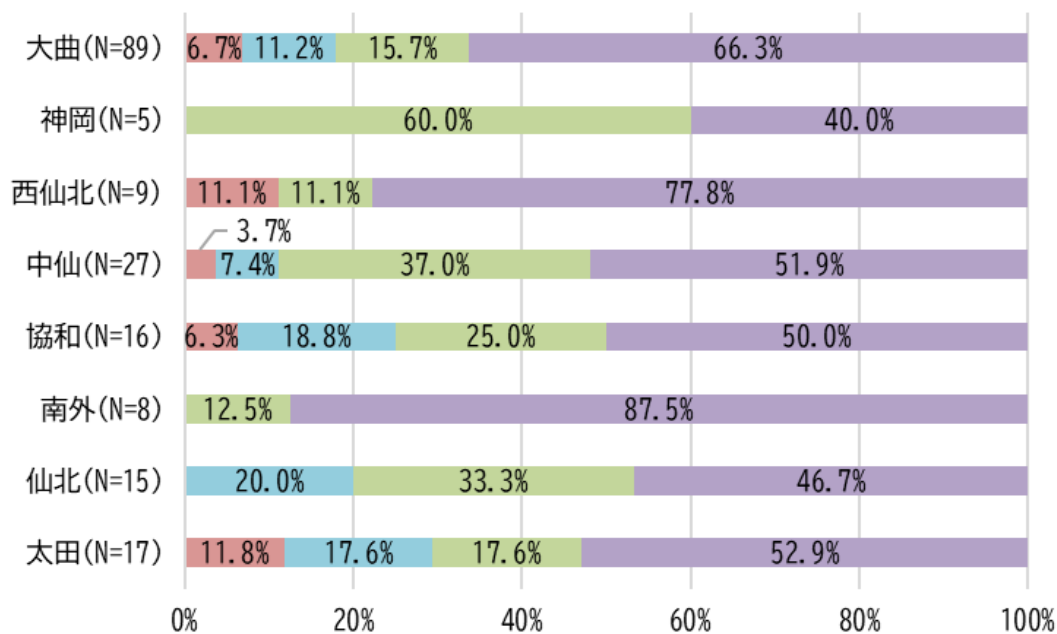


【問2】問1で「1. 大曲ファミリースキー場、2. 協和スキー場、3. 大台スキー場を選択された」方にお聞きます。あなたは、シーズン中にどのくらい利用しますか。

■年代別



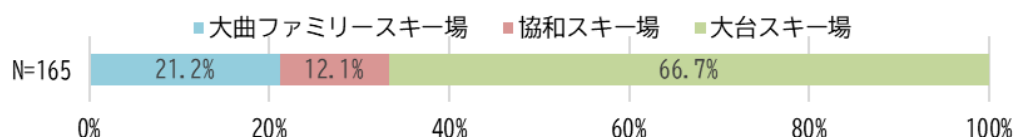
■地域別



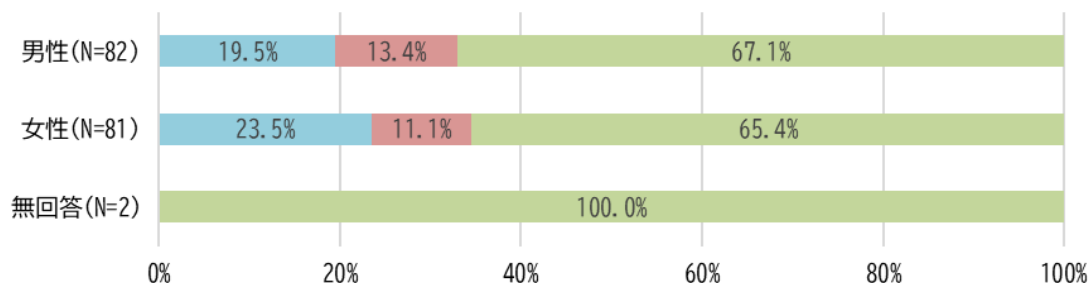
【問3】問1で「1. 大曲ファミリースキー場、2. 協和スキー場、3. 大台スキー場を選択された」方にお聞きます。今後も利用したい市内のスキー場はどこですか。

- 全体では「大台スキー場」が66.7%と最も高く、次いで「大曲ファミリースキー場」の21.2%、「協和スキー場」の12.1%の順となっている。
- 性別では、男性、女性でほぼ同じ結果となっている。
- 年代別では「16～19歳」は「大台スキー場」と回答した方が100%となっており、「60～69歳」は「大曲ファミリースキー場」、「80歳以上」では「協和スキー場」と回答した方が最も多い結果となっている。
- 地域別では、大曲、神岡、南外地域で居住地から近い「大曲ファミリースキー場」と回答した割合が他の地域と比較して高いものの、協和地域以外は最も割合が高いのは「大台スキー場」となっている。協和地域は「協和スキー場」と回答した割合が100%である。

■全体

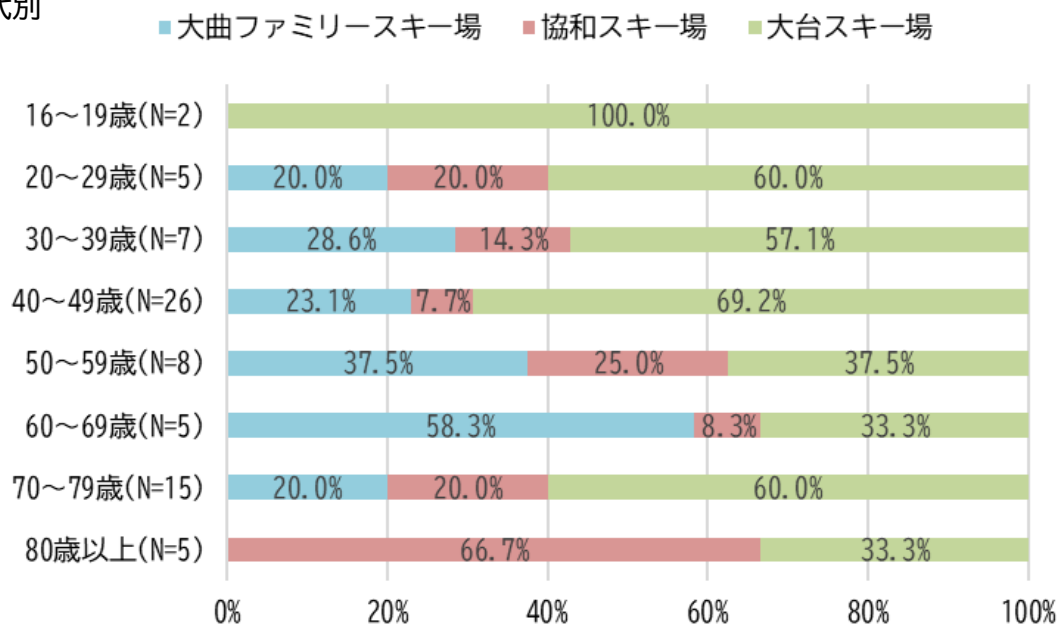


■性別

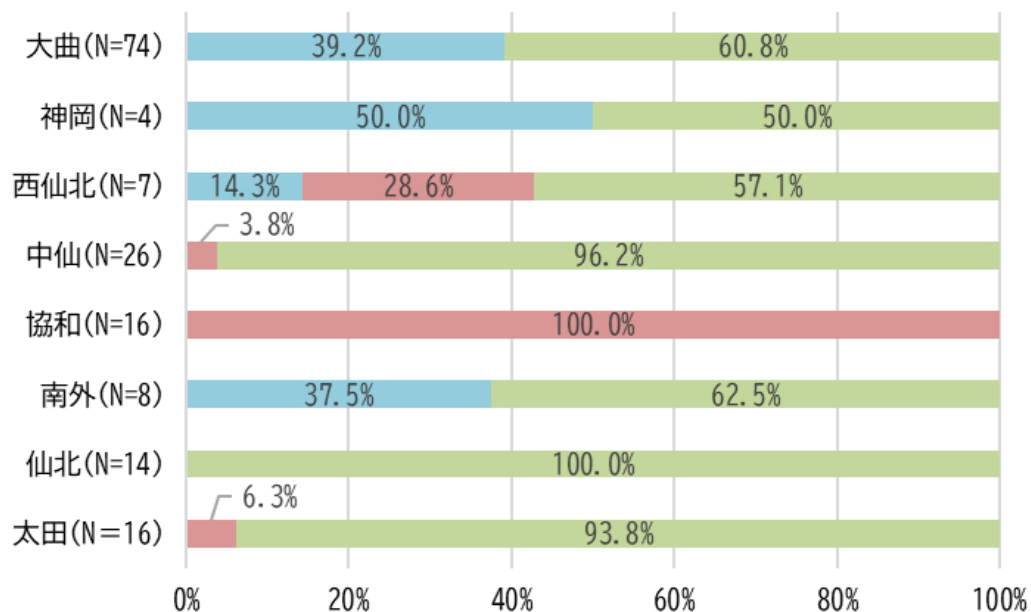


【問3】問1で「1. 大曲ファミリースキー場、2. 協和スキー場、3. 大台スキー場を選択された」方にお聞きます。今後も利用したい市内のスキー場はどこですか。

■年代別



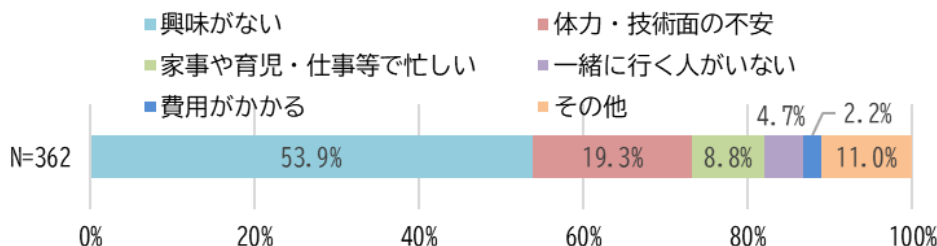
■地域別



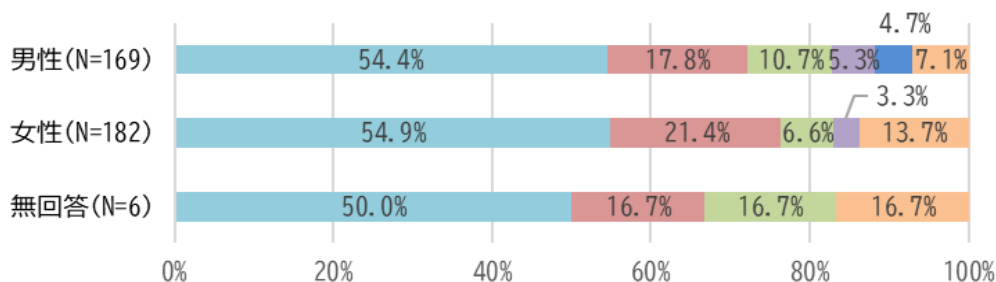
【問4】 問1で「4. ほとんど利用したことがない、利用したことがない」方にお聞きします。市内スキー場に行かなかった理由は何ですか。

- 全体では「興味がない」が53.9%と最も高く、次いで「体力・技術面の不安」の19.3%、「その他」の11.0%、「家事や育児・仕事等で忙しい」の8.8%、「一緒に行く人がいない」の4.7%、「費用がかかる」の2.2%の順となっている。
- 性別では「家事や育児・仕事等で忙しい」と答えた割合が、女性よりも男性の方が4.1ポイント高い結果となっている。
- 年代別では、10代以外は「興味がない」が最も高くなっている。30～40代のファミリー層では「興味がない」に次いで「家事や育児・仕事等で忙しい」の割合が、50代以上では「体力・技術面の不安」の割合が、2番目に高くなっている。
- 地域別では、居住地にスキー場がある地域（大曲、協和、太田地域）であっても「興味がない」と答えた方が50%以上を占める結果となっている。

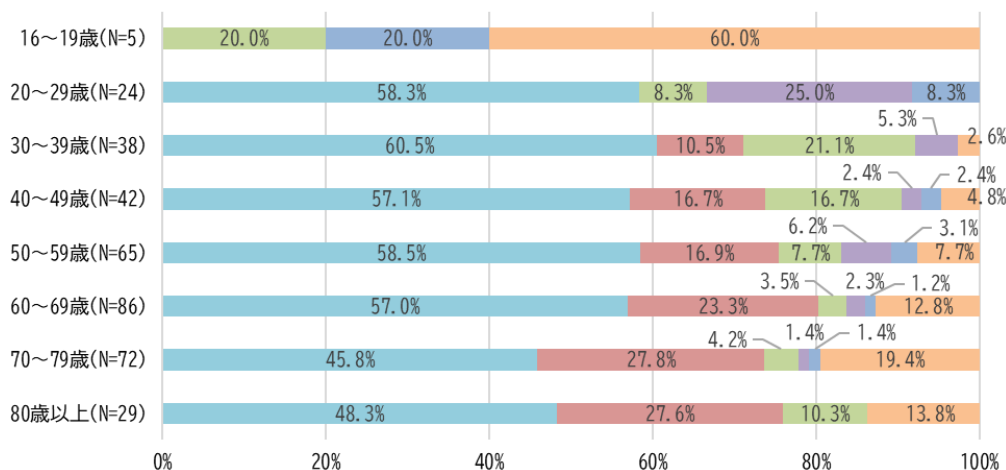
■全体



■性別

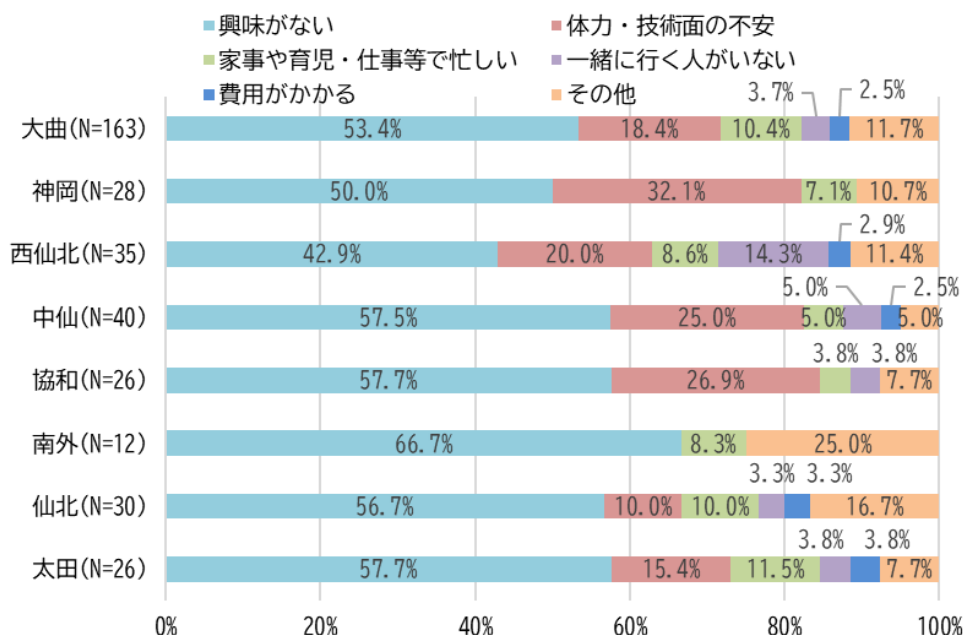


■年代別



【問4】問1で「4. ほとんど利用したことがない、利用したことがない」方にお聞きします。市内スキー場に行かなかった理由は何ですか。

■地域別



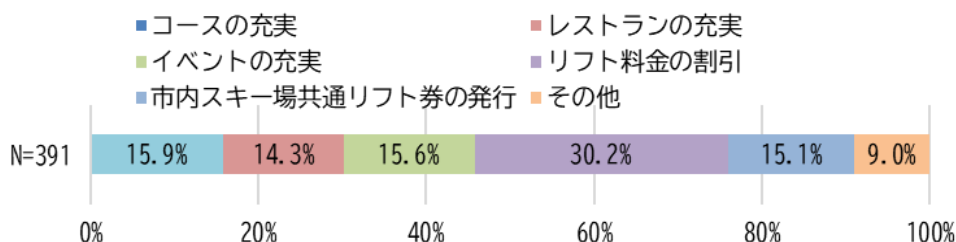
～その他の意見（要旨）～

- ・学業。（10代女性）
- ・学校の授業でしか行ったことがない。（10代男性）
- ・行く時間がない。（10代女性）
- ・苦手なので行こうと思わない。（30代女性）
- ・子どもが小さい頃はファミリーと協和へよく行った。（40代男性）
- ・スキーなどをやる機会がない。（40代女性）
- ・大人になってからはなかなか足が向かない。（40代女性）
- ・積雪状況等の問題。（50代女性）
- ・子どもが大きくなったので行くことはない。（50代女性）
- ・スキーしないため。（50代女性）
- ・中学まではスキーをしていたが、社会人になってやめた。（50代男性）
- ・疾患があるためスキーが出来なくなった。（60代女性）
- ・リフトが利用しづらい。（70代男性）
- ・昔は大曲スキー場に子どもと行った。（70代女性）
- ・高齢のため。（80歳以上女性）

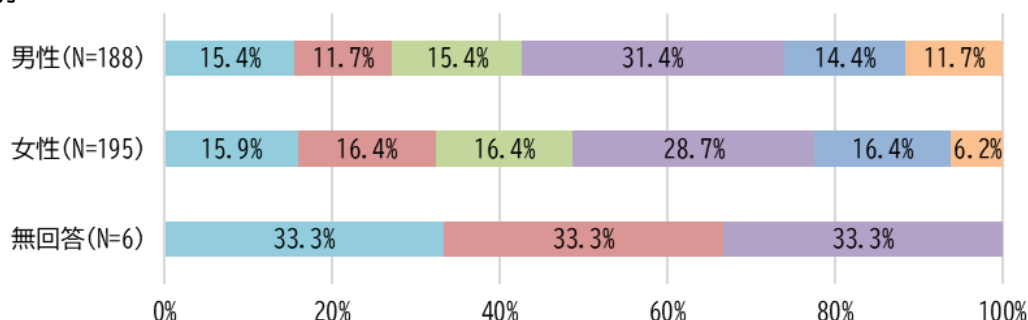
【問5】今後、市内のスキー場に取り組んでほしいことは何ですか。

- 全体では「リフト料金の割引」が30.2%と最も高く、次いで「コースの充実」の15.9%、「イベントの充実」の15.6%、「市内スキー場共通リフト券の発行」の15.1%、「レストランの充実」の14.3%、「その他」の9.0%の順となっている。
- 性別では「レストランの充実」と答えた割合が、男性よりも女性の方が4.7ポイント高い結果となっている。
- 年代別では、50～59歳については「イベントの充実」と回答した割合が28.8%と、ほかの年代よりも高い結果となっている。
- 地域別では、コースの充実と答えた方が最も多いのは「南外地域」で26.7%、次いで「協和地域」の22.6%、「神岡地域」「仙北地域」「大曲地域」の順となっている。

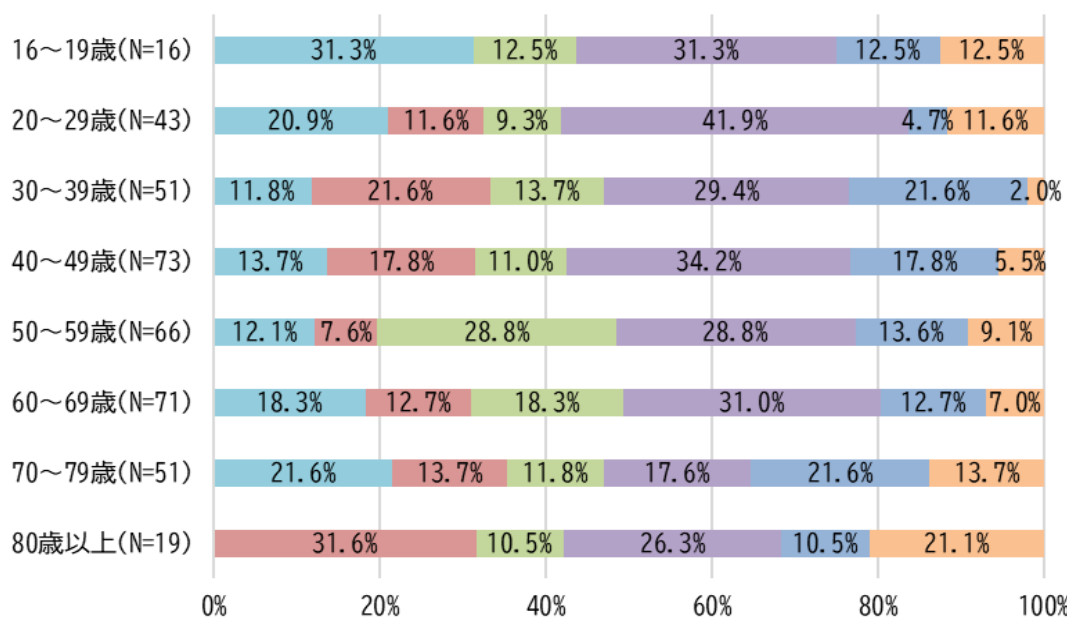
■全体



■性別

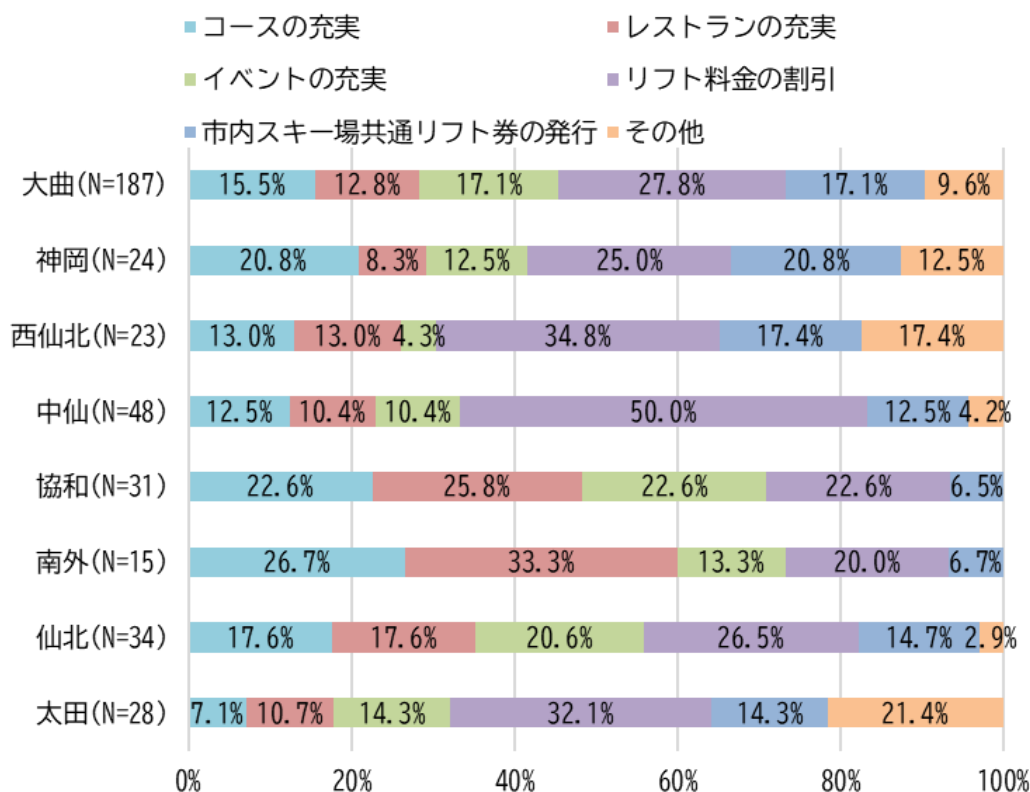


■年代別



【問5】今後、市内のスキー場に取り組んでほしいことは何ですか。

■地域別



～その他の意見（要旨）～

- ・ 冬以外の活用、遊具の設置、景色の良い所にブランコ（20 代男性）
- ・ 人がごみごみしないスキー場、お店充実（40 代女性）
- ・ 自動販売機（飲み物）（50 代女性）
- ・ 赤字経営は辞めた方がよい（50 代男性）
- ・ ジジ、ババ、孫、ファミリー用のゴムボートの用なものに乗って遊べるウォータースライダーのような安全なコース（60 代女性）
- ・ 廃止（70 代男性）
- ・ 4 人乗りリフトなどの利便性（70 代男性）
- ・ 行かないのでわからない（70 代男性）
- ・ 1 ～ 5 を網羅した集客努力（70 代男性）
- ・ スキー客以外にも充実した場所になってもらいたい（70 代男性）
- ・ イベント的な取り組みもあっていいのではないかと（80 代女性）

《調査結果のまとめ及び今後の方針》

- 問1の「よく利用するスキー場」については、「大台スキー場」が最も多く、次いで「大曲ファミリースキー場」「協和スキー場」の順となっているが、回答者の約7割が「ほとんど利用したことがない、利用したことがない」と回答しており、市営スキー場における利用者の減少が浮き彫りとなる結果となった。
- 市では、ウィンタースポーツの推進を図るため、県内市町村では最も多い3スキー場を運営するとともに、児童生徒を対象とした無料の共通リフト券「無料シーズン券」の発行や、各種大会の開催等を通じた利用促進に努めているものの、国内ウィンタースポーツ人口の減少や近年の降雪不足等により、スキー場利用収入の増加には至っていない状況である。加えて、各スキー場を運営するために必要不可欠なリフト、ゲレンデ整備車両（圧雪車）、スキーロッジなどの経年劣化が進んでおり、計画的な対応が必要となっている。こうした状況を踏まえ、効率的かつ効果的なスキー場運営の観点から、リピーターの定着と新規利用者の獲得に向けた取組を通じて利用促進を図るとともに、市内スキー場施設・設備の計画的な修繕等を実施していく。あわせて、今後の利用状況を見据えながら将来的な市営スキー場のあり方について検討していく。
- 問2の「シーズン中の利用頻度」については、「シーズン中に1回」と答えた方が全体の約6割となっており、冬期間におけるスキー場の利用頻度の低下がスキー場の利用減少の要因の1つであることが分かった。年代別では、特に10代～20代が「シーズン中1回」と答える割合が70%以上となっており、若者のスキー場利用の頻度が低い結果となっている。こうした結果を踏まえ、スキー場の利用頻度を上げるための取組として、前述の「無料シーズン券」を継続実施するとともに、ウィンタースポーツの楽しさを知ってもらう機会の創出など新たな取組について検討していく。
- 問3の「今後も利用したい市内スキー場」については、「大台スキー場」が最も高い結果となっている。年代別では、「大台スキー場」と回答した方は若者に多く、高齢者の方は「大曲ファミリースキー場」と回答する傾向にあった。地域別では最寄りのスキー場を利用している傾向が伺えた。こうした結果から、最寄りのスキー場以外の市内スキー場の利用も促進するため、各スキー場のPRに努めていく。
- 問4の「市内スキー場に行かない理由」については、「興味がない」が最も高く全体で53.9%となっている一方で、残りの約5割は興味の有無に関わらず、利用していない層となっている。また、地域別では、居住地にスキー場がある地域においても「興味がない」と答えた割合が高い傾向となっている。こうした結果を踏まえ、市民からウィンタースポーツへの興味・関心を持ってもらえるような取組を検討するとともに、情報発信に努めていく。
- 問5の「今後市内スキー場に取り組んでほしいこと」については、「リフト料金の割引」が最も高い結果となっており、次いで「コースの充実」「イベントの充実」となっている。こうした結果を踏まえ、スキー場の利用頻度の向上と新規顧客の獲得に向け、ウィンタースポーツを目的としない方も含めて楽しめるイベントの開催等を検討していく。あわせて、昨年12月の秋田・台湾間のチャーター便運行再開を契機と捉え、雪に親しみのない外国人をターゲットとした冬期間のインバウンド獲得策についても検討していく。

4 自由意見

4 自由意見

令和6年度「市民による市政評価」の調査票に記述のあった、市政に関するご意見・ご提案などの自由意見について、主なものを分野別に掲載した。

産業分野

(1) 農林水産業について

- 最近、熊の出没が頻繁です。市として遅れることなく対応、対策を望みます。早めの対策をお願いします。（70代／未記入／南外）
- 熊が出るのが多くなりました。近くに気軽にウォーキングやジョギングをする場所がありません。大仙市健幸まちづくりで推進されている活動量計を持っていますが、民家近くでも見られる熊が怖くて家の中や近くのみで動いています。対策をお願いします。（60代／男性／西仙北）
- 正直、大曲の花火産業事業の政策は、戦略的に見ても行き着く所まで行きほぼ完成していると思われます。そして、今年から2024年問題の年でもありますので、もう少し我々、農業生産者への支援や農産物への販売促進にも力を入れていただきたいものです。地域住民が安心して活かせる市政を願っています。（40代／男性／太田）
- お仕事ご苦労様です。5月29日（水）さきがけ新聞に永田町交差点という記事があり、そこで寺田静さんが「幸せに暮らせる農政を」と岸田首相に農村政策に対する姿勢を質問していました。これは人間生きていくための一番大切なことなのでもっと農政に力をいれていただきたいと常に思っていることです。（70代／女性／大曲）

(2) 商工業について

- 看護師や保育士の資格をとっても県外へ出てしまう若者が多くみられます。看護師も県内の大学や看護学校も学費を免除したり、給料以上にあげたり、又保育士も資格をとったら職場では全員正職員にするなど、女性が県内で活躍できるようにしてほしい。県外に出てしまとなかなか戻ってこないし、優秀な人材が県外に出てしまうのは本当に残念に思う。※大仙市でも上記の資格を取得する若者も多くいるわけではないので、ぜひお願いしたい。女性がいないことには、子どもが増加しないと思う。（50代／男性／協和）
- 農業に力を入れているが、誘致を含め産業にもっと力を入れて頂きたい。横手市と比べると雲泥の差がある。花火があるだけの大曲。（50代／男性／太田）

(3) 花火産業構想について

- 花火推しは理解できるが、偏りすぎてないか？（60代／男性／仙北）
- 国際花火大会への市からの持ち出しでの資金援助は絶対にやめてほしい。税金を絶対に使わないようにしてほしい。
花火にかけのお金が多すぎるのでは？一部にお金が集まって落ちていると思います。
若者の働き場所があまり増えていない感じがしますが、どうですか。
（60代／男性／大曲）
- いつの時期も花火は大変人気があり良いことですが、市民にも以前のように1,000円で見られるブースがあるとよいのではと思います。こんな個人の意見でどうにもならない事はわかっていますが、ガードを張られ、他県のように反対意見はたくさん聞きますが、市の方には聞く声は届かないのでしょうか？（70代／男性／西仙北）
- 大仙市は、大曲の花火が有名ですが、他の地区にも素敵なお客さんがたくさんあります。
PRをお願いします。花火以外の目玉になるようなものがあればいいなあと思います。
（40代／女性／太田）
- 花火は年に1度で良い。私達の税金を花火に使いすぎている。大仙市民が近くで自由に花火を見られる場所がない。これからの世代に向けて税金を使って欲しい。若者に魅力ある街づくりをしていかないと、どんどん高齢化が進んで、大仙市の未来は暗い。みんな他県へ行ってしまう心配がある。（40代／女性／中仙）
- 花火に頼りすぎ。栈敷席高すぎ。実際に地元民で購入している人の割合等とかわかりますか？地元民に対して割引とかあればいいですね。（30代／男性／大曲）
- 花火製造業者の住宅地での試し打ちを規制していただきたいです。予告なく突然爆発音があるため、高齢者が驚いて外に飛び出したりすることがありました。日の入り頃は特に高齢者が不穏になりやすい時間帯です。誇りある花火の街として適切なルール整備を求めます。（40代／男性／大曲）

(3) 花火産業構想について

- 花火産業は大事です。でも、今の花火観賞は栈敷などを用意しないと観られない。会場付近は目隠しして囲い、気軽に行ってお観することはできない。囲っているから事故が起きない事もわかるので、複雑！でも市民がもっと気楽に楽しむ観られる花火であってほしい！
(70代／女性／仙北)
- 大仙市は、花火関係者だけが潤う街にしかみえない。なにかあれば、花火、花火。花火以外何かしているのかもしれないが、何も感じられないし、何も見えない。花火だけで、大仙市が良くなるとは思わない。花火依存をどうかした方がいいと思う。アンケートに番号が振られていて、個人特定するためではないと言われても、個人特定されている気がするし、特定されていると思ってこのアンケートに回答しています。
(40代／男性／神岡)
- 花火大会にお金使いすぎ。(30代／男性／西仙北)
- 花火の有料観覧席、1番安い席は、(レジャーシート席) 姫神橋よりだけでなく、大曲花火大橋よりにも設けて、市民の利便性を良くしてほしいもの(70代／男性／大曲)
- 大仙市の話題が花火に関することが多いように思う。花火産業だけでなく、活性化できる何かあればいいと思う。(40代／男性／大曲)
- 大曲の花火にアクセスしやすくするために、大曲中学校の付近から丸子川を渡れる橋ができると便利だと思います。姫神橋を利用すると遠回りになる、グランドパレス川端の前を利用するとやはり渋滞になる。ゴルフ場方面から観光バスなどを利用してくるお客様も多いと思うので橋ができるだけで、渋滞が緩和されると思う。(30代／女性／大曲)
- 大曲の花火の席料金が安い。地元の人も気軽に見られなくなっているのはおかしい。改善されるべき。
エンジン音がうるさい車をどうにかしてほしい。特に夜
若い人たちが遊べる場所が少ない、増やしてほしい。(20代／女性／大曲)
- 花火に予算をかけ過ぎ。(60代／男性／太田)
- 米が安くて肥料等が高く、割にあわず若い人がいなくなる。花火で何かいいことあるのかな？(70代／女性／神岡)

(4) 観光について

- 大仙市は大曲の花火で有名ですが、もっと大曲の花火以外のものの PR をした方がいいと思います。そうすることで、大仙市により多くの観光客が来るのではないのでしょうか。
(10 代／女性／中仙)
- 大曲地域に温泉が欲しい。付随してボーリング場、カラオケ、ゲームセンター等、プールやジム、ゴルフ場等市外からでも集客できる魅力ある施設があると良い。
(50 代／女性／大曲)
- 旧大曲市は温泉施設がないので大変不便です。多くの方々から近くに欲しいという声を聴くので、ぜひ温泉施設を設けてほしい。(40 代／男性／大曲)
- 宮崎市などの交流について、市長、議員、市職員の交流が主となっており、市民交流は少ない気がする。もっと市民交流を増やす機会を模索してもよいかと思う。
市の PR＝花火⇒形が無く伝わらない。ドンパン娘やスコップ三味線、伝統芸能を花火とコラボして日中でも PR できるよう、衣装や音楽、踊りも考えていき、どこでも魅力ある市を見せて集客を考えていった方が良くと思う(40 代／男性／中仙)
- 市内にある温泉施設にはふれていないようですが、花火と観光、温泉とルートにして、今のインバウンドの流れに乗じたプランを作り、廃校になった校舎を宿泊施設にしたり、もっと活用できるものや場所を考えてもらいたいと思う。(70 代／女性／中仙)
- 大曲地域に住む 67 歳の単身者です。入浴の際、水道、ボイラを使用しますが、コストの面で、非常に高くつきます。(無駄が多いです。) 大曲地域に日帰り入浴温泉施設が何もありません。第 3 セクター方式等で温泉施設を作ってください。思い出の場にもなると思っています。(60 代／男性／大曲)

(5) 雇用・就労について

- やはり雇用の場を拡大して欲しい。人口減少が目に見えてわかる。若い人が魅力ある憩いの場レクリエーション施設があればいい。(70 代／女性／大曲)
- 南外地域に住んでいますが、スーパーがあれば何も言うことはありません。何とかスーパーをお願いしたいです。コンビニでも OK です！R105 あたりに！(50 代／男性／南外)
- 県外に住んでいたのも、大仙市のいろんなところが気になります。
・就職先が少ない(あっても女性の給与が少ない)
(40 代／女性／中仙)

(1) 出会い・結婚について

- 人口減に歯止めをかけてほしい。子育て世代の減税や、負担を軽くするしくみなど、他の市よりも大仙市に住むメリットがないといけないと思う。（30代／女性／大曲）

(2) 子育てについて

- 山形に在住する次男世帯は、頻繁に屋内遊戯施設を活用しています。山形県内にはあちこちに大型遊戯施設があり、雨の日、雪の日も子供たちが無料で（2時間くらいらしいですが）思いっきり楽しんでいます。大仙市にも是非このような（空校舎体育館を利用するなどして）雪の日も、雨の日も汗を流して遊べる拠点を創設していただきたいと思います。（60代／女性／大曲）
- 冬の子どもの遊ぶ場所をふやしてもっと充実してほしい。（40代／女性／大曲）
- 子どもが利用できる室内遊び場の充実を希望します。（30代／女性／大曲）
- 大仙市内でも幼児～小学生が遊べる室内施設がほしいです。雨の日にワンオペだとどこでも行けず、子供たちもゲームばかりになってしまいます。晴れた日でも神岡の公園のような大型遊具がある公園が大曲にもほしいです。
フォトスポットなどがあると人気も出るのでは。インスタ映えしそうな綺麗な花火の背景でも良いと思います。（30代／女性／大曲）
- 保育料の無償化など子育てに優しい取り組みが多くなっていることが嬉しいです。その反面、保育士の低収入が全国的に話題になっており、保育士に市から支給などがあると働きやすかったり、復職しやすいなどのメリットがあると思います。（30代／女性／大曲）
- 子どもたちが過ごしやすい、住みやすい環境を作って欲しい。大仙市民の皆が生き生きと生活できるようなまちづくりにして欲しい。（子供から高齢者まで楽しいイベント行事など）（30代／女性／協和）
- 大仙保健所や健康増進センターの保健師さんたちに支えられて、子育てや生活ができています。感謝しています。（20代／女性／中仙）
- 高校生を持つ家庭への支援をいただきたい。（30代／女性／仙北）
- 子どもたちの遊べる施設をもっと増やしてほしい。屋内施設を希望します。山形県はたくさんあるので参考にしてほしい。（30代／女性／大曲）

(2) 子育てについて

- 子育て世帯に対する助成等は他の地域に比べて比較的進められていると評価はしているが、2人目以上の子どもがいる世帯にとっては、まだまだ生活として苦しいのが現状である。特に近年の物価高騰や円安に伴い、低所得世帯やひとり親世帯に限らず、どこの世帯にも使える『お金』を助成してほしい。（30代／男性／西仙北）
- 保育園の利用が0歳から無料になったのが、本当にありがたいです。県外から大仙市に戻ってきましたが、戻ってきて本当に良かったと思っています。これからも子育て支援に力を入れて欲しいです。（30代／男性／中仙）
- 子育て世代なので屋内遊具施設が増えるといいなと思います。近年外にでるのもはばかれるほどの高温でこれからの時期、公園遊具はやけどするほど熱くなります。子育て支援センターもありますが、遊具の数が少なく、親も子もすぐ飽きてしまいます。横手市の子育て支援センターは遊具も多く、1歳未満の子とエリア分けされているので安心して遊ぶことができます。山形遠征もしたことがあります、そちらは無料または低価格で入場できる施設がどの市にも1つはあり、とても魅了に感じました。支援センターのおもちゃ不足は各家庭で不要になったおもちゃの寄付などを受け付けたら少しは解消されるのではないかと思います。（30代／女性／大曲）
- 子ども二人いますが、休日でも小児科がやっており助かっています。休みの日に子供たちの体調不良になった時とても不安・心配です。子育てする場所としては、とても育てやすいと思っています。（30代／女性／大曲）
- 若者たちが自分の生まれ育ったまちや地域に活気を取り戻そうとボランティアで頑張ってくれています。このような若者たちの姿に目や耳を傾け、市としても協力していったほしいなと思います。

子育てしやすい・支援が手厚い市でとても助かっています。他の市町よりも手厚い部分が多いということをもっともっと発信することによって、大仙市で子育てしようと思う人達が増えるのではないかと思います。子育て支援について知らないことが多いと思うので、たくさん情報を流していったほしいと思います。色々な子供に関する制度は子どもが生まれてから知ることが多かったのもので、その前に知れたら子供を生み育てようと思う人も増えるのかなと思います。（30代／女性／大曲）

(1) 社会福祉について

- 70才以上の温泉施設の風呂券サービスとかあれば、助かります。（70代／女性／大曲）
- 救急車を呼ぶべき症状なのか、相談できる窓口があると助かる。夜間や休日などの救急外来に行くべきかどうかの判断も相談できると良い。（30代／女性／太田）
- 私の家には車いす生活の障がい者がおります。大仙市は「大曲の花火」が世界的にも有名になってきました。でも、私たちは花火大会を近くで見たいと思っても車いすではとても困難です。また、金融機関では身障者用の駐車場はあっても、車いすが常備されていなく、一度自宅に戻り車いすを自家用車に積んで出直しをしたこともありました。身障者も楽しめるイベントを企画してもらえないでしょうか。身障者にもやさしい大仙市になってくれることを望みます。（60代／女性／神岡）
- 介護老人の居る家庭への支援、経済的応援をもっとしてほしい。（70代／女性／大曲）

(2) 社会保障について

- 国民年金でも入所できる老人ホームを作してほしいと思います。
（80代以上／女性／大曲）
- 補助金対象の区別を無くして欲しいです。
近年の物価高騰により、子育て世帯や低所得世帯以外の市民も厳しい状況にあります。大仙市の多くは上記の世帯だと考えられますので支給対象にしてください。
（50代／男性／大曲）
- 給付金等は全世帯に給付してほしい。同世帯のみが給付該当では意気消沈する。
（80代以上／男性／大曲）

(3) スポーツについて

- スポーツ施設が充実してきているが、私としてはバスケットが出来るところが欲しいところ。 （40代／男性／仙北）

(1) 自然・環境衛生について

- ゴミ削減の為に、プラスチックごみの分別収集に取り組んでいただきたいと思います。(70代/女性/大曲)
- 生活していてもごみ袋料金がもっと安かったらと思います。(20代/女性/大曲)
- ゴミのポイ捨てが目立つので、どうにかしていただきたい。(40代/男性/大曲)
- 衛生環境部門で「衛生環境の整備に努めている」とありますが、下水道に加入したくても「私有地」を理由に断られている。どうしたものか？(70代/男性/大曲)
- 公園もキレイに整備されていて安心して子供たちを遊ばせることができます。ありがとうございます。雨の日に走って遊べる場所があると助かります。(あるのであれば周知してほしいです。)(30代/女性/大曲)

(2) 安全・安心体制について

- 生まれも育ちも大仙市の為、地元消防団に所属しているが、待遇が悪すぎて魅力がないのと、地域・学校と連携しての防災訓練もないため、消防団の活動を知らない市民がたくさんいて、今は昭和でなく、令和なので、時代に見合った募集などしないと特にサラリーマンは入団しないと思います。使命感も大事だが、市も内情を理解してほしい。(50代/男性/神岡)
- 仙北地域の防災無線がなくなってしまったのは、どうしてでしょうか。外で農作業をする年配の方や、夕方まで友達と遊ぶ子供たちが朝・昼・夕の時間が分からず不便です。また、緊急のお知らせも届かず、美郷町では頻繁に届いているので熊の出没や大雨による河川の氾濫など仙北地域でも防災無線はとても重要ではないかと思います。(50代/女性/仙北)
- 体力作りのため散歩をしているが、雪で壊れてそのまま無くなってしまったカーブミラーが多数ある。交通量の多い通学路や歩道に出るための、見通しの悪いT字路等、カーブミラーの再設置を、運転者の高齢化も含めて検討してもらいたい。(70代/女性/西仙北)
- 以前、さがけ新聞の作文のところにも投稿させていただいたのですが、夜の街の暗さに不安を感じます。あの作文を読んで一度電話をいただきましたが、それ以後なにも変化がありません。住民の意見を聞いてくれるのはありがたいですし、実行に移すことは簡単なことではないと思いますが、ぜひ、様々な年齢の人々の意見をきいて、よりよいまちづくりを進めていただきたいと思います。(10代/女性/太田)

(3)空き家対策について

- 空き家で周囲の多くの人たちが困っている話をよく聞きます。動物も増えている状態です。いたずらもします。市の方でもっと見聞してもらいたい。（70代／女性／協和）
- 身近なところですが、空き家？が多くなっている様子で手入れもなく壊れかけている建物や伸びすぎる木などは台風など強風で近所に被害もあるのではないかと不安になります。高齢者がほとんどの地域は雪も心配ですね。一人住まいになる将来が不安です。
（70代／未記入／協和）
- いつも私たち市民へ丁寧・細やかなご対応ありがとうございます。今後もよろしくお願いします。お金がかかることなんだと思いますが、空き家・廃墟がもったいないなと思います。（20代／女性／大曲）
- 今後、ますます増えてくるであろう空き家の問題を早急に解決するべきかと思います。
（60代／女性／仙北）

(1) 公共交通について

- 交通助成券をいただいているものです。足の不自由な身としては路線バスに乗ることもままならないです。タクシーで病院から自宅まで6千円以上かかります。そこで私の考えとしての提案があります。75歳以上の免許も健康である方も、もらえるものならということで、のりのりきっぷをもらって、結局使わないで捨てたという話を度々耳にします。もったいないことです。そこで本当に支援が必要な方に限り、弱者に手厚い配慮をお願いしたいものです。(70代/女性/太田)
- 免許のない高齢者のため移動手段を増やして下さい。(20代/女性/仙北)
- 大曲駅を中心に一部「200円循環バス」をエリア拡大できないものか？
1日1～2回くらい大曲駅～内小友、大曲駅～角間川、大曲駅～(古四王神社経由の)イオンモール等に可能な限りできないものか。あるいは、週一回等、上手く考えれば小中学生の通学等でも利用できるのではないかと考えます。(50代/男性/大曲)
- 高齢者は駅構内を歩くのに広すぎて利用しにくく、バスは段差が高くのりにくいことがある。大曲の病院まで受診するのに一人暮らしにとっては大変である。のりのりきっぷは非常にありがたいが、乗り合いタクシーを大曲まで延長してもらえると便利だと思う。高齢者が買い物に出かけられるような交通の便も考えてもらえると免許返納について考えやすくなると思います。(60代/女性/西仙北)
- 移動が困難な地域での生活に支援を検討してほしい(50代/男性/西仙北)
- 公共交通機関を充実させてほしい。バス廃止路線増えているので都営バスみたいな低料金で利用できる仕組み。(50代/男性/大曲)
- 今回このような機会をいただいたので、個人的に改善すべきだと思う点を述べさせていただきます。市内循環バスの運行について、毎朝、大曲厚生医療センターのバス停横を通るのですが、あまり利用者がいないようにみえます。また、花火通り商店街の学生の自転車通学の量が多く、危険な場面を目にすることが多々あります。そのため、通勤・通学時間帯に3台ほどのバスが運行しているのを見るのですが、そのうちの何台かを通学用にしてみてもいいかと思いますが、そのうち
- 御苦労様です。事情があり、田舎と知りつつ県外から移住して今年8月で6年目に入ります。自然と空気は良いですが、交通の不便で運転できない人には困って居ります。駅までバスが午前と午後通行出来れば幸いと思っています。
(80代以上/女性/協和)

(2) 地域情報化について

- 仙北市や美郷町のような、防災情報など屋外でも情報が得られると安心な気がします。熊情報等特に。高齢になると機械も得意ではありませんので。（70代／女性／太田）
- 昨今のネットニュースを見ても、日々の事件・事故まあ物騒な世の中になったもんだとつくづく考えさせられます。そんな中、数年に1回発行されます「●●町自主防災の住宅地図」は、悪用する側にとっては、都合のいい個人情報。ネット社会において、この住宅地図は危険だと思います。（60代／男性／西仙北）

(3) 市街地について

- 市の都市計画？まちづくり？計画が悪いのか力が足りないのか？駅東口ができた頃、駅東開発に期待（病院、公共施設等、公共性の高いもの）していたが、結果は虫食い状態に分譲住宅地として業者に押さえられて、義理、人情、団体圧力に屈しないこれからの市政に期待します。若い職員さん達頑張れ！（60代／女性／大曲）
- 駅中心にサウナ、風呂に入れる施設又は宿泊ができる施設があれば、電車、新幹線に乗る時間の間に利用したり、市民の皆様が、利用できるようにしたら良いと思う。一貫性の学校を作ったら良いと思う。（50代／女性／大曲）
- 8市町村が合併してから、これまでの間それぞれの地域課題が見えてきたと思いますので、地域のバランスよい政策の実施と大仙市の中で重点として取り組むものの選択と推進。（70代／男性／太田）

(4) 道路・河川について

- 以前の工事で、道路が盛り上がり、その部分を車が通るたび自宅が揺れ振動がひどく困っております。補修するなりの何かはないのでしょうか。身体に堪える揺れです。（50代／女性／太田）
- 南外から由利本荘市に行くまでの道路が本当にひどいです。毎年除雪で穴が開いています。仕方ないと思うのですが、いつも穴埋め工事しかないので、道路はガタガタです。予算もあると思いますが、1度しっかり直して欲しいです。大仙市に来る人もひどい道路といいます。（40代／女性／大曲）
- 主要道路もちろん大事ですが、市街地住宅地の除排雪の融雪溝なども計画的に整備してもらいたいと思います。（50代／男性／大曲）
- 道路の整備をお願いしたい。道路の穴が多く見られる。（60代／男性／中仙）

(4) 道路・河川について

- まずは道路整備をお願いします。春一番は冬の間傷んだ道路の穴の補修、子どもたちの安全のため、通学路の白線等は早めにしていただきたい。（70代／女性／仙北）
- 暗い道を歩いて帰ってくる人が居るので、結構な交通量なので街灯を取り付けて欲しいと思います。よろしくお願いします。（60代／女性／大曲）
- 生活道路が悪く、車の運転がガタガタです。整備してほしい。側溝に流れがないため、においます。長年泥上げもしていないので、長雨の時は不安です。（70代／女性／大曲）
- こんにちは。道路に白線（中央）や方向指示の矢印がない、夕方になると上水道の出が悪い、冬季の除雪の頻度が少なく雑で困っています。改善を検討ください。（40代／男性／大曲）

(5) 上・下水道について

- 中仙地区は井戸水を利用している世帯が多い。除草剤の影響が不安であるために水質の調査をして公表してほしい。また、上水道、簡易水道がない区域を把握したうえで、整備してほしい。（40代／男性／中仙）

(6) 住環境、公園、緑地について

- 私としては、市政とかは大変難しくなっております。日頃思っていることは簡単なこと。高齢者となって外出する機会もない。少ないのですが、お天気の良い日は買い物やお散歩に出てみようかと思うこともしばしばあります。しかし出ても歩き続けることが大変難しくなってしまう、途中10分間でも足を座って休める場所、市役所前あたりに長椅子でもあったらと思っております。良い空気を吸いながら、桜の頃にお花見をできます。私だけでしょうか。皆様方も大変たすかるのではと感じております。よろしくお願い申し上げます。（80代以上／無回答／大曲）
- ヒカリオ駐車場の利用についての意見なのですが、東駐車場のようには上限を設定して頂けないでしょうか。駅前にある駐車場が冬期間停止するため、東駐車場に新幹線利用者の車が集中するようで、満車になることがあり、新幹線を利用するとき大変でした。せめて冬期だけでも、ヒカリオを東駐車場と同じ設定にして頂ければありがたいです。（50代／女性／大曲）

(6) 住環境、公園、緑地について

- 流雪溝の流れが弱すぎて(水量も少ない)すぐ詰まる
花館上町の小学校の向かい側です(30代／男性／大曲)
- 図書館利用したいが、駐車場が無い(市庁舎も満杯で)除雪で融雪(流雪)溝がある地域
がうらやましい(40代／男性／大曲)

(1) 学校教育について

- 若者の大学、専門学校などの上級学校への進学率が高くなっているのに、その学問を勉強した知識を生かす職場がないので、若者が都会へ出てから、地元に戻る人が少ないと思う。他県で成功している地域を参考にして、もっと検討してもらいたい。
(70代／女性／西仙北)
- 花火産業が大仙市の重要資金源、経済活動なことは承知していますが、小学校、中学校の老朽化した設備の修繕、公園や屋外施設の充実にも力を入れてほしい。土日に若い家族連れが市外に行かなくても楽しく過ごせる市にしてほしい。企業誘致などにも力を入れてほしい。このままでは若者がいなくなってしまう。 (70代／女性／仙北)
- 大仙市の小中学校の図書室に司書教諭を一律配置し、生徒が学校生活の中で図書（本）と触れられる機会を増やせるような図書室の環境づくりを目指していけないでしょうか。現状、他の地域との読書環境の差が大きいと感じます。 (40代／女性／大曲)

(2) 生涯学習について

- 子どもも少なくなっていますが、今いる子どもたちが、学校帰りに図書館などで時間を過ごせる場所は学校周辺に、どのくらいありますか？ (70代／男性／西仙北)

(3) 芸術・文化について

- 大仙市民のために多岐にわたり施策に取り組んでおられる市長さん始め職員の方々に感謝申し上げます。花火のまちとして知られる大曲の花火、国内はもちろん世界にも通ずる名実共に地位を築かれました。素晴らしいことです。知ってほしいな一と思っていること、それは伝統を受け継ぐ大曲西根小学校の”全校音楽演奏会・ミュージカル”です。児童一人一人が輝き、一生懸命演奏し、演技する姿にいつも感動し、感激しています。このすばらしい演奏を沢山の方々にみていただき、花火のまち同様、音楽のまちとしても広げられたらいいな一と思っております。 (80代以上／女性／大曲)

(1) 地域活性化について

- 高齢化・少子化が急激に進行しています。後継者不在の家庭も増加していますので、安心して暮らせる支援・楽しく生きることのできるまちづくりを推進していただくことをお願いします。（60代／男性／大曲）
- 何事も積極的に挑戦して欲しい。ふるさと納税、企業誘致、市のPR、農地、空家等使用。（70代／男性／南外）
- いつからなのか不明だが支所の活力が感じられなくなりました。支所の判断で何かを決めるとか処理するという事がなくなってきたように思われます。もちろん従来から縦の流れはあったでしょうけど、雰囲気的にそんな感じがします。（70代／男性／仙北）
- 市中心部以外の活性化とカーボンニュートラルの取組強化を期待しています。（60代／男性／協和）
- 地域活性化に繋がる政策を分かりやすく発信してほしい。（30代／男性／中仙）
- 大曲の花火は、本当に素晴らしいのでどんどん海外にも発信していただきたいし、もっとまちが活性化されるといいなと思います。外国から定住して起業されているマイケルさんのように、新しい発想で若者にも夢を与えていただきたいです。（50代／女性／西仙北）
- 花火に頼りすぎて、他には何も無いと思ってしまう。
人が集える、おしゃべりしていい、オープンな空間が少ない。
お店も役所も閉鎖的な感じがする。
特にヒカリオのあたりの福祉的な建物の閉鎖感にはがっかりしている。
こういう場所ほど人が集いやすく設計されるべきだったのではと思っている。
そこに行くと気軽に健康増進を目指して動けるような空間を作ればよかったのに。
有ったとしても、全く外から見えないし、伝わっていないし、行く気がしない。
期間限定で若い人も若くない人も空き店舗を利用しての開業お試しの様なことをしてみても良いのではと思うが、そもそも商店街を歩く人も少ないから悩ましい。
花火以外のイベントでのアーティストの招致など、人がたくさん集まりそうなのがもっとあればいいのに。
大仙市になってからの市の「花」がコスモスであることにとても不満に思っています。
以前はサルビアでした。
コスモスだと秋だけだし、なんだか…
それを積極的に周知展開させる風でもないし。
様々なコスモスを広々空間でたくさん咲かせて秋にはそこでイベントをするなどやればいいのでは。などと、あれこれ勝手に思っています。（50代／女性／大曲）

(1) 地域活性化について

- アンケートで様々な取り組みをしていることを知ったが、子育てが終わった今、実感できることがなく、大曲地域との格差をものすごく感じる結果となった。どの地域もどの年代も充実できる支援や（満足度を感じられる）取組があればいいと思った。地域格差も縮小されてほしいと思う。（50代／女性／協和）

(2) 移住・定住について

- 農業では特産物を作る。移住のためには光回線などを事前に完備しておく。新しい事業のために優秀な人材を副業などで雇う。住めば良い市であることのPR。
（60代／男性／神岡）
- 若い方達を大仙市に定住させる方策を考えてほしい。①職場の創出②住居の提供③レクリエーション施設の充実。この三点を向上させる政策を実現してほしい。
（70代／男性／協和）

(3) 行財政運営について

- 集会所、児童館の改修や解体問題。（60代／男性／太田）
- 大仙市公共施設への喫煙所の設置。（40代／男性／協和）
- 8市町村が合併して20年となりました。自然豊かな田園交流都市を目指して、合併なされたと記憶していますが、現在は花火を中心としたまちづくりが行われているように感じます。合併特例債では、大曲駅の東西開発ばかり目立ち、周りの旧町村の開発は皆無のようです。合併時に各市町村から、新しい大仙市に引き継がれた事業は、現在どの程度達成され、残りは今後どのようなようになるか、広報、市議会定例会で発表をお願いします。市長には、大仙市内の現在の道路状況を確認され、道路改良踏切強化など、地域の安全を第一に行政を進めることを希望します。また、市議会議員の県外視察時は各議員がレポートを提出し、それが大仙市の何の参考となるのかまで書き、議会だよりに掲載を求める。
（60代／男性／中仙）

(3) 行財政運営について

- 大仙市の将来について心配をしています。その場しのぎの政策ではなく、20年、50年と未来の大仙市が続いていることを願っています。（50代／女性／大曲）
- 市職員が余りにも大仙市の各所（旧池田氏邸・神社等）を知らない。役所に行って聞いても答えられない。花火よりも大切な事で知識として最低限教えてほしい。あまりにも市役所職員として無知である。本当に大切な事で有り、市外・県外から来た人にもサービスがなされていない。（70代／男性／協和）
- 花火を観光資源とする姿勢は否定しない。
他の市を見渡すと由利本荘市（ナイスアリーナ）や横手市（Y2 ぶらざ）のようにイベントの有無によらず施設が核となり且つ、常態的な賑わいを創出している施設を有する自治体が多い。それに比して、図書館やまるこのひろば、ヒカリオ、花火アム等々、個別には有意義な施設であるのに点在感が否めず、常態的には閑散とした印象。
少子化に拍車がかかる中、常態的な賑わい創出（=魅力的な）となるよう都市計画を期待する。（50代／男性／大曲）
- この先も発展し続けられる大仙市を目指していくには、大規模企業の誘致、農業の大規模化、若者の起業が重要と考えます。秋田空港が近い利点があるので、熊本や北海道で行われているような半導体企業の誘致など、航空機を使った物流でも可能な産業を大仙市に誘致することが重要であると考えます。
また農業が盛んな地域であるので、この利点を活かす必要があると思います。現在の農業の経営体系を崩し、アメリカの農業に見られるような大規模な農業が必要だと思います。多くの農家さんが、集結するためには、土地の問題などもありますが、自治体として取り組むことで解決しやすくなるのではないかと思います。経済特区などに指定されるような先進的な取り組みになれば良いなと思います。
大規模な産業、大規模な農業が出来ることで、付随して若者が集まって来ることが期待され、集まってきた若者によって起業され、さらに大仙市が産業的に活発化していくと思います。若者が集まれば、人口が増え、子供が増えてきます。
現状、人口を増やしている住宅地から小中学校が遠く、子供たちにとって不便な環境にあります。小中学校を新設したり、大館市で実験されている自動運転のバスをスクールバスに利用することで、より子供が住みやすい環境づくりが出来ると思います。
産業と農業が活性化し、若者が移住していくことで、自ずと市の財政は改善していったり、花火大会の活性化に繋がると思います。是非、大規模な産業や農業の開発に注力していただきたいと考えます。（40代／男性／大曲）

(3) 行財政運営について

- 令和3年、4年の2年間ベットでの生活でしたが、（雪の下敷により背骨3，4，5箇所を骨折）少し良くなったら、左足右足と座骨神経になり、5年の春より、少々歩けるようになりましたが、転べば寝たきりになりますよと先生に言われて家の中での生活で外出は内科と眼科の2回だけ外出できます。テレビのニュースと友人の話で市の事は、大仙市を楽しみに見えます。新聞も読むことは目に良くないと言われています。市役所に2回行きましたが、本当に親切に82歳の私のようなばあさんでも良く話が分かるようにしてくれます。ありがとうございます。（80代以上／女性／大曲）

(4) 人口減少・少子化について

- 今や大仙市も人口不足で若い人の働く所が少なく、そして高齢者時代で働ける人は限られている状況。そのためには、若い人を県内に定着させて、農業、企業誘致して働けるように、冬など雪が降るので道路状況をよくして交通の妨げにならないよう安心・安全に、その他花火の街以外にも観光花園、山や田畑を利用してレジャー施設、大人、子供たちが楽しめる場所、色々と四季を考えてみたら？（70代／男性／大曲）
- 1. 少子化 子供の数を増やしてほしい。
2. 社会共有の認識 若い人に社会構造・制度を理解してほしい。
3. 学校教育 あまりにも自己中心の教育が多い。社会全体の教育方針がほしい。
（80代以上／男性／中仙）
- 人口減少に歯止めが効かない。コンパクトなまちづくり→若い世代が楽しく過ごしやすく、子育て支援、子供たちの遊びや学びの施設の充実、移住者の受け入れ、地方創生が実現できるよう日々頑張っています。（70代／女性／大曲）
- 私は70代ですが、子どもの頃を思い出すと児童3クラス計147人でした。通学道路の周りは田んぼ一面で米作感が顕著でした。現代において、近場の小学校では20数人位？周囲を見渡す限り住宅が多く建ち並んでいる大仙市に限らず、将来への夢あるうねりが少子化、農業後継者不足などの壁に遮られている感じがします。これらの問題点は数十年前から準備不足でなかったのでは。（70代／女性／大曲）
- 今のままの市政では、過疎地域は加速しますよ。対策するならするで早急に、やらないなら税の優遇等を、他の合併した地域では小中学校の統合が終わりに近づいていますが、大仙市ではすべてですね。教育（スポーツ）の選択の自由が、スポーツ、吹奏楽がかなり衰退しています。（50代／男性／南外）

(5) デジタル化について

- 何事もデジタル化されると便利で速く物事が進むとは思いますが、デジタル化に対応できない場合（人）のサポートは本当に必要だと思います。（70代／女性／大曲）
- デジタル化も良いが、人の対応を希望します。小型バスの活用を希望します。
農業科学館の集客活用を期待します。熱帯植物室へ入りやすいようにしてほしいです。
花火産業以外の産業を生み出して欲しいと思います。（70代／女性／大曲）
- あまり急いでデジタル化を進める必要はないと思う。時間に余裕のある年配者等は交通手段があれば市役所に行って手続きをする方が安心だし、スマホなどの扱い慣れていない人はかえって手がかかるし、「詐欺」等の心配もない（50代／女性／協和）

(1) その他

- 市職員若手の負担が大きい。(50代／男性／大曲)
- 85歳の一人暮らしには難しいです。(80代以上／女性／太田)
- アンケートは学生に難しいです。(10代／男性／大曲)
- 「大仙市の現状・取組状況」の情報だけでは、評価できる資料にはできませんし、自分自身にも評価できる資料を持ち合わせていないので、ほとんどお答えできません。
(60代／未記入／大曲)
- ページの下段にある「大仙市の現状・取組状況」を見ると、ほとんどの項目で過去と比べた場合、プラス評価になっているが、それでも「消滅可能性都市」に指定されているのはなぜか？(60代／男性／大曲)
- 中仙地域に住んで30年弱になりますが、朝6時、昼12時、夕方6時、夜9時のドンパンを流す理由はなんですか？朝6時、夜9時のドンパンの必要性がわかりません。多すぎませんか？いつもその音で子どもが寝そうな時に泣いてしまい憤りを感じます。必要な理由があるなら仕方がないのですが、流す時間帯なども考えていただきたいです。
(20代／無回答／中仙)
- 給料が良い仕事がない。物価高もあり、車は必須、出費が多く一生自立できない。県外の同級生の方が稼いでいて楽しそうで自分が情けない。(20代／女性／中仙)
- 休耕田を活用出来ませんか？
また大仙市内は、駐車場が他の地区より少ないと思います。
空き家も気になっています。(60代／女性／大曲)
- 色々お世話になっています。申し訳なく思っています。(80代以上／男性／中仙)
- いつも市役所の方にはお世話になっております。健幸まちづくりプロジェクトの活動量計を利用させていただいています。活動量計の電池交換をしても「FFFFF」の表示がされ、健幸まちづくり推進室に直接伺いましたが、接触不良かもと言われました。結局何度もそのような状況が続き、地元の方に手続きをしてもらい交換することが出来ましたが、可能であればその場で交換していただければうれしいと思いました。(60代／女性／協和)
- 日頃から市政に対して尽力をされておられる皆様方に感謝いたしております。80歳もなると頭も力も衰えてしまい、今日自分でどう生きるかと考える日々です。記入するにもどちらともいえない所が多いと思われます。(80代以上／女性／協和)

5 資料（調査票）

大仙市の将来のために
令和6年度市民による市政評価
ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、『人が活き 人が集う 夢のある田園交流都市』を将来都市像に掲げ、平成28年度から10年間のまちづくりの基本的指針となる「第2次大仙市総合計画基本構想」のもと、より市民目線に立った実効性のある取組を推進しています。

この「市政評価」は、市民の皆さまが日ごろ感じていることや、市政に対する意見をお伺いするもので、いただいたご回答は、施策の見直しや市民の皆さまとの協働のまちづくりを進めるための基礎資料として活用させていただきます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えいただきますようお願いいたします。

令和 6年 5月
大仙市長 老 松 博 行

《回答にあたって》

- ◆ このアンケートは、市内にお住まいになっている16歳以上の方の中から無作為(性別、年齢、地域については考慮)に1,000人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- ◆ このアンケートは、原則として封筒の宛名にあるご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方(ただし、16歳以上の方)がお答えいただいても結構です。また、設問が難しいと感じられた場合は、ご家族の方と相談しながらお答えいただいても結構です。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。 ※宛名ラベル右下の4桁の番号は回答状況を確認するためのものです。
- ◆ このアンケートの結果は、後日(秋頃を予定)市のホームページや広報にて公表します。

《回答方法について》

- ◆ 次のどちらかの方法により、5月30日(木)までに、ご回答いただきますようお願いいたします。

1. 調査票による回答

同封している調査票に直接ご記入いただき、返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です。)

2. インターネットによる回答

次のURLを直接入力いただくか、二次元バーコードを読み込んでいただき、アンケートフォームからご回答ください。 ※回答方法の詳細は別紙「インターネット回答方法」をご覧ください。

(1) URL

https://apply.e-tumo.jp/city-daisen-akita-u/offer/offerList_detail?tempSeq=7316

(2) 二次元バーコード



【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班

電話:0187-63-1111(内線233) FAX:0187-63-1119

メール:sougou@city.daisen.lg.jp

■あなたご自身のことについてお伺いします。

・あなたの性別を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 男性	2. 女性	3. 無回答
-------	-------	--------

・あなたの年齢を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 16～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～64歳	7. 65～69歳	8. 70～74歳
9. 75～79歳	10. 80歳以上		

・あなたの現在の就業状況を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 正規社員・職員	2. 自営業・家族従業者(農林業含む)	3. パート・アルバイト	
4. 派遣・契約社員	5. 専業主婦・主夫	6. 学生(高校生含む)	7. 無職
8. その他()			

・あなたの居住地域を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 大曲地域	2. 神岡地域	3. 西仙北地域	4. 中仙地域
5. 協和地域	6. 南外地域	7. 仙北地域	8. 太田地域

・あなたの家族構成を、次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

1. 単身世帯	2. 夫婦世帯	3. 二世帯世帯
4. 三世帯世帯	5. その他()	

■自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見やご提案などがありましたら、ご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....

ご記入いただいたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、5月30日(木)までに、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。

I 施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の取組にどのくらい「満足」していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい「重要」であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」について、あなたの考えに一番近い番号を選んで、○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
I 魅力ある産業振興・雇用のまちを創ります！	① 【農林水産業】 売れる米づくりの推進や複合農業化、6次産業化、通年農業化、担い手の育成、生産基盤の整備などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【商工業】 企業誘致の推進や地元企業の規模拡大、企業の人材獲得に対する支援、商店街の取組や創業への支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【花火産業構想】 「大曲の花火」ブランドを戦略的に活用し、観光、商工業、農業など、幅広い分野にわたる活性化策を展開しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【観光】 各地の花火大会や祭り、史跡・文化財、温泉、自然等の地域資源を活かした観光振興に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【雇用・就労】 雇用・就業支援や資格取得支援、職場見学事業、Aターン希望者への就業支援などに取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和6年4月1日現在】

新規就農者数	H26 157人 → R4 353人
農業産出額	H26 183億8千万円 → R4 192億2千万円
製造品出荷額等※1	H26 646億9千万円 → R3 959億6千万円
新規雇用創出数※2	H27～R4の累計 805人
新規誘致企業数	H27～R5の累計 13社
創業者数	H27～R4の累計 120人
市内の煙火出荷額	H26 7億6百万円 → R4 8億3千4百万円
観光入込客数※3	H26 263万1千人 → R4 210万6千人
Aターン就職者数※4	H27～R4の累計 578人

※1 製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及びくず・廃物の出荷額の合計

※2 雇用助成金交付人数と地域雇用活性化推進事業により新規雇用された人の合計

※3 コロナ禍の影響による減少

※4 Aターン／秋田県へのUターン・Iターン・Jターンの総称

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
Ⅱ みんなの元気を応援します！ 出会い・結婚・子育て、健康・福祉など	① 【出会い・結婚】 出会いイベントの開催に対する支援による交流、出会いの場づくりや、結婚に伴う住居取得への支援などを通じ、地域全体で応援する環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【子育て】 全年齢層の保育料無償化など、保育サービスの充実や放課後児童クラブの設置、高校生までの医療費助成など、安心して子育てできる環境づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【保健・医療】 特定健診・がん検診の受診促進や地域医療体制の充実、予防接種の推進など、よりよい保健・医療体制づくりを進めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など、安心して暮らせる社会福祉の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度など、市民の皆さまの生活を守る社会保障の充実に努めています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥ 【スポーツ】 500歳野球大会の開催、スポーツ少年団への支援、スポーツ施設の充実など、生涯スポーツの推進、スポーツによる地域の活性化に取り組んでいます。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和6年4月1日現在】

出会い・結婚・子育てに関する市民満足度	H27 3.10 → R5 3.18
不妊治療による出産数	H27～R4の累計 163件
子育てサポート会員登録者数	H27 81人 → R5 78人
放課後児童クラブ実施箇所数	H27 21箇所 → R5 36箇所
特定健康診査受診率	H27 39.1% → R4 41.9%
介護予防いきいき隊養成者累計数	H27 106人 → R5 202人
全国500歳野球大会参加チーム数	R5 32チーム
スポーツ合宿実施団体数	H27 15団体 → R5 18団体

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
Ⅲ 住みよ いまち を築き ます！ 安全・安心・都市整備など	①	【自然・衛生環境】 豊かな自然の保護や環境に優しいまちづくり、ごみの減量化、公害防止など、自然環境の保全と衛生環境の整備に努めています。									
	②	【安全・安心体制】 消防・防災体制や雪対策の強化、交通安全の推進、防犯体制の強化など、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。									
	③	【空き家対策】 所有者への助言や指導、解体補助、空き家バンクによる移住希望者への情報提供など、空き家の適正管理と活用促進に努めています。									
	④	【公共交通】 地域の実情に応じて循環バスや市民バス、コミュニティバス、乗合タクシーを運行するなど、公共交通の維持確保に努めています。									
	⑤	【地域情報化】 地上デジタル放送難視聴地域の解消やインターネット環境の整備、FMはなびによる防災・災害情報発信などに取り組んでいます。									
	⑥	【市街地】 利便性が高く機能的な都市づくりや無秩序な市街地の拡散抑制、中心市街地の活性化などに取り組んでいます。									
	⑦	【道路・河川】 幹線・生活道路の整備、迅速な道路修繕、橋りょうの長寿命化、国県河川の早期整備要望、内水対策などに取り組んでいます。									
	⑧	【上・下水道】 施設設備の計画的な更新や、適正な維持管理など、生活の基盤となる上・下水道事業の安定した運営に努めています。									
	⑨	【住環境】 住宅リフォームへの支援、市営住宅や公園・緑地の維持管理など、良好で快適な住生活環境づくりに努めています。									

大仙市の現状・取組状況

【令和6年4月1日現在】

自主防災組織の組織率

H26 67.5% → R5 91.6%

地域公共交通運行状況

地域の実情に合わせて6システム 51路線を運行

R5利用実績 循環バス 15,321人 コミュニティバス 34,010人 乗合タクシー 11,260人

市ホームページ閲覧数

H26 64万9千人 → R4 299万1千人

都市計画道路整備率

H26 59.8% → R5 62.0%

住宅リフォーム支援制度利用件数

H28～R5の累計 3,208件

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
IV 豊かな心と想像力を育みます！ 教育、生涯学習、芸術・文化など	①	【学校教育】 キャリア教育の推進、英語教育の充実、地域との交流による多様な学びなど、地域一体となって社会で活躍できる子どもを育む取組を進めています。					5	4	3	2	1
	②	【生涯学習】 ライフステージにあわせた学習活動の提供、生涯学習施設の整備など、生涯を通じて学び、活かせる環境づくりを進めています。また、図書館運営の充実などにより、読書活動の促進に取り組んでいます。					5	4	3	2	1
	③	【芸術・文化】 芸術鑑賞機会の創出や音楽祭の開催、文化財を活用したイベントなど、芸術・文化を通じた潤いのあるまちづくりを進めています。					5	4	3	2	1
	④	【地域間・国際交流】 宮崎県宮崎市、神奈川県座間市、岩手県宮古市、韓国唐津市との間で多様な交流を行っています。					5	4	3	2	1

大仙市の現状・取組状況

【令和6年4月1日現在】

学校生活支援員の配置数	H27 56人 → R4 62人
ALT・CIRの配置数※1	H27 8人 → R4 12人
学校のトイレ改修率（洋式化）	H27 73.0% → R4 89.7%
異校種間連携実施率※2	H27 90.6% → R4 100.0%
生涯学習事業への参加延べ人数※3	H27 116,772人 → R4 65,630人
芸術文化協会の団体数	H27 245団体 → R5 177団体
国内友好交流都市との交流	H27 8回 → R5 14回
国内外交流自治体数	R5現在 4団体（座間市、宮崎市、宮古市、韓国唐津市）

※1 ALT／外国語指導助手 CIR／国際交流員

※2 異校種間連携／幼保・小中学校・高校・支援学校・大学など異校間の交流。

※3 コロナ禍の影響による事業中止のため減少。

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 いどちらとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 いどちらとも	2 ではあまり重要	1 重要ではない
V 時代 に 合 っ た 地 域 社 会 の 維 持 ・ 活 性 化 、 行 政 運 営 な ど	①	【地域活性化】 地域協議会の活動や地域枠予算の確保、自治会活動への支援など、住民主体の地域づくりを応援しています。									
	②	【移住・定住】 移住コーディネーターの配置、無料職業紹介所の設置など、移住やAターンの促進と定住に向けた環境づくりを進めています。									
	③	【市民協働】 ボランティアやNPOなどの市民主体の活動に対する支援や、ふるさと納税制度を通じた大仙ファンの創出など、協働のまちづくりを進めています。									
	④	【男女共同参画】 男女共同参画や女性活躍の推進に関する講座の開催など、性別にかかわらず、誰もが活躍できる社会づくりを進めています。									
	⑤	【行財政運営】 財政健全化や組織機構改革、人口規模に見合った公共施設の配置適正化、行政サービスのデジタル化など、効率的かつ効果的で持続可能な行財政運営に努めています。									

大仙市の現状・取組状況

【令和6年4月1日現在】

地域枠予算（市民主導型）活用数	H27 73件 → R5 93件
地域おこし協力隊員数	H27～R5の累計 10人
本市への移住者数※1	R2～R5の累計 1,538人
本市への移住相談件数	H28 42件 → R5 150件
市職員数	H27 992人 → R5 840人
ふるさと納税寄付額	H27 901万3千円 → R5 4億2千9百万円
財政力指数※2	H27 0.342 → R5 0.345
将来負担比率※3	H27 136.9% → R4 85.7%
全会計市債現在高	H27 991億7千5百万円 → R4 788億3千4百万円

※1 R2年度から移住者の定義を見直し。

移住者：大仙市への転入者の内、転入後5年以上大仙市に居住する意思のある定住希望者

※2 財政力指数／地方公共団体の財政力を示すもの。数値が高いほど財政力が強いことを示す。

※3 将来負担比率／市が将来負担を予定する負債の大きさを示すもの。400%超で早期健全化団体に該当。

2 今後、さらに推進すべき取組について

問1

あなたが「産業分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 農業の担い手確保、育成 | 2. 農業生産基盤の整備 |
| 3. 稲作・畑作等複合経営 | 4. 農産物の6次産業化 |
| 5. 畜産業、林業、水産業の振興 | 6. 地域商業の活性化 |
| 7. 企業誘致の強化 | 8. 中小企業の振興 |
| 9. 若者の起業促進 | 10. 花火産業の振興 |
| 11. 特産品の振興 | 12. 魅力ある観光地づくり |
| 13. 雇用の安定と就労環境の充実 | 14. 外国人を含む観光誘客 |
| 15. その他() | |

問2

あなたが「出会い・結婚・子育て分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 結婚を応援する環境づくり | 2. 結婚相談会・出会いイベントの充実 |
| 3. 結婚に関わる経済的負担の軽減 | 4. 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり |
| 5. 健診や相談等の母子保健事業の充実 | 6. 妊娠中から切れ目のない子育て支援 |
| 7. 保育ニーズに対応した受入体制の整備 | 8. 夜間・休日保育の充実 |
| 9. 子育てに関わる経済的負担の軽減 | 10. 放課後児童クラブ・子供教室の充実 |
| 11. 虐待防止対策の強化 | 12. ワーク・ライフ・バランスの実現 |
| 13. その他() | |

問3

あなたが「健康福祉・スポーツ分野」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. からだの健康づくり | 2. こころの健康づくり |
| 3. 地域医療体制の充実・強化 | 4. 病気予防体制の充実 |
| 5. 地域住民による支え合い体制の構築 | 6. ひとり親家庭への福祉の充実 |
| 7. 地域包括ケアの充実 | 8. 生活支援サービスの充実 |
| 9. 介護サービス基盤等の強化 | 10. 障がい者福祉サービスの充実 |
| 11. 社会保障制度の周知 | 12. 生活保護制度の適正な運用 |
| 13. スポーツ活動の活性化 | 14. スポーツ環境の充実 |
| 15. その他() | |

問4

あなたが「**環境・安全分野**」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自然環境の保全 | 2. 再生可能エネルギーの導入 |
| 3. 交通安全、防犯体制の強化 | 4. 交通弱者への福祉施策 |
| 5. 消費者トラブル対策 | 6. 消防団員の確保と活動の活発化 |
| 7. 地域防災体制の整備・強化 | 8. 水害対策設備の充実 |
| 9. 除排雪体制の充実 | 10. 消融雪設備の充実 |
| 11. 空き家の適正管理と利活用 | 12. 廃棄物の排出抑制・適正処理 |
| 13. 河川とその周辺環境の保全・整備 | 14. 公園・緑地の整備、緑化の取組 |
| 15. その他() | |

問5

あなたが「**都市基盤分野**」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 主要道路網・幹線道路の整備 | 2. 生活道路の整備 |
| 3. 道路・橋りょうの適正な維持管理 | 4. 駅舎、駐車場の整備・維持管理 |
| 5. 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 6. 計画的な市街地整備 |
| 7. 人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり | |
| 8. 住生活環境の充実 | 9. 住宅の耐震化率向上 |
| 10. 情報基盤の整備による地域情報化 | 11. 安全で安定した水道水の供給 |
| 12. 下水道施設の適正管理と更新 | 13. 下水道未普及地区の解消 |
| 14. その他() | |

問6

あなたが「**教育・交流分野**」で、さらに推進すべきであるとする取組はどれですか。
 あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 生きる力を育む学校教育 | 2. 学校と地域の交流・連携 |
| 3. 児童・生徒数にあわせた学校施設の整備 | 4. 家庭教育の充実 |
| 5. 地域と連携したふるさと教育 | 6. 特別支援教育の充実 |
| 7. デジタルを活用した学習環境の充実 | 8. 生涯学習の機会拡大・情報発信 |
| 9. 芸術、文化活動の振興 | 10. 文化財の保全と活用 |
| 11. 非核平和の啓発 | 12. 他自治体との連携・交流 |
| 13. 国際交流の促進 | |
| 14. その他() | |

問7

あなたが「地域活性化・市民との協働・行財政運営分野」で、さらに推進すべきであると考え
取組はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 地域資源の掘り起こしと活用 | 2. 地域活動の情報発信 |
| 3. 行政への市民参加機会の拡大 | 4. 自治組織づくり、自治会活動の促進 |
| 5. 地域主体の課題解決や活性化の促進 | 6. 小規模集落・高齢化集落への支援 |
| 7. 移住・定住の促進 | 8. 若者が活躍できる環境づくり |
| 9. 男女共同参画社会の形成 | 10. 事務組織の見直しと職員資質の向上 |
| 11. 行政情報の提供や公開の充実 | 12. 各種行政手続きのデジタル化 |
| 13. 利用状況等にあわせた公共施設の見直し | 14. 公文書の保存・公開 |
| 15. その他() | |

3 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

市では「行かなくても済む『市役所』」を目指し、情報発信や行政サービスのデジタル化を進めています。これまで、各種証明書の申請手続きのオンライン化やコンビニ交付サービス、発行手数料のキャッシュレス化などを進めてきたところであり、今年度は書類の記入が最小限の簡単な窓口システムやLINEによる手続きを可能とする機能の導入を予定しています。

人口減少が進行する中であっても、持続可能で質の高い行政サービスを提供し続けていくためには、あらゆる場面におけるデジタル化が急務となっています。デジタルに不慣れな方のサポートや対面による窓口サービスの充実に努めながら、「誰一人取り残されない人にやさしいデジタル化」を推進するにあたり、市民の皆さまのご意見をお伺いします。

問1

市では様々な方法で市政情報を発信していますが、あなたがその情報を入手するため、主に利用している手段は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は2つまで)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 市広報「だいせん日和」 | 2. コミュニティFM「FMはなび」(ラジオ) |
| 3. 市公式SNS(LINE、Facebook等) | 4. 市ホームページ |
| 5. 市役所の窓口(支所等を含む) | 6. 家族や知人からの口コミ |
| 7. その他() | |

問2

あなたにとって問1の情報入手手段は利用しやすいと思いますか。(情報入手のしやすさ)
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問3

あなたにとって市のサービスは利用しやすいと思いますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. ある程度そう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問4

あなたは、今後行政サービスのデジタル化が進むことで、市が行っているサービスがどのように良くなることを期待しますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる
2. 各種相談をオンライン(メールやウェブ相談など)で行うことができる
3. 市役所窓口での申請などが簡単で分かりやすくなる
4. 自分に必要な市の情報がアプリやメールなどで入手できる
5. 市が保有するデータ(人口や各種調査結果など)をウェブ上で入手・利用できる
6. 災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる
7. その他()

4 あなたが思う大仙市について

問1

あなたが現在大仙市に住んでいる経緯はどれですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 生まれてからずっと住んでいる
2. 市外に住んだことがあり、家族、仕事などの理由で引っ越して来た
3. 市外に住んだことがあり、自分の意志で引っ越して来た

問2

大仙市は、住みやすいまちだと思いますか。
あなたの考えに一番近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

問3

これからも大仙市に住み続けたいと思いますか。
あなたの考えに一番近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の別の場所へ移りたい |
| 3. 市外に移りたい | 4. 住み続けたいが、移らざるを得ない |

次のページからは、市が行っている個別の事務事業に対して、市民の皆さまから評価・意見等をお伺いするアンケート調査です。

ご自身に直接関係がないと思われる設問もあるかもしれませんが、市民の皆さまのご意見を幅広く伺い、今後の事業の参考とさせていただきますので、可能な限りすべての設問にお答えいただきますようご協力をお願いいたします。

テーマⅠ 若者チャレンジ応援プロジェクトについて

市では、チャレンジする若者を総合的にサポートするため、「若者チャレンジ応援プロジェクト」を展開しており、起業や経営をはじめとする様々な相談に対応する窓口として「だいせんLabo」を設置したほか、若者チャレンジ応援補助金による支援や、高校生や大学生などを対象にしたイベントの開催など、若者がチャレンジできる環境づくりを推進しています。

この調査では、「だいせんLabo」をはじめ、これまでの取組に関するご意見を伺い、今後の取組の参考とさせていただきます。

問Ⅰ

相談窓口である「だいせんLabo」を知っていますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 知っている | 2. 名称は知っている |
| 3. 知らない | |

問Ⅱ

問Ⅰで「1. 2. を選択された」方にお聞きします。
「だいせんLabo」の情報を何で知りましたか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 新聞 | 2. テレビ |
| 3. FMはなび | 4. 市ホームページ |
| 5. 市広報「だいせん日和」 | 6. SNS(Instagramなど) |
| 7. チラシ・パンフレット | 8. 市関連窓口 |
| 9. 金融機関・商工団体などの窓口 | 10. 友人・知人 |
| 11. その他() | |

問Ⅲ

若者の相談窓口である「だいせんLabo」に期待するサポートや、充実してほしい取組は何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 起業や経営などのサポート
2. 地域の課題解決や活性化につながるサポート
3. 様々な補助金などの情報提供
4. 事業計画・資金調達のサポート
5. 経営に係る専門家等の紹介
6. 金融機関・商工団体・事業者等とのマッチング支援
7. その他()

問4

若者がチャレンジしやすい環境づくりをより一層推進するためには、どのような取組が必要ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 若者の挑戦を応援する補助制度
2. 若者の意見や考えを聞く場・機会の創出(オンライン上も含む)
3. 若者や女性の活躍につながる交流会の開催
4. 起業家・起業希望者の交流会の開催
5. 若者の挑戦を応援する機運を高めるセミナーの開催
6. 高校生・大学生等が活躍できるための支援制度
7. 若者・女性活躍のためのコミュニティ形成に向けたサポート
8. 若者が楽しめるイベント等の開催
9. 若者が集まる拠点づくり
10. その他(

問5

今後、あなたが、起業やイベントの企画、地域課題解決の取組等を検討することになった場合、「だいせんLabo」を利用しようと思いますか。
あてはまる番号に○をし、その理由もお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. ぜひ利用しようと思う | 2. 利用しようと思う |
| 3. あまり利用しようとは思わない | 4. 利用しようとは思わない |

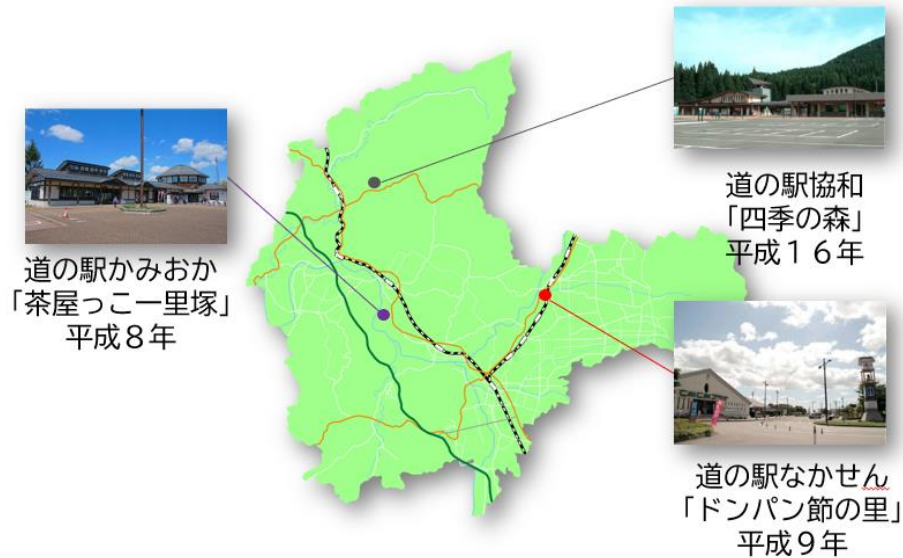
【理由】

テーマ2 市内道の駅（協和・かみおか・なかせん）について

市では、観光や防災機能、農業振興など地域振興の拠点を担う道の駅を市内に3つ設置しています。

この調査は、市民の皆さまをはじめ、道の駅を訪れる方々の利便性向上や、拠点としての魅力を高めるなどの取組を検討するための参考とさせていただくものです。

大仙市道の駅位置図



問1

市内の道の駅を利用したことがありますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 道の駅協和
2. 道の駅かみおか
3. 道の駅なかせん
4. 利用したことがない → 問3へ

問2

問1で「1. 2. 3. を選択された」方にお聞きします。
利用した時の目的は何でしたか。
あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

- | | | |
|--------------|--------|---|
| 1. 休憩 | 2. トイレ | |
| 3. 食事 | 4. 買い物 | |
| 5. イベント(具体的に | |) |
| 6. その他(| |) |

問3

問1で「4. 利用したことがないを選択された」方にお聞きます。
利用したことがない理由は何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 駐車場が狭い(どこの道の駅か教えてください)
2. 売店で買いたいものがない(同上)
3. 道の駅の場所が分からない(同上)
4. その他()

問4

道の駅で充実してほしいサービスや機能などについて
あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. お土産などの売店エリア | 2. 野菜などの直売エリア |
| 3. 駐車場 | 4. トイレ |
| 5. 休憩スペース | 6. 子育て関連施設(ベビーコーナー、遊具の設置等) |
| 7. バリアフリー化 | 8. EV充電スポット |
| 9. ドックランエリア | 10. キッチンカー |
| 11. 防災拠点施設 | 12. 多言語の案内看板 |
| 13. コミュニティスペース(集える場所) | 14. レストランやフードコート |
| 15. その他 () | |

問5

よく利用する市外の道の駅、または訪れてみたい道の駅があれば教えてください。(自由記載)

テーマ3 市内スキー場（大曲ファミリー、協和、大台）について

市では、市民の皆さまの健康増進や観光、スポーツの振興を図りながら市外からの交流人口拡大を図るため、市内に3つのスキー場を設置しています。

この調査では、市民の皆さまの市内スキー場に対するご意見を伺い、今後の運営改善や将来的なあり方などを検討していくための参考とさせていただきます。



問1

よく利用する市内のスキー場はどこですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 大曲ファミリースキー場
2. 協和スキー場
3. 大台スキー場
4. ほとんど利用したことがない、利用したことがない →問4へ

問2

問1で「**1. 2. 3. を選択された**」方にお聞きします。
シーズン中にどのくらい利用しますか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 週に1回
2. 週に数回
3. 月に1回
4. シーズン中に1回

問3

問1で「**1. 2. 3. を選択された**」方にお聞きます。
今後も利用したい市内のスキー場はどこですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 大曲ファミリースキー場
2. 協和スキー場
3. 大台スキー場

問4

問1で「**4. 行かなかったを選択された**」方にお聞きます。
市内スキー場に行かなかった理由は何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 興味がない | 2. 体力・技術面の不安 |
| 3. 家事や育児・仕事等で忙しい | 4. 一緒に行く人がいない |
| 5. 費用がかかる | |
| 6. その他() | |

問5

今後、市内のスキー場に取り組んでほしいことは何ですか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. コースの充実 | 2. レストランの充実 |
| 3. イベントの充実 | 4. リフト料金の割引 |
| 5. 市内スキー場共通リフト券の発行 | |
| 6. その他() | |